消 防 年 報

令 和 4 年

双葉地方広域市町村圏組合

消 防 本 部

は　し　が　き

この消防年報は、双葉地方広域市町村圏組合消防の現勢と消防に関する各種資料を収録したもので、消防防災行政を広く一般に紹介することを目的として編集したものです。

なお、この消防年報資料は原則として暦年で表し、予算に関係のある事項については、会計年度で作成しております。

令和５年３月

双葉地方広域市町村圏組合消防本部

目　　次

はしがき

《総　括》

双葉地方広域市町村圏域の概況……1
町村別面積・世帯数・人口……2
双葉地方広域市町村圏組合消防のあゆみ……3
歴代消防長・消防署長……31

《総　務》

双葉地方広域市町村圏組合消防本部組織図……33
消防本部・消防署・分署及び出張所の事務分掌…34
双葉地方広域市町村圏組合一般会計予算……37
消防本部・消防署・分署及び出張所配置図……38
消防庁舎の現況……39
消防職員配置状況……40
職員階級別年齢状況……41
職員階級別勤続年数……42
消防大学校・県消防学校入校及び講習等受講状況 43
消防職員特殊技能その他資格取得者……44

《予　防》

町村別工事種別建築同意等事務処理状況……45
防火対象物別建築同意等事務処理件数……46
町村別防火対象物……47
月別査察状況……48
過去５年間の防火対象物数・査察実施状況……49
火災予防条例に基づく各種届出処理状況……50
火災予防条例以外の各種届出処理状況……51
過去５年間の防火管理講習（資格取得講習）状況…52
広報活動実施状況……53
宿泊施設の表示制度（適マーク）……54
危険物施設数（町村別）及び立入検査実施状況……55
危険物施設数（類　別）……56
危険物施設数（数量別）……56
第４類（可燃性液体）屋外貯蔵タンク数（容量別）…57
危険物施設過去５年間の推移……57
危険物製造所・貯蔵所・取扱所等申請処理状況…58

《警　防》

相互応援協定等……59
消防力の現況……60
通信施設の現況……61
消防水利の現況……62
消防車両の現況……63
県備品原子力防災資器材の現況……64
消防資器材の現況……66
町村別救助活動状況……68
過去５年間の救助活動状況……69
消防車両の活動状況……70
気象注意報発令状況……72
火災気象注意報発令状況……72

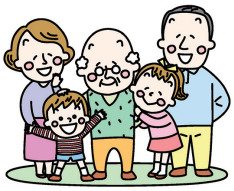
《火　災》

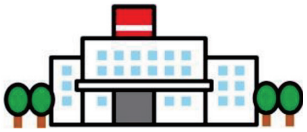
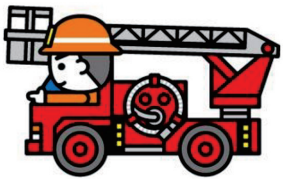
火災発生状況……73
町村別・月別火災発生件数……74
町村別・月別焼損面積……75
時間帯による火災発生件数……76
曜日別火災発生件数……76
気象別火災発生件数……77
過去５年間の火災発生状況……78
原因別火災発生状況……79

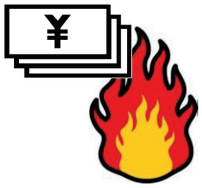
《救　急》

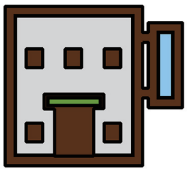
救急活動状況……80
過去５年間の救急活動状況……80
月別活動状況……81
過去５年間の覚知状況……82
医療機関搬送人員……82
過去５年間の署所別活動状況……83
町村別出動件数……84
曜日別出動件数……84
現場到着所要時間別出動件数（町村別）……85
収容所要時間別搬送人員（町村別）……85
時刻別発生状況……86
救急隊員の行った応急処置件数……87
事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員……88
応急処置普及指導状況……89
救急資器材の現況……90

一　目　統　計

人口・世帯	面積・人口密度	職員数	消防団員
			
人　　口　57,846人 うち男性　29,243人 うち女性　28,603人 世　　帯　25,516世帯	865.71㎢ （構成　6町2村） 1㎢あたり　66.8人	定　　数　127名 実　　数　127名 平 均 年 齢　37.7歳 平均勤続年数　15.6年	定　数　2,070名 実　数　1,289名

消防費	署　　所	消防車両	特殊車両
			
当初予算額 1,318,106（千円） 住民１人あたり 22,786（円）	消防本部　1 消 防 署　2 分　　署　1 出 張 所　2	ポンプ車　７台 救 急 車　７台 （うち高規格７台）	大型高所放水車　１台 大 型 化 学 車　１台 大 型 水 槽 車　２台 泡 原 液 搬 送 車　１台 救 助 工 作 車　１台 資 機 材 搬 送 車　２台 遠距離大量送水システム車　１台

火　　災	出火原因	火災による死傷者	火災による損害額
			
火災件数　16件 （内訳） 建物火災　７件 車両火災　５件 その他火災　４件	電気機器　２件 放火・放火の疑い　２件 こんろ　１件 ストーブ　１件 排気管　１件 その他　７件 調査中・不明　２件	死　者　２名 負傷者　３名	11,846（千円） １件あたり740（千円）

防火対象物	危険物施設	救　　急	救　　助
			
防火対象物　1,944 立入検査実施数　1,473 立入検査実施率　76％	危険物施設　634 うち稼働施設　453 立入検査実施数　442 立入検査実施率　98％	出動件数　1,295件 搬送人員　1,150人 1日あたりの出動　3.5件 搬送割合　50.3人に1人	出動件数　28件 救助人員　21人

総　　括

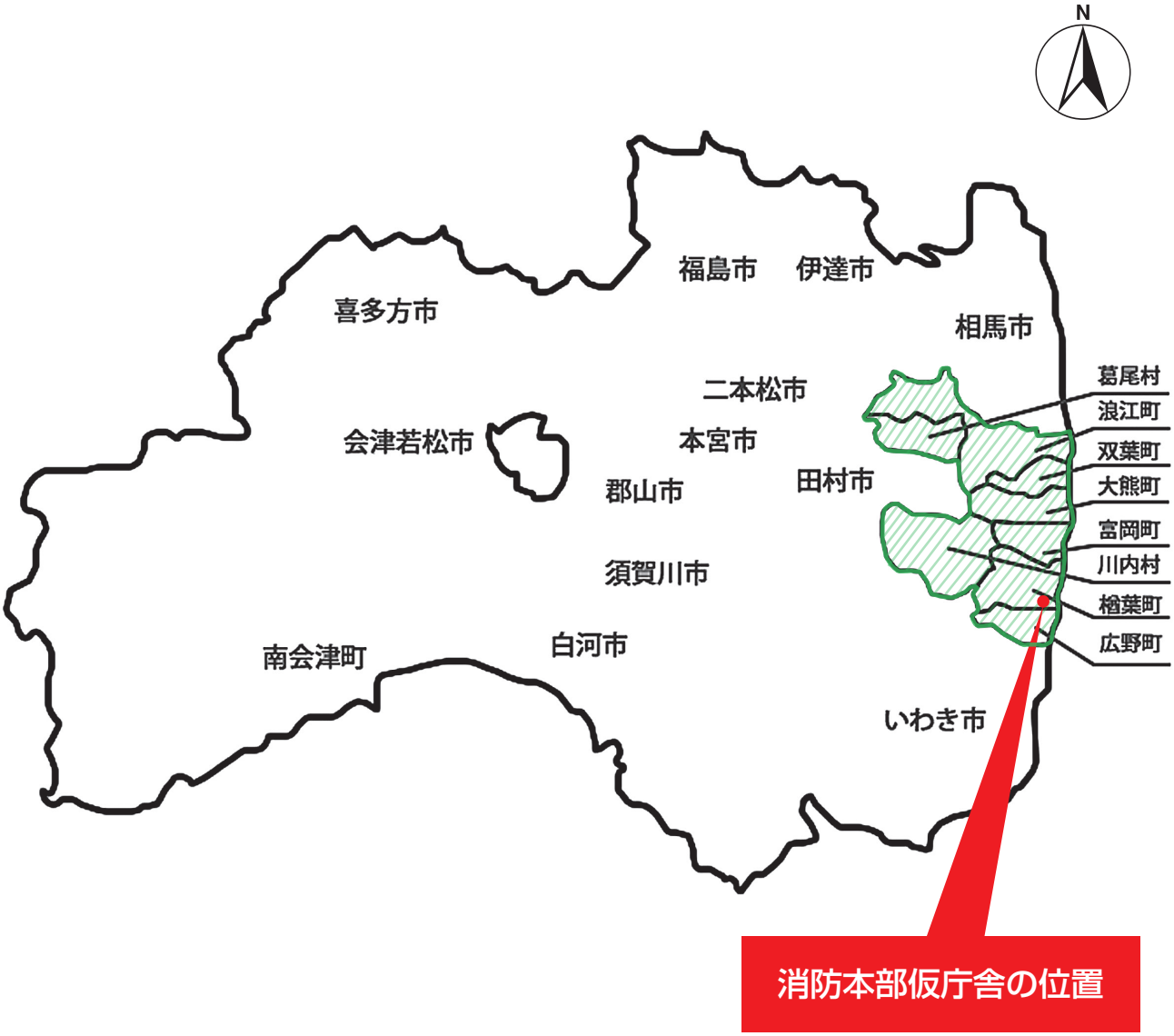
清水洋文 全国消防長会会長激励視察　令和４年10月６日実施

双葉地方広域市町村圏域の概況

１．圏域の位置および環境

当圏域は、福島県の東部太平洋の浜通り中央に位置し、国道６号・114号・399号及びJR常磐線の沿線にあたる６町２村を一つの広域圏として構成されている。また、常磐自動車道が南北を通過し、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町にICが存在する。圏域中心部から県都福島市までの距離は75km、宮城県仙台市までは113km、東京都までは254kmである。

東に太平洋、西に阿武隈山系が尾根をなした豊かな自然環境に囲まれており、阿武隈山系を源として北部の請戸川、南部の木戸川の２水系のほか、前田川・熊川・富岡川・浅見川が太平洋に注いでいる。平均気温は約13度で、東北地方としては温暖な気候であり、降水量にも恵まれ、冬季には山間部に僅かな積雪が見られる程度である。山間部では１月から３月にかけて季節風が強く吹き乾燥が厳しいが、自然条件に恵まれており四季を通じて住みよい地域である。



２．圏域の沿革と構成

当圏域は、藩政時代幕僚、多古藩、棚倉藩、中村藩および三春藩に所属していたが、明治４年廃藩置県後、幾多の制度改革がなされ、明治22年町村制施行当時は20村の構成であった。さらに明治29年に、当時の楢葉郡（富岡町以南広野町に至る）と標葉郡（大熊町以北浪江町に至る）の二郡が合併し双葉郡となったものであるが、昭和にいたり郡内町村間の合併等が行なわれ、特に町村合併促進法に基づき、昭和29年から昭和31年にかけての合併により７町３村となり、続いて昭和41年いわき市の誕生に伴い接続地の久之浜町、大久村がいわき市に編入され、現在では、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村の６町２村となった。古くから地形、民情、風習はおおむね同じく、運命共同体的な意識をもって相互に協調してきた地域であって東西30㎞、南北40㎞、面積865.71k㎡、人口 57,846人で、本県面積および人口のそれぞれ約6.3％、約3.2％に当たる。

町村別面積・世帯数・人口

（令和４年12月31日現在）

区分 町村別	面積（㎢）	世帯数	人　口		
			総人口	男	女
広　野　町	58.69	2,272	4,672	2,471	2,201
楢　葉　町	103.64	3,153	6,648	3,472	3,176
富　岡　町	68.39	5,643	11,734	6,064	5,670
川　内　村	197.35	1,179	2,366	1,194	1,172
大　熊　町	78.71	3,914	10,002	4,992	5,010
富岡消防署管内	506.78	16,161	35,422	18,193	17,229
双　葉　町	51.42	2,200	5,527	2,679	2,848
浪　江　町	223.14	6,666	15,590	7,696	7,894
葛　尾　村	84.37	489	1,307	675	632
浪江消防署管内	358.93	9,355	22,424	11,050	11,374
双葉消防本部管内	865.71	25,516	57,846	29,243	28,603

両署の数字は小計を示す。

双葉地方広域市町村圏組合消防のあゆみ

昭和47年　４月	広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村の６町２村からなる双葉地方広域市町村圏組合を設立し、組合事業の１つとして消防事務を処理するため、火災及び救急業務の広域処理を目的に双葉地方広域消防が計画され、昭和47年度の消防庁舎の建設、施設の整備等準備期間を経て昭和48年４月１日、本部、浪江消防署、富岡消防署、大熊分遣所、葛尾分遣所、楢葉分遣所、川内分遣所を設置、消防職員定数85名、指令車１台、広報車４台、消防無線基地局８局、移動局15局で消防業務を開始する。（職員の教育の関係もあり段階的に発足） 政令指定（自治省告示第106号）
10月	初代消防長事務取扱に、双葉地方広域市町村圏組合管理者　志賀秀正大熊町長就任する。 初代浪江消防署長に伴場和雄、富岡消防署長に太田芳一郎就任する。
昭和48年　３月	浪江消防署併設消防本部を建設、落成する。
４月	相馬地方広域市町村圏組合消防本部と消防相互応援協定を締結する。 富岡消防署を建設、落成する。
５月	大熊分遣所、楢葉分遣所を開所する。
10月	危険物等の特殊災害に備え、エアホーム化学消火剤500ℓ（県備分）1,000ℓ（組合分）、計1,500ℓ備蓄する。 川内分遣所、葛尾分遣所開所する。
11月	浪江消防署、富岡消防署に水槽付ポンプ自動車（いすゞ SBR320）を各１台配置する。
12月	郡山地方広域消防組合と消防相互応援協定締結する。 富岡消防署に救急車（ニッサン３B型）１台を配置する。 組合に日本損害保険協会より救急車（ニッサン３B型）１台が寄贈される。 浪江消防署に配置する。
昭和49年　３月	双葉分遣所、広野分遣所を建設、落成する。
８月	消防職員定数条例改正、消防職員91名となる。
12月	いわき市と消防相互応援協定を締結する。
昭和50年　１月	双葉分遣所、広野分遣所開所、普通消防ポンプ自動車（ニッサンFH60型）各１台を両分遣所に配置する。
５月	第２代消防長事務取扱に双葉地方広域市町村圏組合管理者　猪狩秀玄楢葉町長就任する。
12月	楢葉分遣所、川内分遣所、大熊分遣所、葛尾分遣所に普通ポンプ自動車（ニッサンFH60）各１台配置する。
昭和51年　３月	消防本部を増築、落成する。
８月	組合に日本消防協会より救急車（トヨタ２B型）１台が寄贈される。 富岡消防署に配置する。

昭和51年　10月	富岡消防署長　太田芳一郎退職する。 浪江消防署長　伴場和雄、両署長兼務となる。 浪江消防署、富岡消防署の広報車(ニッサンブルーバードバン)各１台更新する。
昭和52年　４月	富岡消防署長心得に猪狩一夫就任する。 林野火災用空中消火薬剤　MAP2,250kg、CMC300kgを県備受託管理する。
５月	油防除資材、油処理剤(スノーラップE12,000)1,440ℓ、油吸着剤(タフネルオイルブロッター BL-65)136kgを県備受託管理する。 第３代消防長事務取扱に双葉地方広域市町村圏組合管理者　田中清太郎双葉町長就任する。 富岡消防署を増築、落成する。
８月	浪江消防署、富岡消防署の広報車(ニッサンブルーバードバン)各１台を更新する。
12月	浪江消防署、富岡消防署にアルミボート各１艘を配置する。
昭和53年　２月	川内分遣所、葛尾分遣所の車庫を増築、落成する。
４月	第４代消防長に村岡俊夫就任する。(専任消防長) 富岡消防署長に猪狩一夫就任する。 石油コンビナート等災害防止法の規定により「広野地区特別防災区域」が指定される。
７月	浪江消防署、富岡消防署にボート搬送専用トレーラー各１台を配置する。 小名浜海上保安部と業務協定を締結する。
昭和54年　２月	消防本部に指令車(トヨタクラウン)１台を配置する。
３月	組合に日本消防協会より救急車(ニッサンキャラバン２B型)１台が寄贈される。 富岡消防署に配置する。 組合に農業共済組合より救急車(ニッサンキャラバン２B型)１台が寄贈される。 浪江消防署に配置する。
６月	各分遣所を無人化とする。 消防本部の組織を一部改正し、消防係を置く。 消防職員定数条例改正、消防職員92名となる。 浪江・富岡両署に救助隊を発足する。(兼務隊員26名)
10月	県、広域、南双４ヶ町村合同総合防災訓練を富岡町で実施する。
11月	県、広域主催による林野火災空中消火訓練を葛尾村で実施する。
12月	浪江消防署に救助訓練塔落成する。
昭和55年　１月	富岡消防署西側車庫落成する。
２月	葛尾、川内分遣所に各１名を派遣する。 火災予防条例の全部を改正する。
３月	消防三点セットを購入し、富岡消防署に配置する。 高所放水車(ヒノK-TC30m級はしご付)化学車(ヒノKB)、泡原液搬送車(ヒノKB)、消火剤備蓄タンク富岡消防署に設置、(54年10月)化学消火剤20Kℓを備蓄する。 浪江消防署、富岡消防署に可搬搭載車(三菱キャンター)を各１台配置する。

昭和55年	４月	消防職員定数条例改正、消防職員94名となる。
	８月	本部、浪江消防署、富岡消防署の広報車(ニッサンブルーバードバン)各１台を更新する。
	10月	県、広域、北双４ヶ町村合同総合防災訓練を浪江町で実施する。
	11月	消防職員定数条例改正、消防職員96名となる。
	12月	葛尾、川内分遣所に各２名派遣する。
		消防本部会議室を改築する。
昭和56年	４月	双葉地方広域市町村圏組合管理者に遠藤景芳富岡町長就任する。
	８月	第10回全国消防救助技術大会に出場する。ロープ登はん(浪江消防署)
	９月	浪江消防署、富岡消防署の広報車(ニッサンブルーバードバン)各１台を更新する。
	10月	県石油コンビナート等防災計画に基づき、東京電力㈱広野火力発電所構内において、総合防災訓練を実施する。
		川内村大鷹戸谷地内に無線中継局舎を設置、浪江消防署、富岡消防署の通信指令室を改修する。
	12月	浪江消防署の倉庫、待機室を増改築する。
昭和57年	４月	川内村林野火災で自衛隊を要請する。(63ha、損害額7,000万円)
	５月	富岡消防署に救助訓練塔(７m、２ヶ所)が落成する。
	８月	第11回全国消防救助技術大会に出場する。ロープ登はん(浪江消防署)
	10月	葛尾、川内分遣所各８名にて開所。救急車(ニッサンキャラバン２B型)各１台を配置する。
	11月	救急車(ニッサンキャラバン２B型)購入し、浪江消防署へ配置する。
		消防職員定数条例改正、消防職員100名となる。
	12月	日本自動車工業会より救急車(ニッサンキャラバン２B型)１台が寄贈される。
		川内分遣所へ配置する。
昭和58年	１月	葛尾分遣所の救急車(ニッサンキャラバン２B型)１台を更新する。
	３月	消防長　村岡俊夫退職する。
	４月	第５代消防長事務取扱に双葉地方広域市町村圏組合管理者　松本一郎広野町長就任する。
		浪江消防署長伴場和雄、消防本部次長兼務となる。
	８月	第12回全国消防救助技術大会に出場する。ロープ登はん(浪江消防署)
	９月	伊達地方消防組合消防本部と消防相互応援協定を締結する。
	10月	川内・葛尾分遣所を出張所に改称する。
		福島県石油コンビナート等防災計画に基づき、東京電力㈱広野火力発電所構内において、総合訓練を実施する。
		消防本部次長兼浪江消防署長　伴場和雄退職する。
	11月	消防本部次長兼浪江消防署長に猪狩一夫就任する。
		富岡消防署長に中野明就任する。
		災害対策基本法及び福島県地域防災計画に基づき、大熊町において、福島県及び６町主催による原子力防災訓練に参加する。
	12月	富岡消防署の救急車(ニッサンキャラバン２B型)１台を更新する。

昭和59年	１月	浪江消防署の普通ポンプ自動車（いすゞモリタME3A）１台を更新する。
	４月	（財）福島県消防協会双葉支部の事務が、双葉地方町村会より移管される。
	８月	第13回全国消防救助技術大会に出場する。
		ロープ登はん・ロープブリッジ渡過（富岡消防署）
	９月	日本消防協会より緊急給水用濾水器を譲渡される。
	11月	福島県相双地方（双葉地区）総合防災訓練を双葉町で実施する。
		富岡消防署庁舎防水及び外部塗装工事が完了する。
		葛尾出張所にホース乾燥塔１基を設置する。
昭和60年	１月	富岡消防署の普通ポンプ自動車、水槽付ポンプ自動車（いすゞニッキR3、いすゞモリタME5）各１台を更新する。
	５月	消防本部次長兼浪江消防署長　猪狩一夫退職する。
	６月	消防本部次長兼浪江消防署長に中野明就任する。
		富岡消防署署長心得に秋本正夫就任する。
	８月	富岡消防署、ガス滅菌器（パールEO-33E）を購入し配置する。
	10月	福島県石油コンビナート等防災計画に基づき、東京電力㈱広野火力発電所構内において、総合訓練を実施する。
	11月	福島県相双地方（川内地区）総合防災訓練を川内村で実施する。
昭和61年	１月	浪江消防署庁舎防水及び外部塗装工事が完了する。
		浪江消防署の水槽付ポンプ自動車（いすゞモリタME5）１台を更新する。
	４月	第６代消防長事務取扱に双葉地方広域市町村圏組合管理者　遠藤正大熊町長就任する。
		富岡消防署長に秋本正夫就任する。
	５月	無人化・大熊・双葉分遣所の無線施設を廃止する。
	11月	葛尾・川内出張所内部改装工事が完了する。
		（財）日本防火協会より防火広報車（ニッサンキャラバン）を寄贈される。
昭和62年	４月	第７代消防長事務取扱に双葉地方広域市町村圏組合管理者　結城定重楢葉町長就任する。
		浪江消防署長心得に清野清人就任する。
		県より原子力防災資器材貸与される（ポケット線量計20、ポケット線量計荷電器２、アラームメーター20、アラームメーター線量設定器２、アラームメーター充電器２、サーベイメーター５、空気呼吸器５）
昭和62年	５月	水難並びに救助等の災害活動に、アクアラング隊の運用を開始する。
		浪江町林野火災で自衛隊を要請する。（33ha　損害額2,176万円）
	８月	高所放水車のオーバーホールを実施する。
		第16回全国消防救助技術大会に出場する。ロープブリッジ救出（富岡消防署）
	10月	福島県石油コンビナート等防災計画に基づき、東京電力㈱広野火力発電所構内において、総合訓練を実施する。

昭和62年　11月	福島県相双地方(大熊地区)総合防災訓練を大熊町において実施する。
昭和63年　１月	災害対策基本法及び福島県地域防災計画に基づき、富岡町において福島県及び６町主催による原子力防災訓練に参加する。
４月	浪江消防署長に清野清人就任する。
10月	富岡消防署の広報車(ニッサンスカイラインバン)１台を更新する。
11月	消防本部の指令車(三菱デボネア)１台を更新する。 川内出張所の普通ポンプ自動車(三菱キャンター4WDニッキR3)１台を更新する。
平成元年　３月	浪江消防署の救急車(トヨタハイエース)１台を更新する。
４月	第８代消防長事務取扱に双葉地方広域市町村圏組合管理者　関本英勇富岡町長就任する。 消防本部に課制を導入し、総務課、消防課を設置する。 浪江、富岡消防署に副署長制を導入する。 葛尾、川内出張所を分署に改称する
７月	第９代消防長事務取扱に双葉地方広域市町村圏組合管理者　岩本忠夫双葉町長就任する。
８月	台風13号により浪江消防署庁舎が床上冠水する。(60cm)
10月	浪江消防署の広報車(ニッサンスカイラインバン)１台を更新する。 福島県石油コンビナート等防災計画に基づき、東京電力㈱広野火力発電所構内において、総合訓練を実施する。
11月	葛尾分署普通ポンプ自動車(三菱キャンター４WDGM-212)１台を更新する。 災害対策基本法及び福島県地域防災計画に基づき、双葉町において福島県及び６町主催による原子力防災訓練に参加する。 富岡消防署庁舎の内部塗装工事を完了する。
12月	富岡消防署庁舎のアスベスト粉塵飛散防止工事を完了する。 浪江消防署気象観測装置のオーバーホールを完了する。
平成２年　３月	福島県農業共済組合連合会より救急車(ニッサン２B型)１台が寄贈される。 富岡消防署に配置する。
４月	県より原子力防災資器材貸与される。(空気呼吸器５、ボンベ15、発電機・投光器セット２、強力ライト30、水筒100、ポリタンク10、収納箱２)
７月	富岡消防署の広報車(トヨタマークⅡバン)１台を更新する。
８月	川内分署外壁防水塗装工事を完了する。
９月	浪江消防署の救急車(ニッサンキャラバン２B型)１台を更新する。 新準則型救急服(エミュー)を浪江、富岡消防署の救急隊員16名に貸与する。
10月	浪江消防署東側屋根の塗装工事を完了する。
11月	福島綜合警備保障株式会社より広報車(ニッサンADバン)１台が寄贈される。 消防本部に配置する。
12月	葛尾分署庁舎のアスベスト粉塵飛散防止工事を完了する。

平成３年	３月	県より原子力防災資器材が貸与される。（発電機、投光器セット）
	４月	第10代消防長事務取扱に双葉地方広域市町村圏組合管理者　志賀秀朗大熊町長就任する。
		葛尾村と消防作業協力申し合わせを締結する。
		富岡消防署長に池沢昭吉就任する。
		大熊町を富岡消防署の管轄に変更する。
	５月	消防職員定数条例改正、消防職員104名となる。
	６月	第１回危険物防災訓練を大熊町富山薬品工場で実施する。
	８月	第20回全国消防救助技術大会に出場する。ロープ登はん（富岡消防署）
	９月	富岡消防署の救急車（ニッサンキャラバン２B型3,000cc）１台を更新する。
		葛尾、川内分署に連絡車（スズキアルトバン４WD）各１台を配置する。
	10月	福島県石油コンビナート等防災計画に基づき、東京電力㈱広野火力発電所構内において、総合訓練を実施する。
	11月	災害対策基本法及び福島県地域防災計画に基づき、楢葉町において福島県及び６町主催による原子力防災訓練に参加する。
		浪江消防署東側庁舎の改修工事を完了する。
平成４年	１月	県より原子力防災資器材貸与される。（アノラック防護服20、防護マスク20、吸収缶40、ゴム長靴20、ゴム手袋20）
	２月	富岡消防署に救助工作車を配備する。（三菱Ⅱ型）
	４月	浪江消防署長に池沢昭吉就任する。
		富岡消防署長に清野清人就任する。
		川内村と消防作業協力申し合わせを締結する。
	５月	第13回原子力所在市町村消防情報連絡会を富岡町で開催する。
	６月	第２回危険物防災訓練を広野町三協化学で実施する。
	８月	富岡消防署の水道管改修工事を完了する。
	９月	楢葉分遣所の改修工事を完了する。
	10月	楢葉救急分遣所を開所する。
	11月	第８回福島県防火大会を浪江町で開催する。
	12月	浪江消防署の広報車（スバル レガシィ4WD）１台を更新する。
平成５年	２月	県より原子力防護資器材貸与される。（超軽量空気ボンベ10本、収納箱３組）
	４月	消防職員定数条例改正、消防職員116名となる。
		双葉地方広域市町村圏組合管理者に叶幸一浪江町長就任する。
		第11代消防長に中野明就任する。（専任消防長）
	６月	第３回危険物防災訓練を東京電力㈱第一原子力発電所で実施する。
	10月	救急Ⅱ課程に伴う救急資器材を整備する。（浪江・富岡救急車に積載）
		葛尾分署救急車（トヨタ ハイエース　２B型　ディーゼル2,800cc）１台を更新する。
	11月	災害対策基本法及び福島県地域防災計画に基づき大熊町において福島県及び６町主催による原子力防災訓練に参加する。

平成６年	２月	福島県沿岸流失油災害対策協議会を設立する。
	３月	浪江消防署長　池沢昭吉退職する。
	４月	消防本部次長兼浪江消防署長に秋本正夫就任する。
	６月	第４回危険物防災訓練を東京電力㈱第二原子力発電所構内で実施する。
	８月	消防本部・浪江消防署の下水道工事を完了する。
		福島県消防署長会議を当消防本部にて開催する。
		第23回全国消防救助技術大会に出場する。ロープ登はん（富岡消防署）
	９月	社団法人日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（三菱UFK618GW型、ポンプ性能A-1級、積載水量1,700L）１台を寄贈される。
		浪江消防署に配置する。
	10月	川内・葛尾分署を増員、各11名とする。
		災害対策基本法及び福島県地域防災計画に基づき、相双地方防災訓練を楢葉町において、実施する。
		福島県石油コンビナート等防災計画に基づき、東京電力㈱広野火力発電所構内において総合訓練を実施する。
	11月	第20回福島県下消防職員親善剣道大会を当消防本部にて開催する。
		救急Ⅱ課程に伴う救急資器材を整備する。（川内・楢葉救急車に積載）
	12月	富岡消防署事務室の改修工事を完了する。
		葛尾分署事務室の改修工事を完了する。
		救助資器材を整備する。（浪江消防署）
平成７年	３月	富岡消防署雨漏れ改修工事を完了する。
		楢葉分遣所下水道工事を完了する。
	４月	双葉地方広域市町村圏組合管理者に渡邉尊之川内村長就任する。
		当消防本部に初の救急救命士が誕生する。
	６月	第５回危険物防災訓練を大熊町みどり化学㈱大熊工場内で実施する。
	８月	第23回福島県下消防職員親善卓球大会を当消防本部にて開催する。
	９月	救急Ⅱ課程に伴う救急資器材を整備する。（葛尾救急車に積載）
		楢葉分遣所の車庫増築工事を完了する。
		楢葉町、広野町消防活動協力申し合わせの締結をする。
	10月	楢葉分遣所に水槽付ポンプ自動車（いすゞモリタME5）１台を配置し、運用を開始する。
		２人目の救急救命士が誕生する。
	11月	災害対策基本法及び福島県地域防災計画に基づき、富岡町において福島県及び６町主催による原子力防災訓練に参加する。
		富岡消防署食堂及びホース干し場の改修工事を完了する。
		浪江消防署軒樋改修工事を完了する。
平成８年	１月	楢葉分遣所ホース干し場工事を完了する。
	３月	富岡消防署の訓練用照明装置取付け工事を完了する。
		浪江消防署・富岡消防署消防用設備の改修工事を完了する。
		富岡消防署長　清野清人退職する。

平成８年	４月	富岡消防署長に遠藤輝男就任する。
	６月	第６回危険物防災訓練を楢葉町いわき沖石油開発㈱構内で実施する。
	８月	浪江消防署資機材搬送車を更新する。（トヨタダイナ　ディーゼル２トン車）
		富岡消防署西側車庫改修工事を完了する。
	９月	葛尾分署オーバードアー設置工事を完了する。
		浪江消防署訓練塔改修工事を完了する。
	10月	福島県から原子力防災活動車両（マイクロバス）が配備される。（トヨタコースター25人乗り）
		双葉地方危険物安全協会創立20周年記念式典を浪江町で開催する。
		葛尾分署庁舎防水塗装工事を完了する。
	12月	浪江消防署庁舎補修・外壁防水塗装工事を完了する。
		富岡消防署の広報車（スバルレガシィ4WD 2,000cc）１台を更新する。
平成９年	３月	双葉地方消防受援計画を制定する。
		浪江消防署吸水管取替工事を完了する。
		富岡消防署雨漏等補修工事を完了する。
		葛尾分署庁舎屋根塗装工事を完了する。
	４月	双葉地方広域市町村圏組合管理者に松本允秀葛尾村長就任する。
		３人目の救急救命士が誕生する。
	６月	第７回危険物防災訓練を東京電力㈱広野火力発電所構内で実施する。
	10月	「港湾・ヘリポート施設使用協定」を東京電力㈱第一原子力発電所、福島第二原子力発電所、広野火力発電所と締結する。
		４人目の救急救命士が誕生する。
		第16回福島県下消防職員親善野球大会を当消防本部にて開催する。
		災害対策基本法及び福島県地域防災計画に基づき、相双防災訓練を浪江町において実施する。
		福島県消防長会総務担当者会議を当消防本部にて開催する。
	11月	災害対策基本法及び福島県地域防災計画に基づき、双葉町において福島県及び６町主催の原子力防災訓練に参加する。
	12月	福島県広域消防相互応援協定締結する。
平成10年	２月	高規格救急自動車（ニッサンパラメディックⅡ）が山之内製薬㈱から寄贈され、富岡消防署に配置し、３月14日から運用を開始する。
	３月	携帯119受信転送に係る協定（いわき市消防本部）を締結する。
	４月	消防職員定数条例改正、消防職員118名となる。
		消防本部の組織を一部改正し、総務課に財政係を置く。
		消防本部次長兼総務課長に秋本正夫就任する。
		浪江消防署長に遠藤恒男就任する。
		楢葉分遣所を分署に格上げし、署員13名を配置する。
		楢葉分署に広報車（スバルレガシィー4WD 2,000cc）１台を配置する。
		広野町と消防活動協力申し合わせを締結する。
	６月	第８回危険物防災訓練を広野町三協化学で実施する。

平成10年　８月	双葉地方広域市町村圏組合消防計画を制定する。 第23回予防・警防・救急実務研究会（救急部門）を当消防本部で開催する。
10月	災害対策基本法及び福島県地域防災計画に基づき、相双地方総合防災訓練を葛尾村で実施する。 福島県石油コンビナート等防災計画に基づき、東京電力㈱広野火力発電所構内において総合訓練を実施する。 ５人目の救急救命士が誕生する。
平成11年　１月	富岡消防署はしご付き高所放水車（30m級森田）を更新する。
２月	浪江町林野火災で、福島県防災ヘリ、自衛隊を要請する。（24.8ha）　福島県相互応援協定に基づき４消防本部の応援を受ける。消防組織法24条の３に基づき東京消防庁、群馬、栃木、宮城各県防災ヘリの応援を受ける。 富岡町トミバーク火災で、（暴風警報発令中）大熊、楢葉町各消防団の応援を受ける。
３月	消防本部消防長　中野明退職する。 浪江消防署長　遠藤恒男退職する。
４月	双葉地方広域市町村圏組合管理者に草野孝楢葉町長就任する。 第12代消防長に秋本正夫就任する。 浪江消防署長心得に秋元正就任する。
６月	第９回危険物防災訓練を東京電力㈱福島第二原子力発電所で実施する。 富岡消防署の食堂防水工事を完了する。
７月	川内分署下水道改修工事を完了する。 富岡町建物（養鶏所）火災（損害額２億６千万円）
８月	福島県相互応援協定に基づき、初の県隊総合訓練に参加する。
９月	天皇皇后行幸啓に伴う特別警戒を実施する。 MOX燃料搬入に伴う特別警戒（第一原子力発電所）を実施する。
10月	６人目の救急救命士が誕生する。
12月	浪江消防署・富岡消防署の普通ポンプ自動車各１台を更新する。（日野4WD-CD1） 「Y2K」に伴う特別警戒を実施する。 火災原因調査に係る相互応援協定を県内各消防本部と締結する。
平成12年　２月	平成11年度福島県原子力防災訓練を楢葉町で実施する。
３月	福島県共済農業協同組合連合会より救急車（トヨタ２B型）１台が寄贈される。 楢葉分署に配置する。 消防本部消防長　秋本正夫退職する。
４月	消防職員定数条例改正、消防職員127名となる。 第13代消防長に遠藤輝男就任する。 富岡消防署長に秋元正就任する。 浪江消防署長に志賀節夫就任する。 原浪トンネル開通に伴う防災訓練を相馬地方広域消防本部と合同で実施する。 ７人目の救急救命士が誕生する。
５月	双葉地方防火管理者協議会創立20周年記念式典を開催する。

平成12年　６月	第10回危険物施設防災訓練を第一原子力発電所で実施する。
10月	８人目の救急救命士が誕生する。
11月	平成12年度福島県原子力防災訓練を大熊町、双葉町で実施する。
平成13年　２月	高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を浪江消防署に配備し運用開始する。
４月	富岡消防署長に山田恭二就任する。
	消防本部行政改革推進本部及び行政改革検討部会を設置する。
	９人目の救急救命士が誕生する。
	県消防防災航空隊に職員を派遣する。
６月	第11回危険物施設防災訓練を大熊町みどり化学で実施する。
10月	平成13年度福島県相双地方総合防災訓練を富岡町で実施する。
	10人目の救急救命士が誕生する。
11月	第１回消防職員意見発表会を楢葉町で開催する。
	平成13年度福島県原子力防災訓練を富岡町・楢葉町で実施する。
12月	楢葉分署新庁舎が完成する。
平成14年　１月	消防本部出初式を浪江消防署で実施する。
	常磐自動車道消防相互応援協定をいわき市との間に締結する。
	楢葉分署を開署する。
３月	常磐自動車道広野IC供用開始に伴う事前防災訓練をいわき市消防本部と合同実施する。
	浪江消防署長　志賀節夫退職する。
４月	双葉地方広域市町村圏組合管理者に岩本忠夫双葉町長就任する。
	消防本部次長兼総務課長に秋元正就任する。
	浪江消防署長に吉川定就任する。
	組織機構改革を行い、葛尾・川内分署を出張所に改称する。
	楢葉分署に高速救急隊を増設、大型化学車を富岡消防署から配置替えし、警防係、予防係、救急係を設置する。
	浪江・富岡消防署の副署長を、交代制勤務で２人制とする。
	貸与品を見直して、消防吏員服制基準に基づく制服を採用する。
５月	原子力発電所における消防活動に関する消防機関と事業者との協定を改定する。
６月	第12回危険物施設防災訓練を広野町三協化学で実施する。
９月	双葉地方救急フェアを初めて開催する。
10月	福島県石油コンビナート等防災計画に基づき、東京電力広野火力発電所内において総合訓練を実施する。
	平成14年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練に参加する。
11月	平成14年度福島県原子力防災訓練を大熊町・双葉町で実施する。
	第２回消防職員意見発表会を双葉町で開催する。
	福島県から原子力防災活動車両(トヨタ エスティマ)が配備される。
平成15年　１月	消防本部出初式を富岡消防署で実施する。
	不審火の増加に伴い「対策会議」を設置し、警戒態勢を強化する。

平成15年　４月	双葉地方広域市町村圏組合管理者に遠藤勝也富岡町長就任する。 包括的除細動を開始する。 11人目の救急救命士が誕生する。
７月	救急救命士養成専門学校生の同乗実習指導を行う。 緊急消防援助隊福島県隊合同訓練に参加する。
９月	2003双葉地方救急フェアを実施する。
11月	平成15年福島県原子力防災訓練を楢葉町、富岡町で実施する。 第３回消防職員意見発表会を富岡町で開催する。 消防本部の指令車を更新する。（トヨタクラウン） 浪江消防署・富岡消防署合同による山岳救助訓練を実施する。 12人目の救急救命士が誕生する。
平成16年　１月	消防本部出初式を浪江消防署で実施する。
２月	東京電力㈱広野火力発電所より化学車が寄贈される。楢葉分署に配備する。
３月	消防本部消防長　遠藤輝男退職する。 浪江消防署長　吉川定退職する。 福島県から原子力防災活動車両（ニッサン キャラバン）が配備される。 富岡消防署の原液搬送車を更新する。 常磐自動車道　常磐・富岡IC共用に伴う事前防災訓練を実施する。
４月	第14代消防長に秋元正就任する。 浪江消防署長に大和田幹夫就任する。
６月	大熊町で多数傷病者事故が発生する。（マイクロバスの転落により重軽傷者25名）
９月	消防本部ネットワークを構築し、運用を開始する。 平成16年度相双地方（広野地区）総合防災訓練を広野町で実施する。 川内・葛尾出張所の連絡車を更新する。（スズキワゴンR） 2004双葉地方救急フェアを開催する。 富岡消防署下水道工事が完了し、供用を開始する。
10月	新潟県中越地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として隊員７名を派遣する。 楢葉分署に高規格救急車を配備し、運用を開始する。 消防本部ホームページを開設する。
11月	第４回消防職員意見発表会を浪江町で開催する。 平成16年度福島県原子力防災訓練を大熊町・双葉町で実施する。 浪江消防署訓練塔・ホース乾燥塔改修工事を完了する。 葛尾出張所庁舎内装改修工事を完了する。
12月	浪江消防署の広報車を更新する。（トヨタカルディナ） 新潟中越地震被災地で緊急援助隊福島県隊として活動、地域の安全確保に貢献し、消防庁長官より褒状を授与される。
平成17年　１月	消防本部出初式を富岡消防署で実施する。
２月	富岡消防署に原子力防災資機材搬送車両が配置される。 （ニッサン キャラバン）

平成17年	４月	双葉地方広域市町村圏組合管理者に小松真広野町長就任する。
		13人目の救急救命士が誕生する。
	７月	富岡消防署に高規格救急車(災害対応救急車)を配備する。(トヨタ グランビア)
	８月	緊急消防援助隊福島県隊合同訓練に参加する。(福島市)
	９月	平成17年度福島県総合防災訓練に参加する。(福島市)
		2005双葉地方救急フェアを富岡町で開催する。
	11月	第５回消防職員意見発表会を大熊町で開催する。
		14人目の救急救命士が誕生する。
		平成17年度福島県原子力防災訓練を２日間に渡り実施する。
	12月	富岡消防署耐震工事を完了する。
		富岡消防署事務室アスベスト除去工事を完了する。
平成18年	１月	消防本部出初式を浪江消防署で実施する。
		双葉地方広域市町村圏組合管理者に横山藏人浪江町長就任する。
	２月	浪江消防署通信指令室にて携帯119番直接受信を開始する。
	３月	浪江消防署西側車庫のアスベスト除去工事を完了する。
		葛尾出張所アスベスト除去工事を完了する。
	４月	消防本部次長兼浪江消防署長に山田恭二就任する。
		富岡消防署長に増田正成就任する。
		消防本部に原子力防災資機材搬送車両配備される。(ニッサン キャラバン)
		富岡消防署楢葉分署に原子力防災資機材搬送車両が配備される。
		(ニッサン キャラバン)
		15人目の救急救命士が誕生する。
	５月	双葉地方危険物安全協会創立30周年記念式典を開催する。
	６月	富岡消防署川内出張所新築工事安全祈願祭を執り行う。
	８月	平成18年度福島県消防署長会議を当消防本部にて開催する。
		緊急消防援助隊福島県隊合同訓練に参加する。(いわき市)
	９月	平成18年度福島県総合防災訓練に参加する。(いわき市)
		平成18年度福島県相双地方(川内地区)総合防災訓練を川内村で実施する。
		ふたば救急フェア2006を大熊町で開催する。
	10月	福島県石油コンビナート等防災計画に基づき、東京電力株式会社広野火力発電所内において総合訓練を実施する。
	11月	第６回双葉地方広域消防職員意見発表会を広野町で開催する。
平成19年	１月	消防本部出初式を富岡消防署で実施する。
		富岡消防署のタンク車を更新し、災害対応特殊水槽付ポンプ車として配備する。
	２月	平成18年度福島県原子力防災訓練を２日間に渡り実施する。(大熊町)
		浪江消防署庁舎東側屋根の補修工事を完了する。
		川内出張所新庁舎にて消防業務を開始する。
	４月	16人目の救急救命士が誕生する。

平成19年	８月	第36回全国消防救助技術大会に出場する。ロープブリッジ救出(富岡消防署)
		緊急消防援助隊福島県隊合同訓練に参加する。(白河市)
	９月	平成19年度福島県総合防災訓練に参加する。(白河市)
		ふたば救急フェア2007を富岡町で開催する。
	10月	平成19年度福島県原子力防災訓練を２日間に渡り実施する。(楢葉町)
	11月	第７回双葉地方広域消防職員意見発表会を葛尾村で実施する。
		構成各町村と関係医療団体及び当組合間で、「災害・武力攻撃事態等における医療救護活動協定」を締結する。
平成20年	１月	双葉地方広域市町村圏組合管理者に遠藤雄幸川内村長就任する。
		消防本部出初式を浪江消防署で実施する。
		川内出張所に高規格救急車を配備する。(トヨタハイエース)
	２月	楢葉分署のタンク車を災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車(Ⅰ-B型)に更新する。(日野4WD)
	３月	消防本部次長兼浪江消防署長　山田恭二退職する。
	４月	消防本部次長兼総務課長に大和田幹夫就任する。
		浪江消防署長に柴繁就任する。
		17・18人目の救急救命士が誕生する。
	５月	富岡消防署の救急滅菌室を改修する。
	６月	岩手・宮城内陸地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として７名を派遣する。
		浪江消防署西側階段を改修する。
	７月	岩手沿岸北部地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として７名を派遣する。
		JRとの鉄道事故対応合同訓練を浪江駅で実施する。
	８月	福島県相双地方総合防災訓練及び災害時要援護者避難訓練を実施する。(楢葉町)
		緊急消防援助隊福島県隊合同訓練に参加する。(喜多方市)
	９月	平成20年度福島県総合防災訓練に参加する。(喜多方市)
		双葉BLSフェスタ2008を富岡町で開催する。
	10月	平成20年度原子力総合防災訓練を実施する。(国主催・大熊町)
	11月	第８回双葉地方広域消防職員意見発表会を川内村で実施する。
平成21年	１月	消防本部出初式を富岡消防署で実施する。
	２月	葛尾出張所に高規格救急車を配備する。(ニッサン パラメディック)
		川内出張所の消防ポンプ車を更新する。(CD-1型)
	３月	次長兼総務課長　大和田幹夫退職する。
		富岡消防署長　増田正成退職する。
	４月	消防本部次長兼浪江消防署長に柴繁就任する。
		富岡消防署長に吉田繁雄就任する。
		救急業務高度化推進検討部会を設置する。
		19・20人目の救急救命士が誕生する。
		楢葉・広野連続不審火に伴い、対策本部を設置し警戒態勢を強化する。

平成21年	６月	新型インフルエンザ拡大により、業務継続計画を策定する。
	７月	第30回原子力所在市町村消防情報連絡会を楢葉町で開催する。
	８月	第38回全国救助技術大会に出場する。引揚救助・ロープブリッジ渡過（浪江消防署）
		緊急消防援助隊福島県隊合同訓練に参加する。（郡山市）
		平成21年度福島県総合防災訓練に参加する。（郡山市）
	９月	双葉BLSフェスタ2009を大熊町で開催する。
		福島県消防長会総務担当者研修会を当消防本部にて開催する。
		第12回福島県消防職員親善サッカー大会を当消防本部にて開催する。
	10月	平成25年度消防救急無線デジタル化に向けた高機能指令装置整備検討会を設置する。
		第６回福島県消防職員親善野球大会を当消防本部にて開催する。
		平成21年度福島県相双地方（双葉地区）総合防災訓練を双葉町で実施する。
	11月	第９回双葉地方広域消防職員意見発表会を楢葉町で実施する。
	12月	福島県国民保護共同（原子力防災）訓練を実施する。（楢葉町・富岡町）
		浪江消防署訓練塔（副塔）改修工事を完了する。
平成22年	１月	消防本部出初式を浪江消防署で実施する。
		浪江消防署の高規格救急車（災害対応救急自動車）を更新する。
		（トヨタハイメディック）
		楢葉分署の広報車を更新する。（トヨタサクシード）
	２月	葛尾出張所の消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新する。
	４月	21・22人目の救急救命士が誕生する。
	５月	双葉地方防火管理者協議会設立30周年記念式典を浪江町で開催する。
	８月	緊急消防援助隊福島県隊合同訓練に参加する。（相馬市）
	９月	平成22年度福島県総合防災訓練に参加する。（相馬市）
		双葉BLSフェスタ2010を大熊町で開催する。
	10月	富岡消防署の広報車を更新する。（スバルアウトバック）
		経済産業省原子力安全保安院「原子力安全規制情報会議」へ、原子力発電所等所在消防本部代表として消防長が出席する。
		平成22年度福島県石油コンビナート総合防災訓練に参加する。（広野町）
		化学消火薬剤原液タンク（4,000㍑）の界面活性消火薬剤を、水性膜消火薬剤に入れ替える。
	11月	第10回双葉地方広域消防職員意見発表会を双葉町で開催する。
		平成22年度福島県原子力防災訓練に参加する。（国主催・双葉町）
		平成22年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練に参加する。（郡山市）
		双葉地方広域消防本部消防計画を一部改正する。
	12月	浪江消防署西棟・中央棟耐震診断を実施する。
		デジタル消防・救急無線電波伝搬調査を実施する。
		平成22年中、当消防本部管内の火災件数、損害額とも発足以来最小記録を更新する。
平成23年	１月	消防本部出初式を富岡消防署で実施する。

平成23年　３月	11日（14時46分）東北地方太平洋沖地震が発生する。 （震度６強：浪江町・双葉町・大熊町・富岡町・楢葉町/震度６弱：広野町・川内村/震度５強：葛尾村） 11日（14時49分）気象庁は太平洋沿岸に大津波警報を発令する。 浪江消防署に「消防指揮本部」、富岡消防署に「現地指揮本部」を設置する。 二次非常配備命令を発令する。 内閣総理大臣は「東京電力㈱福島第二原子力発電所10㎞圏内避難指示」を発令する。 内閣総理大臣は「東京電力㈱福島第一原子力発電所20㎞圏内避難指示」を発令する。 消防本部･富岡消防署及び楢葉分署機能を川内出張所へ、浪江消防署機能を葛尾出張所へ車輌人員と併せそれぞれ移転する。 消防本部消防長　秋元正退職する。 消防本部総務課長　佐藤光一退職する。
４月	第15代消防本部消防長に柴繁就任する。 消防本部次長兼浪江消防署長に吉田繁雄就任する。 富岡消防署長に西村栄一就任する。 消防本部総務課長に岡田雄一就任する 消防本部消防課長に安倍一夫就任する。 総理は原子力災害特別措置法第20条第３項に基づき、東京電力㈱福島第一原子力発電所から20㎞圏内を「警戒区域」に指定する。 東京電力㈱福島第二原子力発電所10㎞圏内避難指示が８㎞に縮小される。 23・24人目の救急救命士が誕生する。
５月	消防本部総務課付職員を福島県（消防学校教官）に派遣する。
６月	双葉地方広域市町村圏組合管理者に井戸川克隆双葉町長就任する。 消防本部消防長柴繁退職する。 警戒区域外となった楢葉分署を再開し、川内出張所に移転した富岡消防署及び楢葉分署の人員車両を、楢葉分署へ再配備する。 葛尾出張所に移転していた浪江消防署及び葛尾出張所の人員車輌を、川内出張所へ再移転する。 葛尾出張所消防体制を川内出張所からの派遣体制とする。 総務省消防庁の「緊急時メンタルサポートチーム」派遣支援により、職員のメンタルケアを実施する。
７月	第16代消防本部消防長に吉田繁雄就任する。 浪江消防署長に岡田雄一就任する。 消防本部総務課長に大和田仁就任する。
８月	福島県立医科大学附属病院において、WBCによる全職員の第１回目内部被ばく検査が完了する。
９月	東日本大震災並びに福島第一原子力発電所災害に係る「消防本部復旧計画書」を策定する。 放射線医学総合研究所から講師を招き、互助会事業の一環として「放射線防護に関する研修会」を実施する。
10月	「双葉地方広域市町村圏組合消防本部における放射線活動要綱」を制定し施行する。

平成23年　11月	福島県消防長会議において福島県広域応援隊の活動方針が協議され、「福島県広域消防相互応援協定に基づく警戒区域及び計画的避難区域内の広域応援隊の活動方針」を策定、施行する。 東日本大震災に対して特に顕著な功績があった団体として「総務大臣表彰」を受章する。
12月	福島県立医科大学附属病院において、WBCによる全職員の第２回目内部被ばく検査が完了する。
平成24年　１月	「消防業務に従事する職員の被ばく線量管理計画」を策定し施行する。 消防本部復興対策検討委員会並びに復興対策準備委員会を設置する。
２月	大容量送水システム（ドラゴンブーストユニット）一式・水槽付消防ポンプ車１台・資機材搬送車２台を大阪市消防局から無償譲渡を受け、楢葉分署に配備する。
３月	福島県立医科大学附属病院において、WBCによる全職員の第３回目内部被ばく検査が完了する。 総務省消防庁の「緊急時メンタルサポートチーム」派遣支援により、職員のメンタルケアを実施する。 愛知県 新城市から10㌧水槽付消防ポンプ車１台の無償譲渡を受け楢葉分署に配備する。 静岡県 富士市から10㌧水槽付消防ポンプ車１台の無償譲渡を受け川内出張所に配備する。 原子力災害緊急消防援助隊等活動交付金により、警戒区域の５町（楢葉町・富岡町・大熊町・双葉町・浪江町）に監視カメラを設置する。 原子力災害緊急消防援助隊等活動交付金により、楢葉分署及び川内出張所に仮設車庫を設置する。 JA福島共済連から高規格救急車（トヨタ ハイメディック）１台の寄贈を受け、楢葉分署に配備する。 消防本部消防長　吉田繁雄退職する。
４月	第17代消防本部消防長に西村栄一就任する。 消防本部消防課長に佐藤敏彦就任する。 富岡消防署長に安倍一夫就任する。 消防本部事務機能を広野町サッカー支援センター柊荘内に移転する。 消防原子力災害対策本部を楢葉分署に移設する。 県消防防災航空隊に当職員を派遣する。
５月	総務省消防庁　久保信保長官が来訪し、職員激励並びに管内巡視を実施する。
６月	楢葉分署敷地内に建設されている消防本部臨時的活動拠点（仮庁舎）の安全祈願祭を実施する。 日本私立学校振興・共済事業団　東京臨海病院長　山本保博先生を講師に招き災害救急医療について「双葉救急講演会」を実施する。 消防本部・浪江消防署庁舎並びに敷地内の先行除染が実施される。
７月	原子力災害緊急消防援助隊等活動交付金により、浪江町８基、双葉町８基、大熊町12基、富岡町４基　合計32基の仮設防火水槽設置が完了する。 富岡消防署庁舎並びに敷地内の先行除染が実施される。

平成24年　７月	福島県立医科大学から講師を招き、互助会事業として「放射線被ばくに関する勉強会」を開催し、過去３回のWBC結果に対する評価等について講義を受ける。
８月	川内出張所第二事務所を、職員の待機宿舎として借用していた川内村中学校寄宿舎に開設し、本格運用を開始する。
９月	救急振興財団 救急救命東京研修所　田邉晴山教授を講師に招き救命士の処置拡大等の最新情報について「双葉救急研修会」を実施する。 東日本大震災に対して顕著な功績があった団体として「平成24年度防災功労者内閣総理大臣表彰」を受章する。 原子力災害緊急消防援助隊等活動交付金により、水中ポンプ（発電機、操作盤）を購入し浪江消防署（川内出張所）へ配備する。 原子力災害緊急消防援助隊等活動交付金により、消防本部臨時的活動拠点（仮庁舎）が楢葉分署敷地内に完成する。
10月	消防本部臨時的活動拠点（仮庁舎）開所する。 福島県立医科大学附属病院において、WBCによる全職員の第４回目内部被ばく検査が完了する。
11月	原子力災害緊急消防援助隊等活動交付金により、救助工作車を購入し富岡消防署（楢葉分署）に配備する。 総務省消防庁　岡﨑浩巳長官が来訪し、職員激励並びに管内巡視を実施する。 白河・須賀川・郡山の三消防本部合同訓練が川内村で実施される。 第11回双葉地方広域消防職員意見発表会を広野町で開催する。
12月	双葉地方広域市町村圏組合管理者に山田基星広野町長就任する。
平成25年　２月	総務省消防庁から支援車Ⅰ型１台の無償使用を受け、消防本部に配備する。
３月	広野町といわき市の境界で発生した林野火災により、いわき市消防本部と共同で消火活動にあたる。（広野町7.2ha、いわき市0.6ha）また、福島県相広域消防互応援協定に基づき県内２消防本部の応援を受ける。 厚生労働省DMAT事務局近藤久禎先生をはじめ５名の先生を招聘し、局地災害時の対応や多数傷病者の対応について「第３回双葉救急研修会」を実施する。 福島県から配備されている原子力防災活動車両（ワンボックスカー）を更新する。 （トヨタエスティマ） 福島県立医科大学附属病院において、WBCによる全職員の第５回目内部被ばく検査が完了する。 楢葉分署に救助訓練塔が落成する。 福島支援全国消防派遣隊発隊式を実施する。 富岡消防署長　安倍一夫退職する。 消防本部消防課長　佐藤敏彦退職する。
４月	消防本部消防課長に渡邉敏行就任する。 富岡消防署長に遠藤充就任する。 福島支援全国消防派遣隊との合同業務を開始する。 浪江消防署臨時庁舎として浪江町役場労働組合事務所を借用し、派遣体制での業務を開始する。

平成25年　４月	大阪市消防局から資機材搬送車２台の無償譲渡を受け、楢葉分署に１台、川内出張所に１台配備する。 25・26人目の救急救命士が誕生する。
５月	多数傷病者対応訓練に参加する。（飯舘村）
６月	医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第６回目内部被ばく検査が完了する。
８月	原子力災害避難指示区域消防活動費交付金交付事業により、クーリングベスト121着、救命胴衣22着を購入する。 平成25年度緊急消防援助隊福島県隊合同訓練に参加する。（二本松市）
９月	平成25年度福島県総合防災訓練に参加する。（二本松市） 厚生労働省DMAT事務局　小早川義貴先生、救急振興団　救急救命東京研修所　田邊晴山教授を招聘し「第４回双葉救急研修会」を実施する。 双葉消防本部支援調整会議が設置され、総務省消防庁　大石利雄長官が出席し、第１回会議が福島市で開催する。 総務省消防庁　大石利雄長官が来訪し、職員激励を実施する。 福島支援全国消防派遣隊の業務が終了し、帰隊式を実施する。
10月	福島県消防長会議において福島県広域応援の救急活動方針が協議され 「福島県広域消防相互応援協定に基づく東京電力福島第一原子力発電所での多数傷病者発生時における広域応援隊の活動方針」を策定、施行する。 医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第７回目内部被ばく検査が完了する。
11月	第12回双葉地方広域消防職員意見発表会を川内村で開催する。 原子力災害避難指示区域消防活動費交付金交付事業により、土壌・水中放射線量測定器５基を購入する。 郡山消防本部と火災対応合同訓練を実施する。（田村市都路町） 相馬消防本部と火災対応合同訓練を実施する。（南相馬市）
12月	双葉地方広域市町村圏組合管理者に渡辺利綱大熊町長就任する。
平成26年　２月	浪江町（避難指示解除準備区域）で発生した建物火災により、福島県広域消防相互協応援定に基づき県内８消防本部の応援を受ける。 常磐自動車道広野ICから常磐富岡ICの再開通に伴う交通事故救護訓練を福島県警察高速道路交通警察隊と合同で実施する。
３月	福島県から配備されている原子力防災活動車両（資機材搬送車）を更新する。 （三菱デリカD：5） 消防防災設備災害復旧補助金事業にて、浪江消防署の高規格救急車（ニッサンパラメディック）及び、楢葉分署の高規格救急車（ニッサン パラメディック）、富岡消防署の高規格救急車（ニッサン パラメディック）を更新する。 医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第８回目内部被ばく検査が完了する。 JRとの津波避難訓練会を広野町で実施する。 消防本部消防長　西村栄一退職する。

平成26年　３月	浪江消防署長　岡田雄一退職する。 富岡消防署長　遠藤充退職する。
４月	第18代消防長事務取扱に双葉地方広域市町村圏組合筆頭副管理者　馬場有浪江町長就任する。 消防本部次長に大和田仁就任する。 消防本部総務課長に渡邉敏行就任する。 消防本部消防課長に金澤文男就任する。 浪江消防署長に末永孝二就任する。 富岡消防署長に中嶋忠就任する。 消防本部消防課に通信指令係を設置する。 26・27人目の救急救命士が誕生する。 浪江消防署の臨時的活動拠点として、浪江町サンシャインなみえを借用し本格運用を開始する。
５月	福島県広域消防相互応援協定に基づく避難指示区域内における大規模火災対応訓練を、福島県防災航空センター及び県内12消防本部の協力のもと、浪江町で実施する。
６月	医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第９回目内部被ばく検査が完了する。
７月	消防・救急デジタル無線及び高機能指令装置の運用開始に伴い、消防・救急デジタル無線等運用開始式を実施する。 原子力災害避難指示区域消防活動費交付金交付事業により、可搬式消防ポンプ２台を購入し浪江消防署と富岡消防署に配備する。 避難指示区域内での多数傷病者発生事故に備え、多数傷病者対応訓練(机上訓練)を、県内医療機関、DMAT、防災航空センター、県内12消防本部の協力のもと、楢葉町立楢葉南小学校で実施する。
８月	常磐自動車道消防相互応援協定を相馬地方広域消防本部と締結する。 総務省消防庁を訪問する。消防庁消防・救急課山越伸子消防救急課長へ、「双葉消防本部支援調整会議」での双葉消防が抱える課題解決の支援要請と、新たな施設・設備整備の要望をする。 原子力災害避難指示区域消防活動費交付金交付事業により、フローティングストレーナー14基を購入し各署所に配備する。 緊急消防援助隊福島大隊合同訓練に参加する。(須賀川市) 平成26年度福島県総合防災訓練に参加する。(須賀川市)
９月	原子力災害現地対策本部高木陽介本部長、内閣府原子力被災者生活支援チーム後藤収審議官が来訪し、職員激励並びに管内視察を実施する。
10月	情報発信性を高めるため、消防本部ホームページを一新する。 職員の心身の健康保持、増進を目的に、福島県立医科大学付属病院災害医療総合学習センター医学博士の熊谷敦史先生に産業医を委嘱する。 原子力災害避難指示区域消防活動費交付金交付事業により、燃料保管庫３台を購入し浪江消防署、楢葉分署、川内出張所に設置する。 医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第10回目内部被ばく検査が完了する。

平成26年　10月	常磐自動車道浪江IC-南相馬IC間の開通に伴う調査を、相馬地方広域消防本部と合同で実施する。
11月	原子力災害避難指示区域消防活動費交付金交付事業により、救助訓練塔(副塔)を楢葉分署敷地内に整備する。 第13回双葉地方広域消防職員意見発表会を広野町で開催する。
12月	福島県消防長会警防実務研修会・消防職員惨事ストレス研修会を、当消防本部管内の施設であるJヴィレッジで開催する。
平成27年　1月	平成27年出初式を、4年ぶりに楢葉分署で開催する。
2月	全国消防長会　大野博見事務総長が来訪し、職員激励並びに管内視察を実施する。 総務省消防庁　坂本森男長官が来訪し、職員激励並びに管内視察を実施する。 消防防災設備災害復旧費補助金により、浪江消防署の高規格救急車(双葉救急21)、葛尾出張所の高規格救急車(双葉救急23)を更新する。
3月	常磐自動車道富岡IC・浪江IC間が再開通し、常磐自動車道が全線開通する。 医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第11回目内部被ばく検査が完了する。 浪江消防署長　末永孝二退職する。 消防本部消防長事務取扱　馬場有浪江町長退任する。
4月	双葉地方広域市町村圏組合管理者に馬場有浪江町長就任する。 第19代消防長事務取扱に松本幸英楢葉町長就任する。 浪江消防署長に加勢信二就任する。 浪江消防署臨時庁舎、葛尾出張所の人員派遣体制を固定化する。 28・29人目の救急救命士が誕生する。 平成27年度多数傷病者対応訓練(机上訓練)に参加する。(いわき市)
5月	福島県広域消防相互応援協定に基づく避難指示区域内における大規模火災対応訓練を、福島県防災航空センター及び県内12消防本部の協力のもと、楢葉町で実施する。総務省消防庁及び福島県危機管理部、オフサイトセンター、東京電力株式会社、緊急消防援助隊(宮城県、山形県、栃木県、新潟県)が参観する。 「平成26年度消防防災施設災害復旧費補助金」(繰越明許)の交付を受け、東日本大震災で被災した、富岡消防署楢葉分署及び川内出張所庁舎の補修工事を実施する。
6月	医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第12回目内部被ばく検査が完了する。
7月	福島県広域応援協定に基づく応援隊及び緊急消防援助隊の消防活動上に必要な装備として、クーリングベスト及び、防護服等一式155名分を購入する。
8月	平成27年度緊急消防援助隊福島県大隊合同訓練に参加する。(南相馬市) 平成27年度福島県総合防災訓練に参加する。(南相馬市)
9月	楢葉町の避難指示が、解除される。
10月	総務省消防庁　佐々木敦朗長官が来訪し、職員激励並びに管内視察を実施する。 医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第13回目内部被ばく検査が完了する。 平成27年度福島県石油コンビナート総合防災訓練に参加する。(広野町)

平成27年　10月	平成27年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練に当消防本部として初参加する。（岩手県北上市）
	原子力災害避難指示区域消防活動費交付金により、浪江消防署のCAFS搭載水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ-Ｂ型）・消防ポンプ自動車（CD-1型）及び、富岡消防署の消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新する。
	消防本部の指揮車を更新する。（トヨタ エスクァイア）
11月	富岡消防署の臨時拠点として富岡町第一分団屯所を借用し、派遣体制での運用を開始する。
	平成27年度福島県相双地方（広野地区）総合防災訓練に参加する。
12月	第14回双葉地方広域消防職員意見発表会を楢葉町で開催する。
	全国消防長会　須貝俊司事務総長が来訪し、職員激励並びに管内視察を実施する。
平成28年　１月	平成28年出初式を楢葉分署で開催する。
	避難指示区域内での多数傷病者発生事故に備え、平成27年度多数傷病者対応訓練を、富岡町文化交流センター学びの森で実施する。
３月	双葉消防本部東日本大震災５周年追想式を実施し、震災から５年の活動を収録した「消防活動記録誌=双葉消防の戦い=」を発刊する。
	医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第14回目内部被ばく検査が完了する。
	消防本部消防長事務取扱　松本幸英楢葉町長退任する。
４月	第20代消防長に大和田仁就任する。
	30・31人目の救急救命士が誕生する。
	福島県消防学校　丹野裕一学校長を講師に招き、消防職員スキルアップ研修会を広野町サッカー支援センターで開催する。
	福島県から配備されている原子力防災活動車両（資機材搬送車）の更新に伴い配備式を実施する。（三菱 デリカD：５）
５月	常磐自動車道で大規模な多数傷病者事故が発生し、44名が死傷する。
６月	ふたば救急総合医療支援センター医師等同乗の運用に関する協定書締結式が福島県立医科大学附属病院において行われ、双葉消防本部に医師等が待機し、管内での救急事案発生時に救急車に同乗する協定が締結する。
	福島県広域消防相互応援協定に基づく避難指示区域内における大規模火災対応訓練を、福島県防災航空センター及び県内12消防本部、緊急消防援助隊（宮城県、山形県、栃木県、新潟県）の協力のもと、浪江町で実施する。総務省消防庁及び福島県危機管理部、相双地方振興局、オフサイトセンターが参観する。
	医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第15回目内部被ばく検査を実施する。
８月	総務省消防庁　青木信之長官が来訪し、職員激励並びに管内視察を実施する。
９月	富岡消防署臨時拠点を常駐体制に移行する。
	平成28年度緊急消防援助隊福島県大隊合同訓練に参加する。（会津若松市）
	平成28年度福島県総合防災訓練に参加する。（会津若松市）

平成28年　10月	平成28年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練に、福島県大隊の消火小隊及び後方支援隊として参加する。（秋田県能代市） 双葉消防本部支援調整会議が双葉消防本部会議室にて開催される。 医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第16回目内部被ばく検査を実施する。
11月	避難指示区域内での多数傷病者発生事故に備え、平成28年度多数傷病者対応訓練を、浪江町地域スポーツセンター等で実施する。 第15回双葉地方広域消防職員意見発表会を葛尾村で開催する。 川内出張所連絡車及び葛尾出張所連絡車更新に伴い、配備式を実施する。 （スズキ ハスラー）
平成29年　１月	浪江消防署広報車更新に伴い、配備式を実施する。（日産 エクストレイル） 平成29年出初式を楢葉分署で開催する。
２月	医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第17回目内部被ばく検査を実施する。
３月	福島県から配備されている原子力防災活動車両（要員搬送車）の更新に伴い、配備式を実施する。（日産 シビリアン） 富岡消防署長　中嶋忠退職する。
４月	双葉地方広域市町村圏組合管理者に松本幸英楢葉町長就任する。 消防本部次長兼総務課長に渡邉敏行就任する。 富岡消防署長に猪狩義行就任する。 32・33人目の救急救命士が誕生する。 県消防防災航空隊に当職員を派遣する。 浪江町（帰還困難区域）において発生した林野火災により、消防防災ヘリ及び福島県広域消防相互応援協定に基づき県内11消防本部の応援を受けるとともに自衛隊災害派遣を要請する。（焼失面積約75ha）
５月	浪江消防署及び富岡消防署庁舎建設工事安全祈願祭を実施する。
６月	第７回双葉消防本部支援調整会議が双葉地方会館会議室にて開催される。 全国消防長会　高橋淳会長が来訪し、職員激励並びに管内視察を実施する。 医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第18回目内部被ばく検査を実施する。
７月	「平成29年度予防業務に関する講習会」を広野町公民館で実施する。
８月	浪江消防署葛尾出張所庁舎建設工事安全祈願祭を実施する。 平成29年度緊急消防援助隊福島県大隊合同訓練に参加する。（福島市） 平成29年度福島県総合防災訓練に参加する。（福島市）
９月	野田聖子 総務大臣が浪江消防署臨時庁舎を来訪し、職員激励を実施する。 災害対応資器材として無人航空機（ドローン）を配備する。 「双葉消防本部林野火災活動要綱」が策定され、各町村消防団長及び関係者説明会を実施する。
10月	平成29年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練に、福島県大隊の消火小隊及び後方支援隊として参加する。（山形県米沢市）

平成29年	10月	大庭誠司 元総務省消防庁次長を招聘し「双葉消防本部警防実務研修会」を実施する。 平成29年度福島県相双地方(新地町)総合防災訓練に参加する。 避難指示区域内での多数傷病者発生事故に備え、平成29年度多数傷病者対応訓練を、富岡町総合スポーツセンターで実施する。
	11月	医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第19回目内部被ばく検査を実施する。 福島県広域消防相互応援協定に基づく避難指示区域内における大規模火災対応訓練を、福島県防災航空センター及び県内11消防本部、緊急消防援助隊(宮城県、山形県、栃木県、新潟県)の協力のもと、楢葉町で実施する。総務省消防庁及び相双地方振興局が参観する。 総務省消防庁　稲山博司長官が来訪し、職員激励並びに管内視察を実施する。 第16回双葉地方広域消防職員意見発表会を浪江町で開催する。
	12月	大熊町帰還困難区域において遠距離大容量送水システムを使用した「密集地大規模火災対応訓練」を実施する。
平成30年	1月	平成30年出初式を楢葉分署で開催する。 総務省消防庁　緒方俊則次長が来訪し、職員激励並びに管内視察を実施する。 楢葉分署の広報車を更新する。(トヨタサクシード)
	2月	医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第20回目内部被ばく検査を実施する。
	3月	富岡消防署長　猪狩義行退職する。
	4月	富岡消防署長に金澤文男就任する。 消防本部消防課長に林浩就任する。 浪江消防署葛尾出張所新庁舎にて消防業務を開始する。 34・35人目の救急救命士が誕生する。
	5月	福島県広域消防相互応援協定に基づく避難指示区域内における大規模火災対応訓練を、福島県防災航空センター及び県内11消防本部、緊急消防援助隊(宮城県、山形県、栃木県、新潟県)の参加のもと、川内村で実施する。総務省消防庁が参観する。 「応急仮設住宅ふれあい巡回訪問並びに帰還者世帯訪問事業」の取組が評価され、「第2回予防業務優良事例表彰 消防庁長官賞」を受賞する。
	6月	医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第21回目内部被ばく検査を実施する。
	7月	富岡消防署新庁舎にて消防業務を開始する。
	8月	第8回双葉消防本部支援調整会議が富岡消防署会議室にて開催される。 浪江消防署新庁舎にて消防業務を開始する。 富岡消防署において、福島県ふたば医療センター附属病院医師等の救急現場出動に関する協定書締結式がおこなわれ、管内において医療行為の必要な災害現場や多数傷病者が発生した場合、福島県ふたば医療センター附属病院より医師等が当消防本部車両に同乗し、救急現場にて活動を行う協定が締結する。
	9月	平成30年度緊急消防援助隊福島県大隊合同訓練に参加する。(田村市) 平成30年度福島県総合防災訓練に参加する。(田村市)

平成30年　９月	双葉消防本部仮庁舎において、災害時における大型重機等の支援要請に関する協定書締結式がおこなわれ、管内において自然災害や大規模事故等が発生した場合に、大型重機等による消防活動を実施する協定が締結する。 第20回福島県消防職員サッカー親善大会を当消防本部にて開催する。 総務省消防庁　黒田武一郎長官が来訪し、職員激励並びに管内視察を実施する。 原子力災害避難指示区域消防活動費交付金により避難指示区域林野火災等資器材を整備する。
10月	双葉消防本部仮庁舎において、地域防災パトロール隊出動式を実施する。 「平成30年度予防業務に関する講習会」を富岡消防署で実施する。 避難指示区域内での多数傷病者発生事故を想定し、平成30年度多数傷病者対応訓練を、富岡町総合スポーツセンター及び福島県ふたば医療センター附属病院で実施する。
11月	医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第22回目内部被ばく検査を実施する。 第17回双葉地方広域消防職員意見発表会を富岡町で開催する。 総務省消防庁　横田真二次長が来訪し、職員激励並びに管内視察を実施する。 平成30年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練がいわき市及び双葉郡で行われ、消防本部において本部運営訓練、楢葉町内において座屈建物救助救出訓練を実施する。 平成30年度福島県消防長会消防署長研修会が当消防本部にて開催される。
12月	「職場における心の健康づくり講座」を富岡消防署で実施する。 消防防災施設災害復旧費補助金により浪江消防署訓練塔（主塔）を改修する。
平成31年　１月	平成31年出初式を富岡消防署で開催する。 無人航空機（ドローン）の配備式を実施する。（DJI　Matrice210） 平成30年度福島県原子力防災訓練を富岡町で実施する。
２月	浪江消防署大型水槽車更新に伴い、配備式を実施する。（日野　プロフィア） 福島県から配備されている原子力防災活動車両（資機材搬送車）の更新に伴い配備式を実施する。（日産 キャラバン） 医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第23回目内部被ばく検査を実施する。
３月	楢葉町木戸ダム周辺で、双葉郡内消防団と連携した大規模火災対応訓練を実施する。 川内出張所の高規格救急車更新に伴い、配備式を実施する。（トヨタ　ハイエース） 消防本部次長兼総務課長　渡邉敏行退職する。
４月	双葉地方広域市町村圏組合管理者に伊澤史朗双葉町長就任する。 浪江消防署長に林浩就任する。 消防本部総務課長に加勢信二就任する。 消防本部消防課長に遠藤朗生就任する。 36・37人目の救急救命士が誕生する。

令和元年　５月	福島県広域消防相互応援協定に基づく避難指示区域内における大規模火災対応訓練を、福島県消防防災航空隊、宮城県防災航空隊、栃木県消防防災航空隊及び県内11消防本部、緊急消防援助隊(宮城県、山形県、栃木県、新潟県)の参加のもと、富岡町で実施する。総務省消防庁が参観する。
６月	医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第24回目内部被ばく検査を実施する。
７月	第９回双葉消防本部支援調整会議が富岡消防署会議室にて開催される。
９月	広野町役場において、災害時における消防活動支援に関する協定書締結式がおこなわれ、広野町内等において火災、風水害、地震等の災害が発生した場合又は発生するおそれがある場合に、株式会社JERA広野火力発電所が人員及び消防車両等を提供し、消防活動を実施する協定を締結する。
10月	避難指示区域内での多数傷病者発生事故を想定し、令和元年度多数傷病者対応訓練を、JR広野駅周辺び福島県ふたば医療センター附属病院で実施する。 台風19号に伴い管内全域において発生した自然災害への対応及び、川内村にて発生した行方不明者の捜索を実施する。
11月	第18回双葉地方広域消防職員意見発表会を広野町で開催する。 医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第25回目内部被ばく検査を実施する。 全国消防長会　吉田敏治事務総長が来訪し、職員激励並びに管内視察を実施する。
12月	「令和元年度予防業務に関する講習会」を富岡消防署で実施する。
令和２年　１月	令和２年出初式を富岡消防署で開催する。 総務省消防庁　林﨑理長官が来訪し、職員激励並びに管内視察を実施する。
２月	医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第26回目内部被ばく検査を実施する。 甲種防火管理者講習を富岡消防署で実施する。
３月	車両動態管理システム(AVM)を導入、運用開始する。 原子力災害避難指示区域消防活動費交付金交付事業により、富岡消防署へ遠距離大量送水システム車(ハイドロサブ)を配備する。 新型コロナウイルスに対する双葉地方広域市町村圏組合消防本部業務継続計画を策定する。 消防本部消防長　大和田仁退職する。
４月	第21代消防本部消防長に加勢信二就任する。 消防本部総務課長に金澤文男就任する。 富岡消防署長に遠藤朗生就任する。 消防本部消防課長に松本孝一就任する。 福島県消防学校に教官として職員を派遣する。 38・39人目の救急救命士が誕生する。 新型コロナウイルス感染症拡大により、全国に緊急事態宣言が発令される。
５月	全国に発令されていた緊急事態宣言が解除される。

令和２年　６月	医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第27回目内部被ばく検査を実施する。 福島県及び福島県内保健所と、新型コロナウイルス感染症における患者移送の協力に関する協定を締結する。
９月	医療法人誠励会 ひらた中央病院と、新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する連携協定を締結する。
10月	第10回双葉消防本部支援調整会議が富岡消防署で開催される。 広野町二ツ沼地内にて、福島県広域消防相互応援協定に基づく避難指示区域内における大規模火災対応訓練を、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し規模縮小にて実施する。 県内11消防本部他13機関が参加、総務省消防庁が参観する。 避難指示区域内での多数傷病者発生事故を想定し、令和２年度多数傷病者対応訓練を、富岡町総合スポーツセンター及び福島県ふたば医療センター附属病院で実施する。 医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第28回目内部被ばく検査を実施する。
11月	第19回双葉地方広域消防職員意見発表会を、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、実施方法を変更して富岡消防署で開催する。（動画審査） 令和２年度福島県相双防災訓練に参加する。（楢葉町） 令和２年度福島県総合防災訓練に参加する。（南相馬市） 令和２年度福島県原子力防災訓練に参加する。 「職場における心の健康づくり講座」を富岡消防署で実施する。
令和３年　１月	令和３年双葉消防本部出初式については新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し中止とする。 新型コロナウイルス感染症再拡大により、区域を指定した緊急事態宣言が発令される。
２月	13日（23時08分頃）福島県沖地震が発生する。 （震度６弱：広野町、楢葉町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町） （震度５強：富岡町、葛尾村） 地震により浪江消防署、富岡消防署、楢葉分署、川内出張所の庁舎が被害を受ける。 医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第29回目内部被ばく検査を実施する。
３月	原子力災害避難指示区域消防活動費交付金交付事業により、浪江消防署へ資機材搬送車（水中ポンプ搭載車）、楢葉分署へ資機材搬送車（日野 デュトロ）を配備する。 福島県から配備されている原子力防災活動車両（資機材搬送車）の更新に伴い配備式を実施する（トヨタ ハイエース）。 東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーが、楢葉町Jヴィレッジよりグランドスタートする。 区域を指定し発令されていた緊急事態宣言が解除される。
４月	双葉地方広域市町村圏組合管理者に宮本皓一富岡町長就任する。 40・41人目の救急救命士が誕生する。 職員の新型コロナウイルスワクチン接種（１回目）が開始される。 新型コロナウイルス感染症再拡大により、区域を指定した緊急事態宣言が発令される。

5月	総務省消防庁の第５回予防業務優良事例表彰として、優秀賞を受賞する。 職員の新型コロナウイルスワクチン接種（２回目）が開始される。
6月	総務省消防庁　横田真二長官より双葉消防本部に対する激励メッセージを受け、職員へ伝達式を実施する。 医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第30回目内部被ばく検査を実施する。
7月	総務省消防庁の女性消防吏員活躍推進アドバイザー制度を活用し、富岡消防署においてアドバイザーによる講演を実施する。 東京2020オリンピック大会福島市開催に伴う消防警戒体制確保のため、部隊を派遣する。
8月	福島県内に新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が発令される。 双葉地方広域市町村圏組合管理者に遠藤智広野町長就任する。
9月	福島県内に発令されていた、まん延防止等重点措置が解除される。 区域を指定し発令されていた緊急事態宣言が解除される。
10月	総務省消防庁　内藤尚志長官が来訪し、職員激励並びに管内視察を実施する。 福島県広域消防相互応援協定に基づく避難指示区域内における大規模火災対応訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し中止となる。 避難指示区域内での多数傷病者発生事故を想定し、令和３年度多数傷病者対応訓練を、富岡町総合スポーツセンター及び福島県ふたば医療センター附属病院で実施する。
11月	第11回双葉消防本部支援調整会議が富岡消防署で開催される。 第20回双葉地方広域消防職員意見発表会を、昨年に続き、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、実施方法を変更して富岡消防署で開催する。（動画審査） 医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第31回目内部被ばく検査を実施する。
12月	職員の新型コロナウイルスワクチン接種（３回目）が開始される。
令和４年　１月	令和４年出初式を富岡消防署楢葉分署で開催する。 福島県内に新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が発令される。
２月	医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第32回目内部被ばく検査を実施する。 富岡消防署訓練場の舗装工事が完了する。 楢葉分署の地震による庁舎修繕工事が完了する。
３月	楢葉分署の高規格救急車更新に伴い配備式を実施する。（トヨタ ハイエース） 福島県内に発令されていた、まん延防止等重点措置が解除される。 福島県内に新型コロナウイルス感染拡大防止重点対策が発令される。 富岡消防署の地震による庁舎修繕工事が完了する。 16日（23時36分）福島県沖地震が発生する。 （震度６弱：楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町） （震度５強：広野町、川内村、葛尾村） 地震により浪江消防署、富岡消防署、楢葉分署の庁舎が被害を受ける。
４月	42・43人目の救急救命士が誕生する。 浪江消防署訓練場の舗装工事が完了する。

令和４年　５月	福島県内に発令されていた感染拡大防止重点対策が解除される。
６月	医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第33回目内部被ばく検査を実施する。
7月	福島県内の新型コロナウイルス感染拡大により、感染拡大警報及び医療非常事態宣言が発令される。
8月	職員の新型コロナウイルスワクチン接種（４回目）が開始される。 福島県感染拡大警報強化版が発令される。
９月	福島県内に発令されていた感染拡大警報が解除される。 双葉地方防火３団体により、防火防災の広報活動に活用するため双葉消防本部公認キャラクター「ふたばちゃん」の着ぐるみが製作され、運用開始する。
10月	全国消防長会　清水洋文会長が来訪し、職員激励並びに管内視察を実施する。 令和４年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練に、福島県大隊の消火小隊及び後方支援隊として参加する。（青森県青森市） 双葉町中野地内及び中浜地内にて、福島県広域消防相互応援協定に基づく避難指示区域内における大規模火災対応訓練を実施する。県内11消防本部他14機関が参加、総務省消防庁が参観する。
11月	医療法人誠励会 ひらた中央病院において、WBCによる全職員の第34回目内部被ばく検査を実施する。 第21回双葉地方広域消防職員意見発表会を、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、実施方法を変更して富岡消防署で開催する。（動画審査） 第12回双葉消防本部支援調整会議が富岡消防署で開催される。 令和４年度福島県総合防災並びに福島県石油コンビナート総合防災訓練に参加する。（いわき市） 浪江消防署の地震による庁舎修繕工事が完了する。
12月	避難指示区域内での多数傷病者発生事故を想定し、令和４年度多数傷病者対応訓練を、富岡町総合スポーツセンター及び福島県ふたば医療センター附属病院で実施する。 楢葉分署の地震による庁舎修繕工事が完了する。 職員の新型コロナウイルスワクチン接種（５回目）が開始される。

歴代消防長・消防署長

1．消防長

歴　代	氏　　名	在職期間
初 代 （大熊町長）	志　賀　秀　正　（事務取扱）	S47.10.1 ～ S50.4.30
2 代 （楢葉町長）	猪　狩　秀　玄　（事務取扱）	S50.5.1 ～ S52.4.30
3 代 （双葉町長）	田　中　清 太 郎　（事務取扱）	S52.5.1 ～ S53.3.31
4 代	村　岡　俊　夫	S53.4.1 ～ S58.3.31
5 代 （広野町長）	松　本　一　郎　（事務取扱）	S58.4.1 ～ S61.3.31
6 代 （大熊町長）	遠　藤　　正　（事務取扱）	S61.4.1 ～ S62.3.31
7 代 （楢葉町長）	結　城　定　重　（事務取扱）	S62.4.1 ～ H1.3.31
8 代 （富岡町長）	関　本　英　勇　（事務取扱）	H1.4.1 ～ H1.6.30
9 代 （双葉町長）	岩　本　忠　夫　（事務取扱）	H1.7.1 ～ H3.3.31
10 代 （大熊町長）	志　賀　秀　朗　（事務取扱）	H3.4.1 ～ H5.3.31
11 代	中　野　　明	H5.4.1 ～ H11.3.31
12 代	秋　本　正　夫	H11.4.1 ～ H12.3.31
13 代	遠　藤　輝　男	H12.4.1 ～ H16.3.31
14 代	秋　元　　正	H16.4.1 ～ H23.3.31
15 代	柴　　繁	H23.4.1 ～ H23.6.30
16 代	吉　田　繁　雄	H23.7.1 ～ H24.3.31
17 代	西　村　栄　一	H24.4.1 ～ H26.3.31
18 代 （浪江町長）	馬　場　　有　（事務取扱）	H26.4.1 ～ H27.3.31
19 代 （楢葉町長）	松　本　幸　英　（事務取扱）	H27.4.1 ～ H28.3.31
20 代	大 和 田　　仁	H28.4.1 ～ R2.3.31
21 代	加　勢　信　二	R2.4.1 ～

2. 消防署長

浪江消防署長

歴　代	氏　　名	在職期間	備　考
初代	伴　場　和　雄	S47.10.1 ～ S58.10.31	富岡消防署長兼務 S51.10.1～S53.3.31 消防本部次長兼務 S58.4.1～S58.10.31
2代	猪　狩　一　夫	S58.11.1 ～ S60.3.31	消防本部次長兼務
3代	中　野　　明	S60.6.1 ～ S62.3.31	消防本部次長兼務
4代	清　野　清　人	S62.4.1 ～ H4.3.31	
5代	池　沢　昭　吉	H4.4.1 ～ H6.3.31	
6代	秋　本　正　夫	H6.4.1 ～ H10.3.31	消防本部次長兼務
7代	遠　藤　恒　男	H10.4.1 ～ H11.3.31	
8代	秋　元　　正	H11.4.1 ～ H12.3.31	
9代	志　賀　節　夫	H12.4.1 ～ H14.3.31	
10代	吉　川　　定	H14.4.1 ～ H16.3.31	
11代	大和田　幹　夫	H16.4.1 ～ H18.3.31	
12代	山　田　恭　二	H18.4.1 ～ H20.3.31	消防本部次長兼務
13代	柴　　繁	H20.4.1 ～ H23.3.31	消防本部次長兼務
14代	吉　田　繁　雄	H23.4.1 ～ H23.6.30	消防本部次長兼務
15代	岡　田　雄　一	H23.7.1 ～ H26.3.31	
16代	末　永　孝　二	H26.4.1 ～ H27.3.31	
17代	加　勢　信　二	H27.4.1 ～ H31.3.31	
18代	林　　浩	H31.4.1 ～	

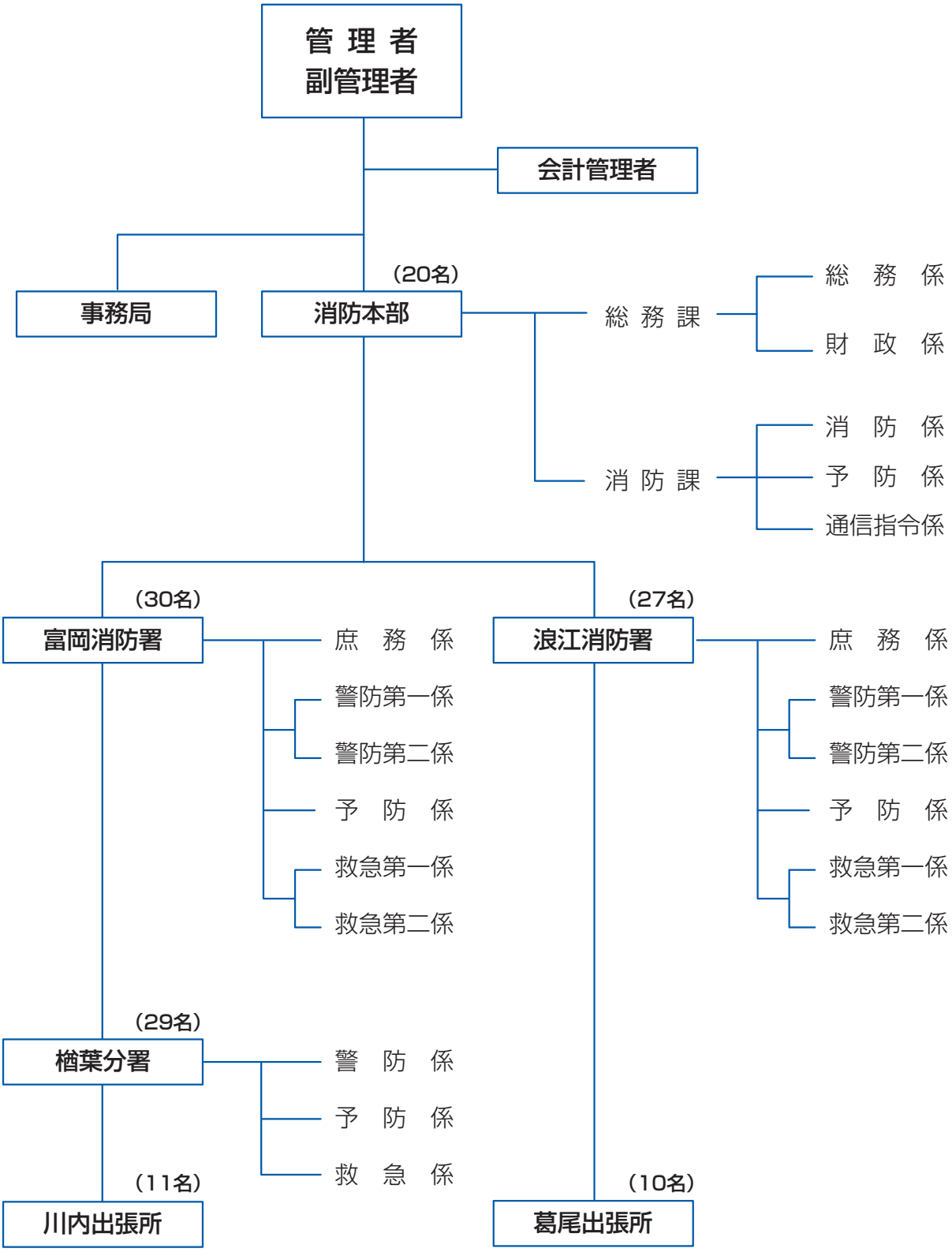
富岡消防署長

歴　代	氏　　名	在職期間	備　考
初代	太　田　芳一郎	S47.10.1 ～ S51.9.30	
2代	伴　場　和　雄	S51.10.1 ～ S52.3.31	浪江消防署長兼務
3代	猪　狩　一　夫	S52.4.1 ～ S58.10.31	
4代	中　野　　明	S58.11.1 ～ S60.5.31	
5代	秋　本　正　夫	S60.4.1 ～ H3.3.31	
6代	池　沢　昭　吉	H3.4.1 ～ H4.3.31	
7代	清　野　清　人	H4.4.1 ～ H8.3.31	
8代	遠　藤　輝　男	H8.4.1 ～ H12.3.31	
9代	秋　元　　正	H12.4.1 ～ H13.3.31	
10代	山　田　恭　二	H13.4.1 ～ H18.3.31	
11代	増　田　正　成	H18.4.1 ～ H21.3.31	
12代	吉　田　繁　雄	H21.4.1 ～ H23.3.31	
13代	西　村　栄　一	H23.4.1 ～ H24.3.31	
14代	安　倍　一　夫	H24.4.1 ～ H25.3.31	
15代	遠　藤　　充	H25.4.1 ～ H26.3.31	
16代	中　嶋　　忠	H26.4.1 ～ H29.3.31	
17代	猪　狩　義　行	H29.4.1 ～ H30.3.31	
18代	金　澤　文　男	H30.4.1 ～ R2.3.31	
19代	遠　藤　朗　生	R2.4.1 ～	

総　　務

第21回双葉地方広域消防職員意見発表会　令和４年11月９日実施

双葉地方広域市町村圏組合消防本部組織図



消防本部・消防署・分署及び出張所の事務分掌

消防本部

総務課

総務係

1．組織及び総合企画に関すること。
2．消防の行事及び会議に関すること。
3．職員の任免、給与、分限、懲戒、服務その他勤務条件及び人事に関すること。
4．職員の福利厚生及び公務災害に関すること。
5．褒章及び表彰に関すること。
6．広報の編集発行に関すること。
7．消防関係条例、規則及び規程等の制定、改廃の立案に関すること。
8．文書の収発、編さん及び保管整理に関すること。
9．職員の教養、及び勤務評定に関すること。
10．公印の管理に関すること。
11．本部各課及び消防署の連絡調整に関すること。
12．諸証明に関すること。
13．他課の所掌に属しない事務に関すること。

財政係

1．歳出歳入予算の編成及び執行に関すること。
2．物品購入、検収、修繕及び処分に関すること。
3．公有財産の維持管理に関すること。
4．工事に伴う入札及び契約に関すること。
5．燃料の購入に関すること。
6．電話の管理に関すること。
7．その他財政に関すること。

消防課

消防係

1．火災、その他の災害の警戒及び防ぎょに関すること。
2．市町村消防計画及び総合防災訓練に関すること。
3．消防の地理及び水利に関すること。
4．消防相互応援協定に関すること。
5．消防部隊運用計画の策定に関すること。
6．警防技術の研究、指導及び訓練に関すること。
7．救助に関すること。
8．消防車両及び救急車両等の整備計画に関すること。
9．各種消防装備資機材等の整備に関すること。
10．救急に関すること。
11．防災関係機関及び救急医療機関との連絡調整に関すること。
12．消防協会双葉支部に関すること。
13．原子力所在市町村情報連絡協議会に関すること。
14．課内庶務及び課内他係の所掌に属しない事務に関すること。

予防係

1．火災予防に関すること。
2．立入検査に関すること。
3．防火管理者資格附与講習に関すること。
4．危険物の仮貯蔵または、仮取扱の承認に関すること。
5．危険物の設置、変更等の許認可及び検査に関すること。
6．危険物製造所等における各種届出に関すること。
7．違反処理に関すること。
8．火災の原因等の調査及び報告に関すること。
9．予防広報及び統計に関すること。
10．石油コンビナート等災害防止法に関すること。
11．自衛消防組織、婦人防火クラブ及び幼年少年消防クラブの育成指導に関すること。
12．防災表示者認定申請に関すること。
13．防火協力団体の指導に関すること。
14．その他予防に関すること。

通信指令係

1．災害等の受信及び出動指令並びに職員の非常召集に関すること。
2．災害等に関する情報の収集、伝達及び消防統計に関すること。
3．防災関係機関及び救急医療機関との連絡調整に関すること。
4．消防無線通信の運用及び統制に関すること。
5．通信機器の取扱指導及び無線従事者の技能管理、資格に関すること。
6．消防通信施設等の維持管理及び整備計画に関すること。

消防署

分署・出張所

庶務係

1．公印の管理に関すること。
2．文書の収発及び保管整理に関すること。
3．署の行事及び会議に関すること。
4．物品の出納及び保管に関すること。
5．諸証明の交付に関すること。
6．職員の服務、教養及び訓練に関すること。
7．職員の福利厚生に関すること。
8．広報及び統計に関すること。
9．庶務会計に関すること。
10．その他各係及び分署・出張所の所掌に属しない事務に関すること。

予防係

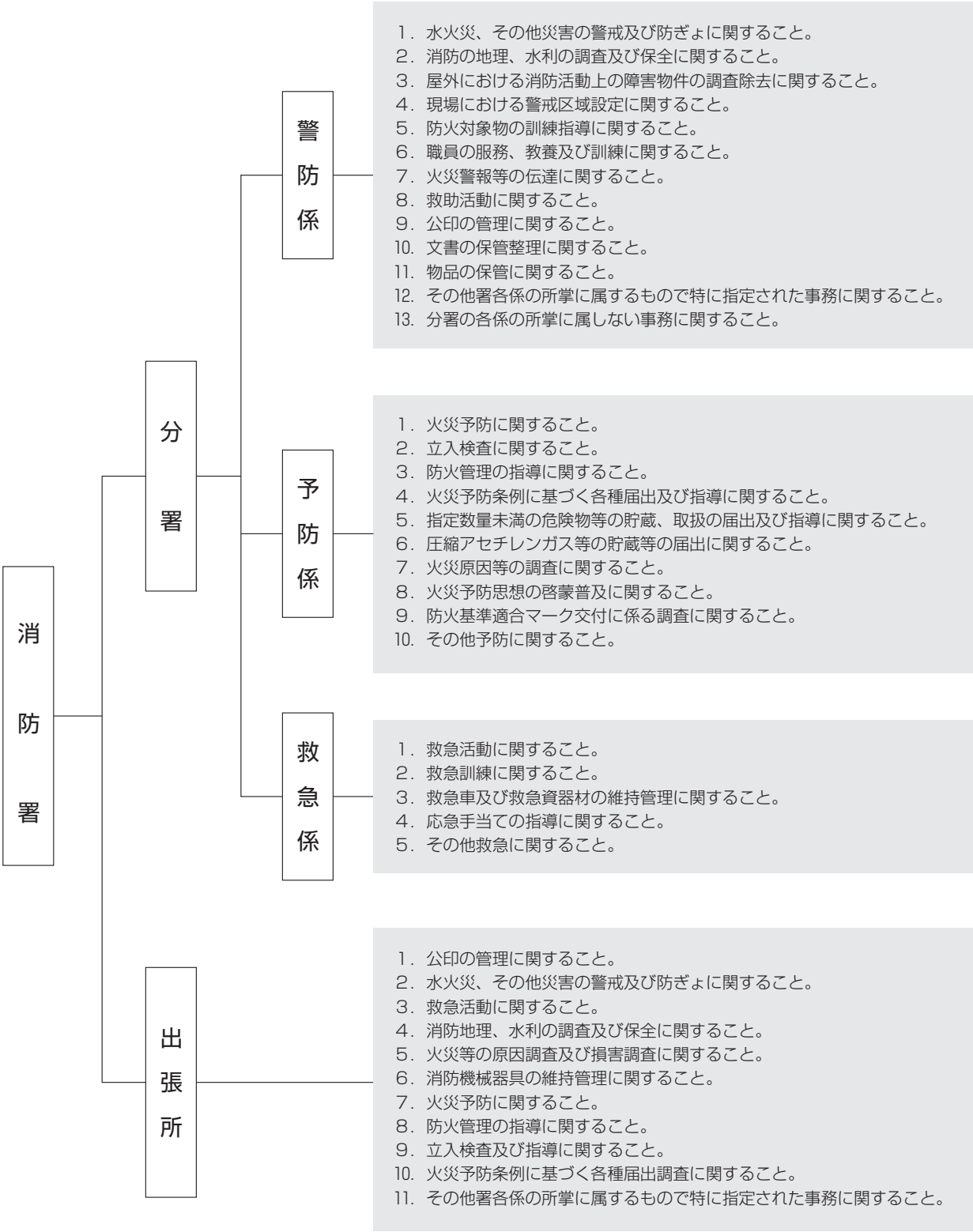
1．火災予防に関すること。
2．立入検査に関すること。
3．建築許可等の同意に関すること。
4．防火管理の指導に関すること。
5．火災予防条例に基づく設備等の設置の届出及び指導に関すること。
6．指定数量未満の危険物等の貯蔵又は、取扱の届出及び指導に関すること。
7．危険物の仮貯蔵又は、仮取扱いの承認に関すること。
8．圧縮アセチレンガス等の貯蔵等の届出に関すること。
9．違反処理に関すること。
10．防火対象物の消防用設備等の設置の届出及び指導検査に関すること。
11．火災の原因等の調査及び報告に関すること。
12．液化石油ガス施設の意見書の交付に関すること。
13．火災予防思想の普及宣伝に関すること。
14．自衛消防組織等の育成指導に関すること。
15．旅館等の防火安全対策の意見書の交付に関すること。
16．防火基準適合マーク交付に係る調査指導に関すること。
17．その他予防に関すること。

警防第一・第二係

1．警防計画の策定に関すること。
2．水火災、その他災害の警戒対策及び防ぎょに関すること。
3．消防の地理、水利の調査及び保全に関すること。
4．屋外における消防活動上の障害物件の調査除去に関すること。
5．現場における警戒区域の設定に関すること。
6．防火対象物の防火訓練指導に関すること。
7．署員の規律及び操法訓練等に関すること。
8．消防用車両及び消防用機械器具の維持管理に関すること。
9．消防相互応援の実施に関すること。
10．消防無線、有線の運用及び管理に関すること。
11．消防団との連絡調整に関すること。
12．火災警報等の通報伝達に関すること。
13．救助活動に関すること。
14．開発行為に係る消防施設の指導に関すること。
15．その他警防に関すること。

救急第一・第二係

1．救急訓練に関すること。
2．救急活動に関すること。
3．救急医療機関との連絡に関すること。
4．救急統計及び報告に関すること。
5．救急車及び救急資器材の維持管理に関すること。
6．応急手当ての指導普及に関すること。
7．その他救急に関すること。


消防署
分署
警防係
1．水火災、その他災害の警戒及び防ぎょに関すること。
2．消防の地理、水利の調査及び保全に関すること。
3．屋外における消防活動上の障害物件の調査除去に関すること。
4．現場における警戒区域設定に関すること。
5．防火対象物の訓練指導に関すること。
6．職員の服務、教養及び訓練に関すること。
7．火災警報等の伝達に関すること。
8．救助活動に関すること。
9．公印の管理に関すること。
10．文書の保管整理に関すること。
11．物品の保管に関すること。
12．その他署各係の所掌に属するもので特に指定された事務に関すること。
13．分署の各係の所掌に属しない事務に関すること。
予防係
1．火災予防に関すること。
2．立入検査に関すること。
3．防火管理の指導に関すること。
4．火災予防条例に基づく各種届出及び指導に関すること。
5．指定数量未満の危険物等の貯蔵、取扱の届出及び指導に関すること。
6．圧縮アセチレンガス等の貯蔵等の届出に関すること。
7．火災原因等の調査に関すること。
8．火災予防思想の啓蒙普及に関すること。
9．防火基準適合マーク交付に係る調査に関すること。
10．その他予防に関すること。
救急係
1．救急活動に関すること。
2．救急訓練に関すること。
3．救急車及び救急資器材の維持管理に関すること。
4．応急手当ての指導に関すること。
5．その他救急に関すること。
出張所
1．公印の管理に関すること。
2．水火災、その他災害の警戒及び防ぎょに関すること。
3．救急活動に関すること。
4．消防地理、水利の調査及び保全に関すること。
5．火災等の原因調査及び損害調査に関すること。
6．消防機械器具の維持管理に関すること。
7．火災予防に関すること。
8．防火管理の指導に関すること。
9．立入検査及び指導に関すること。
10．火災予防条例に基づく各種届出調査に関すること。
11．その他署各係の所掌に属するもので特に指定された事務に関すること。

双葉地方広域市町村圏組合一般会計予算

歳　　入

（単位：千円）

款	令和４年度予算額	構成比％	令和３年度予算額	構成比％	比較
１，分担金及び負担金	2,180,775	72.48%	2,203,107	64.69%	△ 22,332
２，使用料及び手数料	113,078	3.76%	113,457	3.33%	△ 379
３，国庫支出金	317,538	10.55%	494,982	14.53%	△ 177,444
４，県支出金	121,634	4.04%	196,082	5.76%	△ 74,448
５，財産収入	1,116	0.04%	1,051	0.03%	65
６，寄付金	0	0.00%	0	0.00%	0
７，繰入金	146,693	4.88%	240,632	7.07%	△ 93,939
８，繰越金	75,600	2.51%	99,000	2.91%	△ 23,400
９，諸収入	52,298	1.74%	57,164	1.68%	△ 4,866
10，組合債	0	0.00%	0	0.00%	0
歳入合計	3,008,732	100.00%	3,405,475	100.00%	△ 396,743

歳　　出

（単位：千円）

款	令和４年度予算額	構成比％	令和３年度予算額	構成比％	比較
１，議会費	2,325	0.08%	2,286	0.07%	39
２，総務費	174,774	5.81%	199,455	5.86%	△ 24,681
３，民生費	43,903	1.46%	43,342	1.27%	561
４，衛生費	1,368,371	45.48%	1,687,544	49.55%	△ 319,173
５，消防費	1,318,106	43.81%	1,370,403	40.24%	△ 52,297
６，公債費	90,395	3.00%	90,395	2.65%	0
７，諸支出金	858	0.03%	2,050	0.06%	△ 1,192
８，予備費	10,000	0.33%	10,000	0.29%	0
歳出合計	3,008,732	100.00%	3,405,475	100.00%	△ 396,743

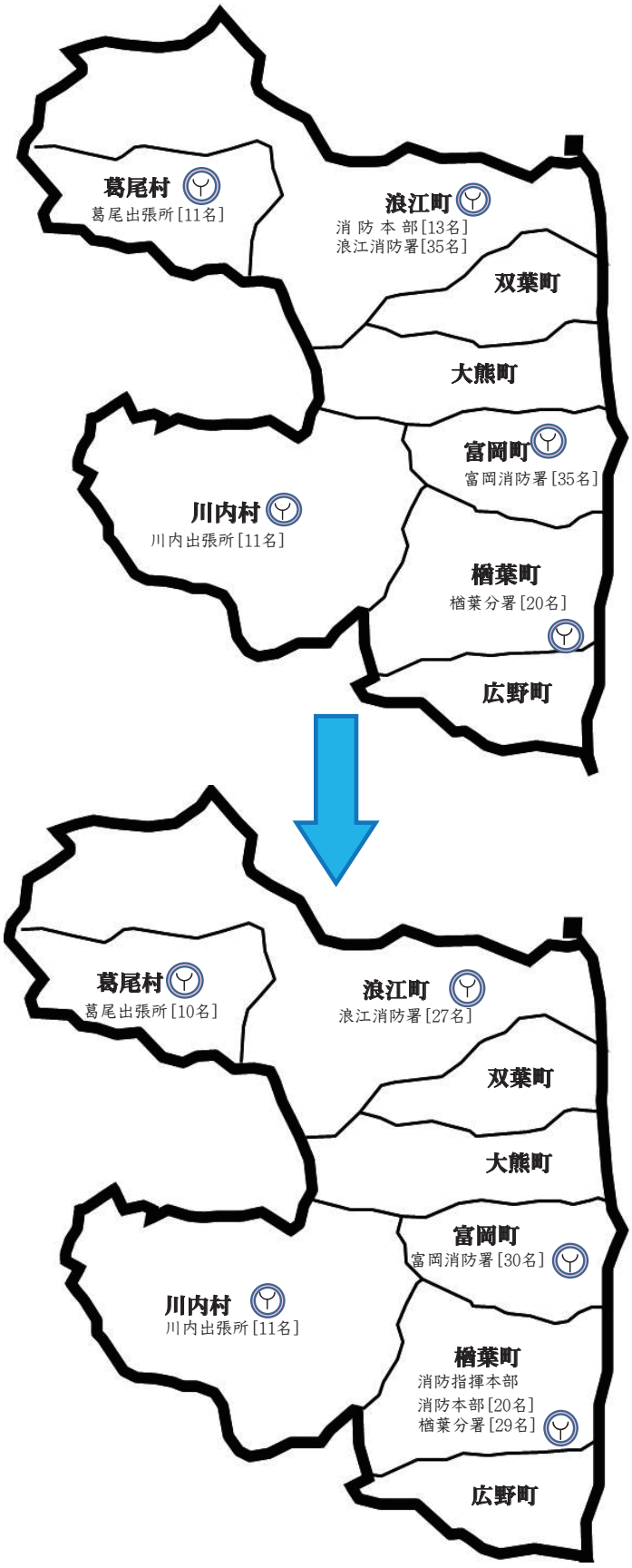
消防予算の推移

年度	双葉地方広域市町村圏組合一般会計予算額（千円）	消防予算額（千円）	一般会計予算額に対する消防予算額割合（％）	消防予算額に対する額			
				人口		世帯	
				人口（人）	１人あたり（円）	世帯数	１世帯あたり（円）
H30	2,849,380	1,344,479	47.18%	62,882	21,381	25,270	53,205
R1	2,986,517	1,467,694	49.14%	61,734	23,774	25,382	57,824
R2	3,342,990	1,368,873	40.95%	60,510	22,622	25,429	53,831
R3	3,405,475	1,370,403	40.24%	59,197	23,150	25,440	53,868
R4	3,008,732	1,318,106	43.81%	57,846	22,786	25,516	51,658

消防本部・消防署・分署及び出張所配置図

【東日本大震災前】

消防本部	
指揮車	1台
原子力防災車	2台
浪江消防署	
広報車	1台
ポンプ自動車	1台
水槽付きポンプ自動車	1台
資機材搬送車	1台
救急車	2台
原子力防災車	1台
葛尾出張所	
ポンプ自動車	1台
救急車	1台
連絡車	1台
富岡消防署	
広報車	1台
原子力防災車	1台
ポンプ自動車	1台
水槽付きポンプ自動車	1台
救助工作車	1台
大型高所放水車	1台
泡原液搬送車	1台
救急車	1台
マイクロバス	1台
楢葉分署	
広報車	1台
水槽付きポンプ自動車	1台
大型化学車	1台
救急車	2台
原子力防災車	1台
川内出張所	
ポンプ自動車	1台
救急車	1台
連絡車	1台



【東日本大震災後】

消防本部	
指揮車	1台
支援車[Ⅰ型]	1台
原子力防災車	3台
浪江消防署	
指揮車	1台
ポンプ自動車	1台
水槽付きポンプ自動車	1台
大型水槽車	1台
資機材搬送車	1台
救急車	2台
原子力防災車	1台
葛尾出張所	
ポンプ自動車	1台
救急車	1台
連絡車	1台
富岡消防署	
指揮車	1台
原子力防災車	1台
水槽付きポンプ自動車	1台
大型水槽車	1台
救助工作車	1台
大型高所放水車	1台
泡原液搬送車	1台
遠距離大量送水システム車	1台
救急車	1台
楢葉分署	
広報車	1台
ポンプ自動車	1台
水槽付きポンプ自動車	1台
大型化学車	1台
資機材搬送車	1台
救急車	2台
マイクロバス	1台
川内出張所	
ポンプ自動車	1台
救急車	1台
連絡車	1台

消防庁舎の現況

区分 名称	所　在　地	竣　工 年月日	敷地 面積 (㎡)	建物延べ 面　積 (㎡)	構　造	電　話	ＦＡＸ
双葉地方広域市町村圏組合消防本部(仮庁舎)	福島県双葉郡楢葉町大字山田岡字仲丸1-110	平成24年 ９月28日	11,397	671	軽量鉄骨軸組構造 ２階建	0240-25-8523	0240-25-8524
浪江消防署	福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字大添45	平成30年 ８月20日	4,267	1,551	鉄筋コンクリート造 ３階建	0240-34-4111	0240-34-4120
富岡消防署	福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚673-3	平成30年 ６月14日	7,327	1,568	鉄骨造 ３階建	0240-22-2119	0240-22-2244
楢葉分署	福島県双葉郡楢葉町大字山田岡字仲丸1-110	平成13年 12月18日	11,397	735	鉄骨造 ２階建	0240-25-2119	0240-25-2148
川内出張所	福島県双葉郡川内村大字上川内字早渡11-4	平成19年 ２月21日	1,776	321	鉄骨造 ２階建	0240-38-2119	0240-38-2440
葛尾出張所	福島県双葉郡葛尾村大字落合字落合254-2	平成30年 ３月20日	2,075	246	鉄筋コンクリート造	0240-29-2119	0240-29-2442

消防職員配置状況

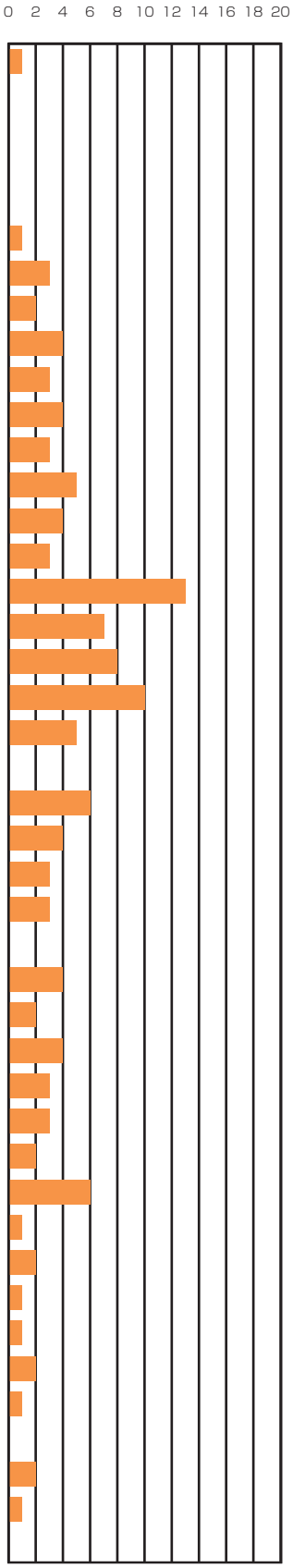
（令和４年12月31日現在）

区分		階級別／人員計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消防本部	消防長	1	1						
	総務課	6		1	1	4			
	消防課	13			5	4	4		
	計	20	1	1	6	8	4		
浪江消防署	署長	1		1					
	副署長	2			2				
	庶務係	4			1	1	2		
	予防係	5				2	2	1	
	警防係	8			1	3	1	2	1
	救急係	7			1	1	3	2	
	計	27		1	5	7	8	5	1
葛尾出張所	出張所長	1			1				
	副出張所長	2			1	1			
	庶務担当	2					2		
	予防担当	2					1	1	
	警防担当	2				1	1		
	救急担当	1				1			
	計	10			2	3	4	1	
富岡消防署	署長	1		1					
	副署長	2			2				
	庶務係	2				2			
	予防係	6			1		3	2	
	警防係	11			1	3	2		5
	救急係	8				6	2		
	計	30		1	4	11	7	2	5
楢葉分署	分署長	1			1				
	副分署長	2			1	1			
	予防係	6				1	3	2	
	警防係	12				2	5	3	2
	救急係	8				2	6		
	計	29			2	6	14	5	2
川内出張所	出張所長	1			1				
	副出張所長	1				1			
	庶務担当	2					2		
	予防担当	2					2		
	警防担当	3				1	2		
	救急担当	2				1	1		
	計	11			1	3	7		
合計		127	1	3	20	38	44	13	8

職員階級別年齢状況

（令和４年12月31日現在）

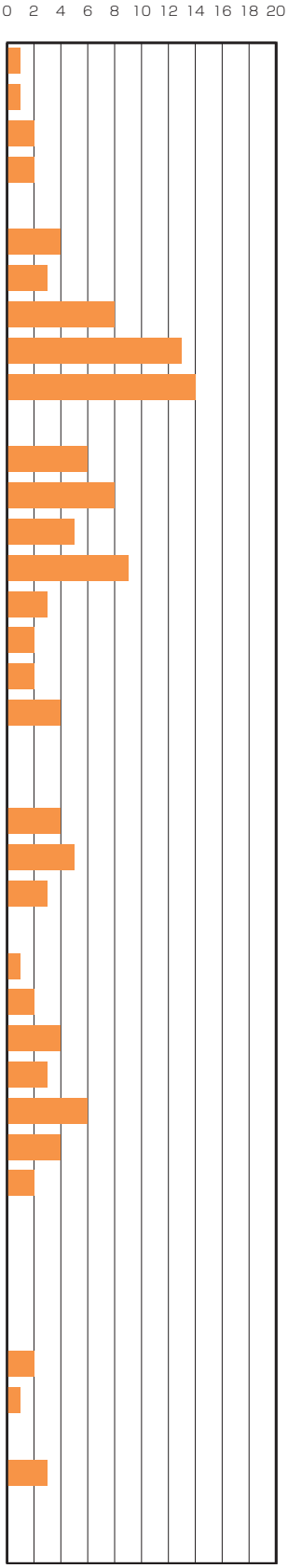
年齢	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	その他	総数
18歳							1		1
19歳									
20歳									
21歳									
22歳									
23歳							1		1
24歳							3		3
25歳							2		2
26歳						3	1		4
27歳						3			3
28歳						4			4
29歳						3			3
30歳					5				5
31歳					4				4
32歳					3				3
33歳					13				13
34歳					7				7
35歳				1	7				8
36歳				7	3				10
37歳				4	1				5
38歳									
39歳				5	1				6
40歳				4					4
41歳				3					3
42歳				3					3
43歳									
44歳				4					4
45歳				2					2
46歳			1	3					4
47歳			1	2					3
48歳			3						3
49歳			2						2
50歳			6						6
51歳			1						1
52歳			2						2
53歳			1						1
54歳			1						1
55歳		1	1						2
56歳		1							1
57歳									
58歳		1	1						2
59歳	1								1
60歳									
合計人数	1	3	20	38	44	13	8		127
平均年齢	59.0	56.3	50.5	40.4	33.3	27.5	23.6		37.7



職員階級別勤続年数

（令和４年12月31日現在）

年数（以上～未満）	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	その他	総数
１年未満							1		1
１～２							1		1
２～３							2		2
３～４							2		2
４～５									
５～６						2	2		4
６～７					2	1			3
７～８					4	4			8
８～９					9	4			13
９～10					12	2			14
10～11									
11～12				2	4				6
12～13				6	2				8
13～14				2	3				5
14～15				4	5				9
15～16				1	2				3
16～17				1	1				2
17～18				2					2
18～19				4					4
19～20									
20～21									
21～22				4					4
22～23				5					5
23～24				3					3
24～25									
25～26			1						1
26～27			1	1					2
27～28			2	2					4
28～29			2	1					3
29～30			6						6
30～31		1	3						4
31～32			2						2
32～33									
33～34									
34～35									
35～36									
36～37			2						2
37～38		1							1
38～39									
39～40	1	1	1						3
40～41									
41～42									
合計人数	1	3	20	38	44	13	8		127
平均年数	39.0	35.3	30.1	17.8	9.4	7.2	2.6		15.6



消防大学校・県消防学校入校及び講習等受講状況

（令和４年４月１日～令和５年３月31日）

機関名		研修科目	研修期間	人員
消防大学校		第112期　予防科	R4.８.24～R4.10.14	1
		第16期　新任教官科	R5.３.２～R5.３.14	1
福島県消防学校		第84期　初任教育	R4.４.12～R4.９.29	1
		第24期　救助科	R4.10.12～R4.12.23	2
		第21期　救急救命士養成補助教育科	R4.10.17～R4.10.21	2
		第１期　通信指令科	R4.10.26～R4.10.27	2
		第２期　初級幹部科	R4.12.12～R4.12.23	2
		第31期　火災調査科	R5.１.16～R5.１.27	2
		第29期　警防科	R5.２.６～R5.２.17	2
		第９期　予防査察科	R5.２.27～R5.３.10	2
一般財団法人救急振興財団	救急救命東京研修所	第62期救急救命士養成課程	R4.４.５～R4.10.３	2
日本ＡＣＬＳ協会	公益財団法人星総合病院ポラリス保健看護学院	BLSプロバイダーコース(G2020)	R5.１.28	2
	宮城県仙台市艮陵会館スキルズラボ	ACLSプロバイダーコース(G2020)	R5.２.11～R5.２.12	2
一般社団法人日本災害医学会	いわき市中央台公民館	MCLS標準コース	R4.10.30	2
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構	量子生命・医学部門人材育成センター	第32回放射線事故初動セミナー	R4.10.25～R4.10.28	2
各自動車教習所		大型自動車運転免許(助成対象者)	R4.４.１～R5.３.31	3
公益財団法人ボイラ・クレーン安全協会	いわき事務所	玉掛け技能講習	R4.９.５～R4.９.７	3
		小型移動式クレーン運転技能講習	R4.４.１～R5.３.31	3
		ガス溶接技能講習講習	R4.11.１～R4.11.２	2
		フルハーネス型墜落制止用器具使用業務特別教育	R4.９.28	2
一般社団法人福島県労働基準協会	いわき新舞子ハイツ	酸素欠乏・硫化水素危険物作業主任者技能講習	R4.９.28～R4.９.30	2
みとみ学園ライセンスアカデミー		二級小型船舶操縦免許	R4.４.１～R5.３.31	1
タイヘイドライバーズスクール	いわき市タイヘイドローンスクール	ドローン操縦運航管理コース	R4.８.１～R4.８.４	1
自動車安全運転センター	茨城県ひたちなか市安全運転中央研修所	消防・救急緊急自動車運転技能者課程	R4.７.25～R4.７.28	1
林材業労災防止協会福島県支部	いわき市　湯ノ岳山荘	伐木等の業務に係る特別教育	R4.12.21～R4.12.23	2

消防職員特殊技能その他資格取得者

（令和４年12月31日現在）

種別	階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合　計
自動車運転免許	けん引自動車				3	3			6
	大型特殊自動車			2	6	4			12
	大型自動車	1	3	16	37	44	11	1	113
	中型自動車（車輌総重量11t未満、定員29名以下）	1	3	16	37	45	11	1	114
	準中型自動車（車輌総重量7.5t未満、定員10名以下）	1	3	20	38	45	11	1	119
	普通自動車	1	3	20	38	45	12	8	127
	自動二輪		2	7	13	18	3		43
救命士関係	気管挿管実施救急救命士		1	5					6
	薬剤投与実施救急救命士		1	8	21	13	2		45
	心停止前輸液・低血糖ブドウ糖投与			7	21	13	2		43
	指導救命士			3	2				5
	救急救命士		1	10	21	13	2	1	48
救急関係	救急標準課程・救急科		1	17	35	39	11	3	106
	救急Ⅱ課程	1	2	3					6
	救急Ⅰ課程	1	2	3					6
	応急手当指導員	1	3	17	28	26	4	2	81
	正・准看護師			1	1	1			3
危険物取扱者	甲種		1	1					2
	乙種1類		1	1	3	9			14
	乙種2類	1	1	1	3	6			12
	乙種3類		1	3	6	6			16
	乙種4類	1	1	10	30	28	2	1	73
	乙種5類		1	3	4	6			14
	乙種6類	1	1	3	5	6			16
	丙種		1	2		2			5
消防設備士	甲種特類		1						1
	甲種1類		1	2	2	4			9
	甲種2類		1		1				2
	甲種3類		1		2				3
	甲種4類		1	2	2	4			9
	甲種5類		1	1	2				4
	乙種1類								
	乙種2類								
	乙種3類								
	乙種4類			1	2			1	4
	乙種5類								
	乙種6類		1	4	5	13	1		24
	乙種7類		1						1
予防技術資格者	防火査察専門員		1	3	7	9	2		22
	消防設備等専門員		1	3	5	5	1		15
	危険物専門員	1	1	3	5	3			13
無線関係	特殊無線技士（無線電話乙）		1	2					3
	第二級陸上特殊無線技師			1	12	2		1	16
	第三級陸上特殊無線技師	1	1	15	23	37	10	7	94
ドローン技能講習	ドローン操縦運航管理コース			1	2	1			4
	ドローン講習			1	4	8			13
小型移動式クレーン技能講習			1	7	25	25	3		61
玉掛け技能講習			1	8	26	27	2		64
ガス溶接技能講習			1	5	25	23	4	2	60
アーク溶接特別教育				2	5	2	1		10
巻上げ機の運転業務特別教育				1	12	9			22
２級小型船舶免許			1	2	9	11			23
フルハーネス型墜落制止用器具使用業務特別教育					2	2		1	5
伐木等の業務に係る特別教育					2		1		3
電気工事士					1	5			6
酸素欠乏・硫化水素危険物作業主任者			1	5	3	3	1		13

予　　防

双葉消防本部公認キャラクター「ふたばちゃん」運用開始式　令和４年９月22日実施

建築同意

建築物の新築、増築、改築、模様替え等(昭和58年５月法改正により、昭和59年４月１日から都市計画法で定められた防火地域及び準防火地域以外の区域内における住宅を除く。)について、許可、認可または確認を与える行政庁またはその委託を受けた者は、消防法により消防長または消防署長の同意が必要とされている。

これは、消防が建築物の建設計画の段階から専門的立場で関与、当該計画が建築関係法令の防火規定ならびに、消防関係法令に適合しているかどうかを審査検討して適切な防火措置をすることにより、実効のある火災予防の推進を図ろうとするものである。

したがって、これらの審査にあたっては、特に慎重を期し、係員を現地に派遣して実地調査を行い、必要に応じて同意内容の履歴状況を施行途上で検査し、必要な指導を行い、的確な防火措置について指導に努めている。

町村別工事種別建築同意等事務処理状況

（令和４年12月31日現在）

町村別＼種別		新築	増築	改築	用途変更	移転	模様替	修繕	その他	計
富岡消防署	広野町	3	3							6
	楢葉町	13	10							23
	富岡町	36	12							48
	川内村	2	1							3
	大熊町	32	12							44
浪江消防署	双葉町	21								21
	浪江町	41	9						1	51
	葛尾村									
合計		148	47						1	196

防火対象物別建築同意等事務処理件数

（令和４年12月31日現在）

項別＼町村別	広野町	楢葉町	富岡町	川内村	大熊町	富岡消防署	双葉町	浪江町	葛尾村	浪江消防署	計
１項イ 劇場等											
１項ロ 公会堂等								4		4	4
２項イ キャバレー等											
２項ロ 遊技場等											
２項ハ 性風俗店等											
２項ニ カラオケボックス等											
３項イ 料理店等											
３項ロ 飲食店等			3			3					3
４項 百貨店、マーケット等								1		1	1
５項イ ホテル等					1	1	1			1	2
５項ロ 共同住宅等	2	1	3	1	1	8	1	1		2	10
６項イ(1) 病院			1			1					1
６項イ(2) 診療所											
６項イ(3) (1)を除く病院、(2)を除く有床診療所、有床助産所											
６項イ(4) 無床診療所、無床助産所							1			1	1
６項ロ(1) 老人短期入所施設、有料老人ホーム等											
６項ロ(2) 救護施設											
６項ロ(3) 乳児院											
６項ロ(4) 障害児入所施設											
６項ロ(5) 障害者支援施設、短期入所施設、共同生活援助施設											
６項ハ(1) 老人デイサービスセンター、老人福祉センター等											
６項ハ(2) 更生施設											
６項ハ(3) 助産施設、保育所、児童養護施設等											
６項ハ(4) 児童発達支援センター等											
６項ハ(5) 身体障害者福祉センター、障害者支援施設等											
６項ニ 幼稚園等		1				1					1
７項 学校等			2			2					2
８項 図書館等											
９項イ 熱気浴場等											
９項ロ 公衆浴場等											
10項 停車場等											
11項 神社等											
12項イ 工場等	1	4	6	1	4	16	5	8		13	29
12項ロ 映画スタジオ等											
13項イ 駐車場等								2		2	2
13項ロ 格納庫等											
14項 倉庫等	1	2	2		3	8		4		4	12
15項 事業所等		4	4	1	1	10	3	3		6	16
16項イ 特定複合建物								1		1	1
16項ロ その他の複合建物											
16の２項 地下街											
16の３項 準地下街											
17項 文化財等											
18項 アーケード											
19項 山林											
20項 舟車											
小計	4	12	21	3	10	50	11	24		35	85
防火対象物外	2	11	27		34	74	10	27		37	111
合計	6	23	48	3	44	124	21	51		72	196

町村別防火対象物

（令和４年12月31日現在）

項別＼町村別	広野町	楢葉町	富岡町	川内村	大熊町	富岡消防署	双葉町	浪江町	葛尾村	浪江消防署	計
１項イ 劇場等	2	1	2			5					5
１項ロ 公会堂等	12	9	13	7	3	44	2	7	2	11	55
２項イ キャバレー等											
２項ロ 遊技場等	1	1	2			4		1		1	5
２項ハ 性風俗店等											
２項ニ カラオケボックス等											
３項イ 料理店等											
３項ロ 飲食店等	11	10	10	6	1	38		11	1	12	50
４項 百貨店、マーケット等	7	5	5	1		18	1	6		7	25
５項イ ホテル等	39	20	20	8	1	88	3	21	8	32	120
５項ロ 共同住宅等	128	113	95	13	35	384	1	38	1	40	424
６項イ(1) 病院	2		2			4					4
６項イ(2) 診療所											
６項イ(3) (1)を除く病院、(2)を除く有床診療所、有床助産所											
６項イ(4) 無床診療所、無床助産所	1	3	2			6		2	1	3	9
６項ロ(1) 老人短期入所施設、有料老人ホーム等	1	1	1	2	1	6					6
６項ロ(2) 救護施設											
６項ロ(3) 乳児院											
６項ロ(4) 障害児入所施設											
６項ロ(5) 障害者支援施設、短期入所施設、共同生活援助施設	1					1					1
６項ハ(1) 老人デイサービスセンター、老人福祉センター等	2	2	1			5		1	1	2	7
６項ハ(2) 更生施設											
６項ハ(3) 助産施設、保育所、児童養護施設等	1	1	1	1		4		2		2	6
６項ハ(4) 児童発達支援センター等											
６項ハ(5) 身体障害者福祉センター、障害者支援施設等	11	2				13					13
６項ニ 幼稚園等									1	1	1
７項 学校等	7	3	5	3		18		4	5	9	27
８項 図書館等		1	2	1		4	1	1	1	3	7
９項イ 熱気浴場等				1		1					1
９項ロ 公衆浴場等											
10項 停車場等								1		1	1
11項 神社等	1	1	1		1	4		1		1	5
12項イ 工場等	41	44	15	24	24	148	17	41	4	62	210
12項ロ 映画スタジオ等											
13項イ 駐車場等	4	5	7	3	4	23	2	10	2	14	37
13項ロ 格納庫等								1		1	1
14項 倉庫等	63	79	48	12	43	245	54	52	6	112	357
15項 事業所等	80	97	70	32	93	372	30	60	18	108	480
16項イ 特定複合建物	5	10	13	4	3	35	1	18	4	23	58
16項ロ その他の複合建物	7	3	5		3	18	1	7	2	10	28
16の２項 地下街											
16の３項 準地下街											
17項 文化財等								1		1	1
18項 アーケード											
19項 山林											
20項 舟車											
合計	427	411	320	118	212	1,488	113	286	57	456	1,944

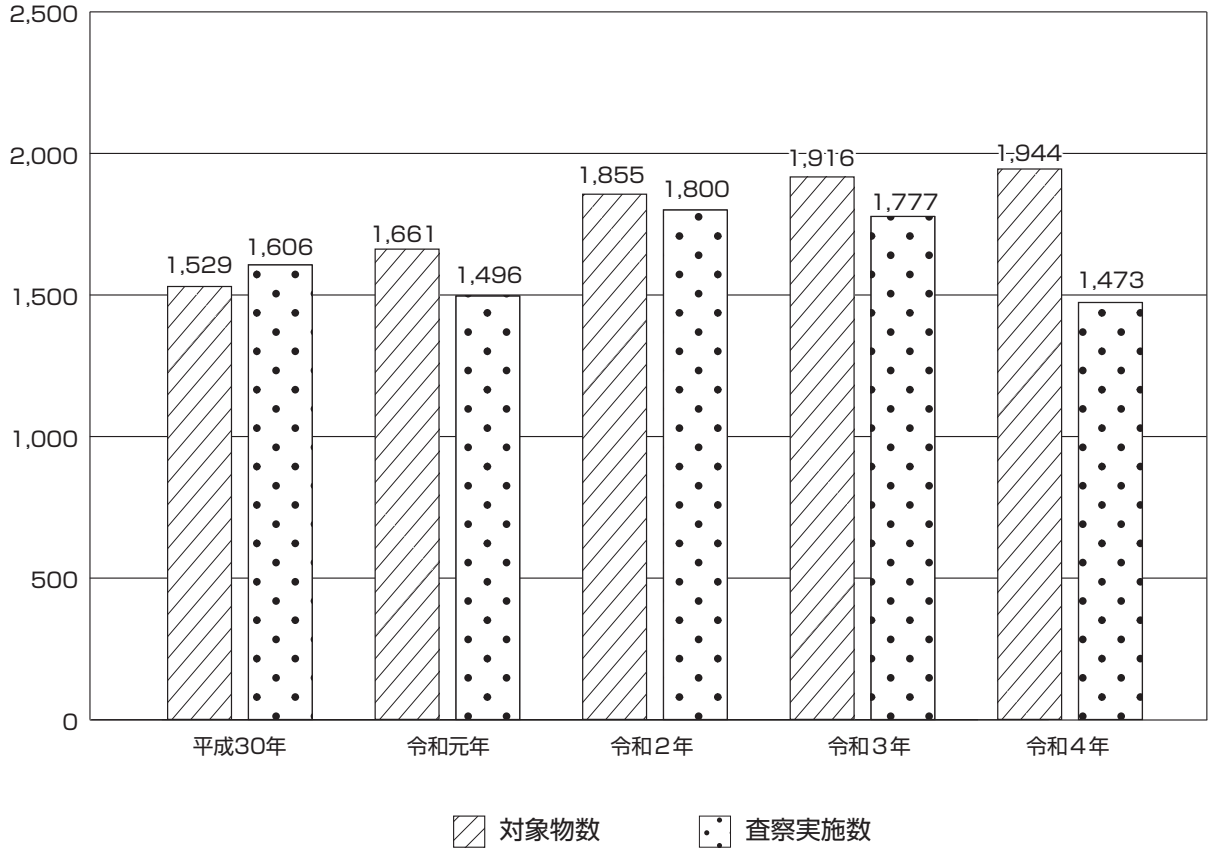
火災予防査察　防火対象物（建築物等）から火災の発生、拡大または火災に伴う人命危険を防止するため、これらの関係場所に立入り、防火対象物の位置、構造、設備および管理の状況を検査し、火災予防上の不備欠陥事項を発見して、これらの排除または改善について関係者に対して積極的に指導を行っている。

月別査察状況

（令和４年12月31日現在）

項別＼月別	対象物総数	査察実施割合	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
１項イ 劇場等	5	100%	5						2		1	2			
１項ロ 公会堂等	55	89%	49	1	1	1	1	10	10	9	1	2	5	2	6
２項イ キャバレー等															
２項ロ 遊技場等	5	100%	5					2	1	1	1				
２項ハ 性風俗店等															
２項ニ カラオケボックス等															
３項イ 料理店等															
３項ロ 飲食店等	50	94%	47	2			1	1	9	6	7	6	6	2	7
４項 百貨店、マーケット等	25	96%	24	2				3	5	4	4		3	1	2
５項イ ホテル等	120	100%	120	35			2	22	28	12	11		5		5
５項ロ 共同住宅等	424	65%	274	14	1		2	15	28	11	1	2	22	11	167
６項イ(1) 病院	4	100%	4					1				2			1
６項イ(2) 診療所															
６項イ(3) (1)を除く病院、(2)を除く有床診療所、有床助産所															
６項イ(4) 無床診療所、無床助産所	9	89%	8	1				1	3				1	1	1
６項ロ(1) 老人短期入所施設、有料老人ホーム等	6	100%	6		1			1		2	1				1
６項ロ(2) 救護施設															
６項ロ(3) 乳児院															
６項ロ(4) 障害児入所施設															
６項ロ(5) 障害者支援施設、短期入所施設、共同生活援助施設	1	100%	1							1					
６項ハ(1) 老人デイサービスセンター、老人福祉センター等	7	114%	8	1				5	1					1	
６項ハ(2) 更生施設															
６項ハ(3) 助産施設、保育所、児童養護施設等	6	100%	6					1	1				2		2
６項ハ(4) 児童発達支援センター等															
６項ハ(5) 身体障害者福祉センター、障害者支援施設等	13	100%	13	2				6	2	3					
６項ニ 幼稚園等	1	100%	1						1						
７項 学校等	27	96%	26						2	8	3			4	9
８項 図書館等	7	57%	4								1		2		1
９項イ 熱気浴場等	1	100%	1												1
９項ロ 公衆浴場等															
10項 停車場等	1	100%	1									1			
11項 神社等	5	20%	1											1	
12項イ 工場等	210	65%	137	1		1	3	10	21	7	7	3	39	29	16
12項ロ 映画スタジオ等															
13項イ 駐車場等	37	81%	30				2	1	4	2		1	4	2	14
13項ロ 格納庫等	1	100%	1												1
14項 倉庫等	357	63%	224	2	1	5	14	10	36	12	5	6	55	32	46
15項 事務所等	480	83%	400	9		11	19	15	24	10	8	5	79	127	93
16項イ 特定複合建物	58	97%	56	14			1	2	4	8	5	3	5	3	11
16項ロ その他の複合建物	28	71%	20		1			1	3	2			4	2	7
16の２項 地下街															
16の３項 準地下街															
17項 文化財等	1	100%	1												1
18項 アーケード															
19項 山林															
20項 舟車															
合計	1,944	76%	1,473	84	5	18	45	107	185	98	56	33	232	218	392

過去５年間の防火対象物数・査察実施状況



消防法違反の対応と措置

防火対象物の位置、構造、設備および管理の状況が、消防法令に違反し、火災予防上危険が大きく、火災が発生したときに人命に危険がある場合は、これを早期に改善させ、公共の安全を確保することは、消防行政の重大な使命である。

しかも、近時全国各地において火災による死傷者が激増する傾向にかんがみ、消防行政の責任と権限において法令違反の対象物に対し、法令を厳しく執行することは社会的要請ともいえよう。

このような背景をもとに、当広域においては、法令違反の対象物については、発見の都度繰り返し査察指導を行い、早期改善に努めているが、改善の意思の認められないもの等については、消防法上の権限を発動し、断固たる態度で処置する方針をとっている。

火災予防に関する届出等

消防法や火災予防条例では、火災予防に関する管理、設備、物質等の届出を義務付けている。これによって消防機関は、事前にそれらの状況を把握し、効果的な指導を行って適正な予防行政の執行に役立たせている（集計には設置・変更・廃止を含む）。

火災予防条例に基づく各種届出処理状況

（令和４年12月31日現在）

月別 / 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
防火対象物開始届	5	8	20	10	7	20	6	5	9	7	10	9	116
防火対象物廃止届		2	1	4		4			1		10		22
炉・かまど・温風暖房機・ボイラー・給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備・火花を生ずる設備設置届	2	2	3	7	1	9		4	3		2	7	40
燃料電池・発電・変電・蓄電池設備設置届	5	10	10	6	8	7	4	4	6	9	4	8	81
火災とまぎらわしい煙又は火災の発生する恐れのある行為の届	39	20	28	18	15	8	7	9	11	25	22	47	249
煙火打上げ・仕掛け届	1		2	3	4	4	7	4	2	1		5	33
催物開催届	1		1		1			1		3	3		10
水道断減水届													
道路工事届	25	14	13	23	15	27	15	15	20	28	24	27	246
露店等の開設届	2		5	4	5	6	8	8	11	5	11	6	71
指定洞道等届									1				1
少量危険物貯蔵取扱い届	7	2	6	14	6	21	8	4	6	4	6	11	95
指定可燃物等届	5				4	2	1	1	1	1	3	1	19
合　　計	92	58	89	89	66	108	56	55	71	83	95	121	983

火災予防条例以外の各種届出処理状況

（令和４年12月31日現在）

種別 ＼ 月別			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
防火管理者選解任届			9	4	11	21	4	15	12	15	6	7	7	10	121
消防計画作成届			8	6	13	26	12	17	11	14	9	11	7	13	147
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱い(開始・変更・廃止)届			1		1	5	6	4	4	1	3	2	4	4	35
危険物保安監督者選解任届			2	3	4	12	1	1	20	1	12			2	58
予防規程認可申請				2				3	1					1	7
消防用設備等	消火設備	着工	2	3	2			3	2	1	2	2	4	2	23
		設置	1	11	18	9	5	13	8	8	6	14		6	99
	警報設備	着工	10	3	2	3	9	1	2	8	6	5	5	7	61
		設置	1	12	26	12	5	9	7	9	3	10	6	13	113
	避難設備	着工													
		設置	1	6	15	8	2	8	8	7	6	10	1	4	76
	消防用水	設置												1	1
	消防活動上必要な施設	設置													
	点検結果報告		55	47	111	51	46	69	33	45	46	41	32	47	623
防火対象物定期点検報告			7	4	8	1	1	2	2	2	2		3	1	33
意見書交付申請															
合計			97	101	211	148	91	145	110	111	101	102	69	111	1,397

防火管理者制度

火災の予防及び被害の軽減を図るためには、消防機関の強化拡充のみでは不十分であり、一般住民の協力が必要である。とくに興業場、百貨店、旅館、病院、キャバレーなどは出火危険が高く、また、火災が発生した場合の人的、物的の被害が大きいため、消防法第８条では一定の収容人員以上のこれらの防火対象物の権限者に対して防火管理者を選任し、消防計画を作成させ、かつ、当該消防計画に基づいて、消火、通報及び避難訓練の実施、消防の用に供する設備等の点検及び整備、火気の使用または取扱に関する監督、避難または防火上必要な構造及び設備の維持管理など、防火管理に必要な業務を行わなければならないことを義務付けている。

防火管理者を必要とする防火対象物

（令和４年12月31日現在）

防火対象物数	選任を必要とするもの	選任されているもの	選任の割合(%)
1,944	1,041	1,010	97%

過去５年間の防火管理講習（資格取得講習）状況

年　別	回　数	受講者数
平成30年	1	63
令和元年	1	47
令和２年	1	41
令和３年	2	56
令和４年	2	76

消防広報

火災のほとんどは、ちょっとした不注意によって発生しており、火災の未然防止は、何といっても住民一人ひとりが常に完全防火意識を持つことが最も肝要である。このような観点から特に予防に関する広報活動については住民参加の防火をモットーに、幅広い活動を展開している。又、消防広報を効果的に推進するため、テレビ、ホームページ、新聞等のマスコミ関係を活用し、各種防災関係行事等の消防情報を随時提供し、地域住民に対する理解を図っている。

広報活動実施状況

（令和４年12月31日現在）

行　事　名	対　　象	実施回数
防火講話	防火対象物	23回
	郡内住民	12回
	郡外避難住民	1回
防火訪問	防火対象物	件
	郡内住民	143戸
	郡外避難住民	2戸
消火器訓練	防火対象物	134回
	郡内住民	4回
	郡外避難住民	回
消防訓練	防火対象物	184回
消防施設見学	園児・小学生	7回
警戒広報	郡内住民	2,651回
各町村イベントにおける消防広報	郡内住民・郡外避難住民	10回
各町村広報誌記事掲載	〃	96回
消防通信	〃	4回
防火広報紙	〃	1,042枚
防火看板	〃	61枚

宿泊施設の表示制度（適マーク）

「適マーク制度」は、３階建て以上の宿泊施設からの申請に基づいて、消防機関が審査した結果消防法令及び重要な建築構造等に関する基準に適合していると認められた建築物に対し、「適マーク」を交付する制度です。そのため、「適マーク」を掲出している宿泊施設は、建物の防火管理について、安心・安全な宿泊施設です。また、表示マーク（銀）が３年間継続して交付されており、かつ、消防法令及び建築法令に関する基準に適合しているホテル・旅館等においては、表示マーク（金）を掲出することができます。

適マーク交付状況

（令和４年12月31日現在）

No.	名称	所在地	基準適合	区分
1	ハタゴイン福島広野	広野町大字下浅見川字広長44-5	令和２年９月	銀
2	Jヴィレッジ	楢葉町大字山田岡字美シ森８	令和２年９月	銀
3	ホテル蓬人館	富岡町小浜44番２	令和３年９月	銀

危険物の規制・指導

近年、危険物を取り扱う施設の数そのものは減少しつつある一方で、事故発生件数については依然として高い水準にあり、安全対策の強化は一層その重要性を増している。

こうした危険物は、事業所をはじめ各家庭にまで形態を変えて入り込み、危険物に起因する災害が発生する要素は、至るところに潜在している。

このような情勢に対応して、危険物による災害を未然に防止するため、危険物施設等に対する取締り、指導はもとよりその管理者、危険物取扱者ならびに従業員等に対する保安教育の実施、さらに危険物輸送時の安全を確保するための指導の強化に努めている。

危険物施設数（町村別）及び立入検査実施状況

（令和４年12月31日現在）

施設別／町村別	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	移送取扱所
総数	634	10	413	54	159	11	86		90	13	211	62		148	1
①稼働施設数	453	4	292	31	127	11	43		74	6	157	43		113	1
広野町	133	4	90	11	67	1	4		5	2	39	7		31	1
楢葉町	59		37	3	8	5	11		10		22	7		15	
富岡町	63		44	4	6	1	8		25		19	9		10	
川内村	26		18	3	2		9		4		8	3		5	
大熊町	57		42	5	29		3		5		15	3		12	
双葉町	57		32	4	9	3			12	4	25	3		22	
浪江町	41		24	1	6		7		10		17	9		8	
葛尾村	6		3						3		3	2		1	
②立入検査実施数	442	4	290	31	127	10	42		74	6	148	43		104	1
実施率（②/①）	98%	100%	99%	100%	100%	91%	98%		100%	100%	94%	100%		92%	100%

危険物施設数（類別）

（令和４年12月31日現在）

施設別／類別	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	移送取扱所
合　計	634	10	413	54	159	11	86		90	13	211	62		148	1
第１類	3	1	2	2											
第２類															
第３類															
第４類	623	6	407	49	159	10	86		90	13	210	62		147	1
第５類	2		2	1		1									
第６類															
混　在	6	3	2	2							1			1	

危険物施設数（数量別）

（令和４年12月31日現在）

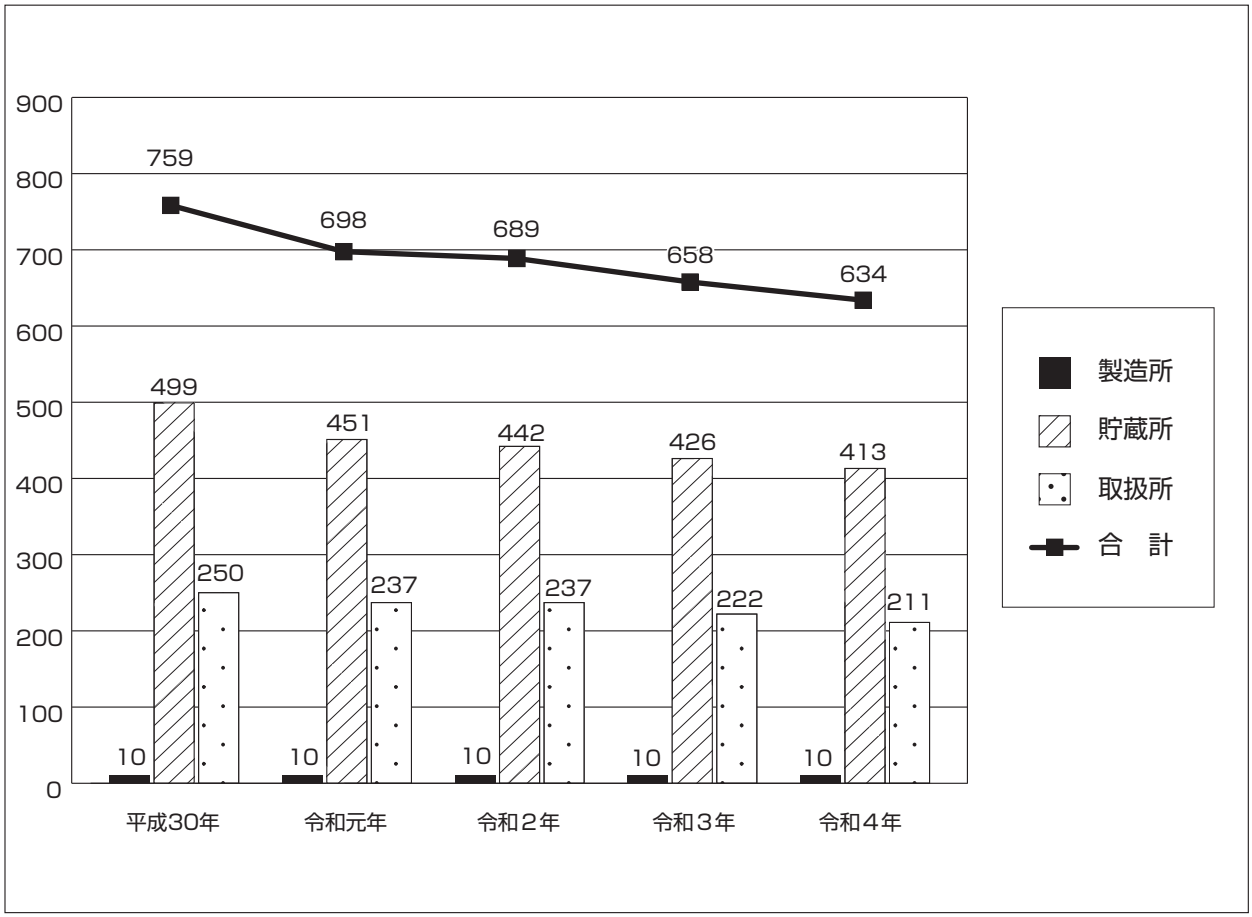
施設別／数量別	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	移送取扱所
合　計	634	10	413	54	159	11	86		90	13	211	62		148	1
5倍以下	231	3	171	19	16	8	41		85	2	57	5		52	
5倍を超え10倍以下	81	1	55	9	17	3	25			1	25	3		22	
10倍を超え50倍以下	164	1	97	11	60		15		2	9	66	24		42	
50倍を超え100倍以下	63	4	28	10	15		2		1		31	8		23	
100倍を超え150倍以下	30		22	2	16		2		2		8	8			
150倍を超え200倍以下	7		1				1				6	6			
200倍を超え1,000倍以下	41	1	30	3	26					1	10	8		2	
1,000倍を超え5,000倍以下	8		5		5						3			3	
5,000倍を超え10,000倍以下															
10,000倍を超えるもの	9		4		4						5			4	1

第４類（可燃性液体）屋外貯蔵タンク数（容量別）

容量（KL） 合計	100未満	100以上 ～1,000未満	1,000以上 ～10,000未満	10,000以上
159	129	21	5	4

危険物施設過去５年間の推移

施設別 年別	製造所	貯蔵所	取扱所	合　計
平成30年	10	499	250	759
令和元年	10	451	237	698
令和２年	10	442	237	689
令和３年	10	426	222	658
令和４年	10	413	211	634



危険物製造所･貯蔵所･取扱所等申請処理状況

（令和４年12月31日現在）

種別＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
給油取扱所	設置許可													
	変更許可				1		1	2					1	5
一般取扱所	設置許可													
	変更許可	2	1		1			1		1	1	1	1	9
移送取扱所	設置許可													
	変更許可													
簡易タンク貯蔵所	設置許可													
	変更許可													
屋外貯蔵所	設置許可													
	変更許可		2											2
屋内貯蔵所	設置許可	1												1
	変更許可													
地下タンク貯蔵所	設置許可													
	変更許可													
屋外タンク貯蔵所	設置許可		1											1
	変更許可	1	2	2							1			6
屋内タンク貯蔵所	設置許可													
	変更許可													
移動タンク貯蔵所	設置許可		1							1				2
	変更許可		2						1					3
製造所	設置許可													
	変更許可							1						1
小計		4	9	2	2		1	4	1	2	2	1	2	30
水圧検査申請書														
水張検査申請書				1							1			2
完成検査申請書			3	7	2	1		1	5	1	2	2		24
仮貯蔵・仮取扱承認申請書		3	5	1	2		2	1	2	1		3	1	21
譲渡引渡届									1					1
品名・数量・倍数変更届				1	1	4	2	1				2		11
廃止届		3	10	3	2		5	1	2	1				27
保安検査申請書														
仮使用申請書		3	4		2		1	4			1	1	2	18
小計		9	22	13	9	5	10	8	10	3	4	8	3	104
合計		13	31	15	11	5	11	12	11	5	6	9	5	134

警　　防

救助隊消防長査閲 令和４年５月11日実施

相互応援協定等

消防は、消防組織法に基づきそれぞれの市町村の責任において消防業務を処理しているが、特に市町村境界付近については、消防力を互いに補完しあうことにより災害の拡大防止を図っている。

相互応援協定

名　称	協定先	締結年月日	内　容
消防相互応援協定	相馬地方広域市町村圏組合	昭和48年４月１日	火災、救急、その他の災害
	郡山地方広域消防組合	昭和48年12月１日	
	いわき市	昭和49年12月１日	
	伊達地方消防組合	昭和58年９月１日	
福島県広域消防相互応援協定	県内　11消防本部	平成９年12月26日	大規模災害、特殊災害、その他の災害
火災原因調査に係る相互応援協定	県内　11消防本部	平成11年12月27日	大規模、又は特異な火災原因調査
常磐自動車道消防相互応援協定	いわき市	平成14年１月23日	高速道路の火災、救急、救助、その他の災害
常磐自動車道消防相互応援協定	相馬地方広域市町村圏組合	平成26年８月８日	高速道路の火災、救急、救助、その他の災害

協定等

名　称	協定先	締結年月日	内　容
小名浜海上保安部と双葉地方広域市町村圏組合消防機関との業務協定	小名浜海上保安部	昭和53年７月20日	船舶火災
原子力発電所における消防活動に関する消防機関と事業者との協定	東京電力株式会社福島第一・第二原子力発電所	平成14年５月30日	火災、救急、救助
災害・武力攻撃事態等における医療救護活動協定	双葉郡８町村、社団法人双葉郡医師会双葉郡歯科医師会、双葉郡薬剤師会社団法人福島県看護協会	平成19年11月１日	医療救護活動
鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関との連携に関する覚書	鉄道事業者	平成22年３月29日	鉄道災害（火災は鉄道沿線を含む）
福島県ふたば医療センター附属病院医師等の救急現場出動に関する協定	福島県ふたば医療センター附属病院	平成30年８月21日	救急
災害時における大型重機等の支援要請に関する協定	福島県建設業協会双葉支部	平成30年９月10日	火災、救助
災害時における消防活動支援に関する協定	株式会社ＪＥＲＡ広野火力発電所	令和元年９月３日	火災、その他の災害
新型コロナウイルス感染症における患者移送の協力に関する協定	福島県 福島県内保健所 福島県内消防本部	令和２年６月11日	救急活動
新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する連携協定	医療法人誠励会ひらた中央病院	令和２年９月16日	医療救護活動

消防力の現況

（令和４年12月31日現在）

管内市町村		
人口	57,846人	
面積	865.71㎢	
消防機構	消防本部	1
	消防署	2
	分署	1
	出張所	2
	人員	127

現有消防機械		
水槽付消防ポンプ自動車		3
消防ポンプ自動車		4
三点セット	大型高所放水車	1
	大型化学車	1
	泡原液搬送車	1
救助工作車		1
大型水槽車		2
遠距離大量送水システム車		1
資機材搬送車		2
支援車［Ⅰ型］		1
救急自動車［高規格救急自動車］		7
指揮車		3
広報車・連絡車（原子力防災車含む）		9

消防団	
団本部	8
分団数	48
人員	1,289
水槽付消防ポンプ自動車	11
消防ポンプ自動車	20
可搬動力ポンプ	12
搭載車	51

通信施設の現況

（令和４年12月31日現在）

機器名＼配置所署		消防本部	浪江消防署	葛尾出張所	富岡消防署	楢葉分署	川内出張所	計
指令装置								
	指令台	2						2
	地図等検索装置	2						2
	長時間録音装置	1						1
	非常用指令設備	1						1
	指令制御装置	2						2
	携帯電話・IP電話受信転送装置	1						1
	所署端末装置		1	1	1	1	1	5
	無線指令受付装置		1	1	1	1	1	5
表示盤		3						3
無線統制台		1						1
指令伝送装置								
	送信装置	1						1
	出力装置		1	1	1	1	1	5
気象情報収集装置		1						1
災害状況等自動案内装置		1						1
順次指令装置		1						1
音声合成装置		1						1
システム監視装置		1						1
電源設備		1	1	1	1	1	1	6
統合型位置情報通知装置		1						1
携帯電話一斉指令装置		1						1
ＩＴ情報端末		2						2
１１９受信ＦＡＸ		1						1
回線多重化装置		1						1
消防情報支援システム								
	消防情報管理装置	1						1
	消防情報支援端末装置	1	3	1	3	2	1	11
避雷装置		1	1	1	1	1	1	6
専用回線								
	電力施設	3						3
	県総合情報	1						1
	県緊急時連絡網装置	2						2
消防用無線（デジタル）								
	固定局／基地局	1						1
	移動局							0
	卓上型		1	1	1	1	1	5
※括弧内は県備	車載型	2(3)	7(1)	3	8(1)	7(1)	3	36
	携帯（可搬型含）	2(1)	6(21)	2	6(21)	3(11)	2	75
出動車両運用管理装置								
	管理装置	1						1
	車両運用端末装置（Ⅲ型）		5	2	3	4	2	16
	車外設定端末		5	2	3	4	2	16

消防水利の現況

（令和４年12月31日現在）

種別 ＼ 町村別	消火栓			防火水槽								
					公設				私設			
	小計	公設	私設	小計	100m³以上	60m³以上100m³未満	40m³以上60m³未満	20m³以上40m³未満	100m³以上	60m³以上100m³未満	40m³以上60m³未満	20m³以上40m³未満
広野町	582	219	363	48	1		33		2		12	
楢葉町	288	236	52	109			69	22			18	
富岡町	286	235	51	96	1	2	80	2	1	1	9	
川内村				86			85				1	
大熊町	200	143	57	156		1	81				74	
富岡消防署管内小計	1,356	833	523	495	2	3	348	24	3	1	114	
双葉町	300	279	21	68			34	1			28	5
浪江町	353	350	3	77			68	1			8	
葛尾村	26	26		43			43					
浪江消防署管内小計	679	655	24	188			145	2			36	5
合計	2,035	1,488	547	683	2	3	493	26	3	1	150	5

消防車両の現況

（令和４年12月31日現在）

所属	署所	車種名	社　名	登録番号	登録年月日	型式等	備　考
消防本部	消防本部仮庁舎	指揮車（双葉11）	トヨタ	いわき 800 さ 8170	平成27年９月24日		
		原子力防災車（双葉12）	ニッサン	いわき 800 さ 9186	平成30年12月27日	資機材搬送車	
		原子力防災車（双葉13）	トヨタ	いわき 800 さ 7205	平成25年３月26日	指揮/広報車	
		原子力防災車（双葉34）	三菱	いわき 800 さ 7571	平成26年３月５日	資機材搬送車	
		支援車（双葉支援11）	いすゞ	いわき 800 は 568	平成25年２月25日		緊急消防援助隊 後方支援小隊 登録
浪江消防署		指揮車（双葉21）	ニッサン	いわき 800 さ 8578	平成28年12月21日		
		原子力防災車（双葉22）	トヨタ	いわき 800 さ 9850	令和３年２月24日	資機材搬送車	
		ポンプ車（双葉ポンプ21）	日野	いわき 800 さ 8193	平成27年10月13日	CAFS搭載 水槽 800 ℓ	緊急消防援助隊 消火小隊 登録
		タンク車（双葉タンク21）	日野	いわき 800 は 760	平成27年10月16日	CAFS搭載 水槽 1,500 ℓ	
		資機材搬送車（双葉搬送21）	日野	いわき 800 は 1026	令和３年３月12日		
		大型水槽車（双葉水槽21）	日野	いわき 800 は 936	平成31年１月28日	水槽 10,000 ℓ	
		救急車（双葉救急21）	トヨタ	いわき 800 さ 7943	平成27年２月17日	高規格救急車	緊急消防援助隊 救急小隊 登録
		救急車（双葉救急22）	ニッサン	いわき 800 さ 7539	平成26年２月14日	高規格救急車	
葛尾出張所		ポンプ車（双葉ポンプ22）	日野	いわき 800 さ 6040	平成22年２月10日	CAFS搭載 水槽 600 ℓ	
		救急車（双葉救急23）	トヨタ	いわき 800 さ 7941	平成27年２月17日	高規格救急車	
		連絡車（双葉連絡21）	スズキ	いわき 580 ち 8000	平成28年10月25日		
富岡消防署		指揮車（双葉31）	スバル	いわき 800 さ 6263	平成22年10月19日		
		原子力防災車（双葉32）	三菱	いわき 800 さ 8340	平成28年３月24日	資機材搬送車	
		タンク車（双葉タンク32）	日野	いわき 800 は 324	平成20年２月１日	CAFS搭載 水槽 1,500 ℓ	緊急消防援助隊 消火小隊 登録
		大型水槽車（双葉水槽31）	日野	いわき 800 は 478	平成24年３月12日	水槽 10,000 ℓ	新城市消防本部 譲受
		救助工作車（双葉救助31）	日野	いわき 800 は 522	平成24年10月22日	Ⅱ型	
		大型高所放水車（双葉高所31）	日野	いわき 88 や 1341	平成11年１月８日	30m級	
		泡原液搬送車（双葉原液31）	三菱	いわき 800 は 192	平成16年３月９日	原液槽 6,000 ℓ	
		遠距離大量送水システム車（双葉23）	日野	いわき 800 は 973	令和２年３月５日	ハイドロサブ4,000	緊急消防援助隊 遠距離大量送水小隊　登録
		救急車（双葉救急31）	ニッサン	いわき 800 さ 7540	平成26年２月14日	高規格救急車	緊急消防援助隊 救急小隊 登録
楢葉分署		広報車（双葉33）	トヨタ	いわき 800 さ 8919	平成30年１月18日		
		ポンプ車（双葉ポンプ31）	日野	いわき 800 さ 8194	平成27年10月13日	CAFS搭載 水槽 800 ℓ	緊急消防援助隊 消火小隊 登録
		タンク車（双葉タンク31）	日野	いわき 800 は 289	平成19年１月17日	水槽 1,500 ℓ	緊急消防援助隊 消火小隊 登録
		大型化学車（双葉化学31）	三菱	いわき 800 は 13	平成16年２月６日	原液槽 2,000 ℓ	
		資機材搬送車（双葉搬送31）	日野	いわき 800 さ 9887	令和３年３月12日		
		マイクロバス（双葉支援31）	ニッサン	いわき 800 さ 8674	平成29年３月24日	要員搬送車	乗車定員 25人
		救急車（双葉救急32）	トヨタ	いわき 800 す 119	令和４年２月９日	高規格救急車	
		救急車（双葉救急33）	ニッサン	いわき 800 さ 7541	平成26年２月14日	高規格救急車	
川内出張所		ポンプ車（双葉ポンプ32）	日野	いわき 800 さ 5688	平成21年２月17日	CAFS搭載 水槽 600 ℓ	
		救急車（双葉救急34）	トヨタ	いわき 800 さ 5368	平成20年１月10日	高規格救急車	
		連絡車（双葉連絡31）	スズキ	いわき 580 ち 8001	平成28年10月25日		

県備品原子力防災資器材の現況

（令和４年12月31日現在）

品　名	型　式	保有数
サーベイメータ	日立アロカメディカル　GM管式　TGS-146	5
	富士電機　GM管式　NHJ120	12
	日立アロカメディカル　電離箱式　ICS-321	11
	日立アロカメディカル　電離箱式　ICS-323C	6
	日立アロカメディカル　シンチレーション式　TCS-171	3
	日立アロカメディカル　シンチレーション式　TCS-172B	12
	日立アロカメディカル　シンチレーション式　TCS-1172	2
	日立アロカメディカル　ヘリウム管式　TPS-451C	1
線量マッピングシステム	ポリマスター　PM1703MO-1B	3
熱画像直視装置	アルゴス　4HR320	1
電子式ポケット線量計	パナソニックSN九州　ZP-144P	127
放射能標準ガンマ線源	日本アイソトープ協会　ガンマ線源401タイプ	1
個人被ばく線量管理システム一式	原子力エンジニアリング	1
災害時情報提供システム	ゼンリン　OA-LightⅡ一式・パソコン・プリンター一式	1
	ゼンリン　OA-LightⅢ一式・パソコン・プリンター・ラック・椅子	1
大判プリンター 大判コピーシステム	CANON　iPF650　CiC24 MFP	1
	Canon iPF785　M40 MFP Tray	1
特殊耐熱服	重松製作所　FC-30PM（アルミ蒸着品）	6
内部装着式放射線防護服	重松製作所　KH-3型インナーサーベージスーツ	14
化学防護服	重松製作所　PS-2100-R（呼吸器内装型）	8
	ドレーゲル　ワークマスタープロ　R29400（呼吸器外装型）	6
	ドレーゲル　ワークマスタープロET　R29401（呼吸器外装型）	4
	ドレーゲル　CPS7900　R29500（呼吸器内装型）	12
化学防護服の気密試験器	ドレーゲルテスタセット	3
空気呼吸器	川崎防災工業　A1-12	8
	川崎防災工業　A-1	6
	エア・ウォーター防災　A1-08	25
	ドレーゲル　PSS90	10
	ドレーゲル　PSS100	10
	ドレーゲル　PSS7000（被ばく患者搬送用呼吸器）	15
	MSA　BD96（01-564186）	10
レスクマスク	ドレーゲル　レスクマスク　ハーフマスクR 55875	2
カーボン製空気ボンベ	MSA　29.4Mpa（6.8㍑）　H19年度	10
	エアーウォーター防災　29.4Mpa（6.8㍑）　H20年度	20
	TEIJIN　29.4Mpa（6.8㍑）　H21年度20本　H23年度10本	30
	エアーウォーター防災　29.4Mpa（6.8㍑）　H29年度30本　H30年度34本	64
	エアーウォーター防災　29.4Mpa（6.8㍑）　R元年度30本	30
酸素呼吸器	川崎防災工業　OXY-GEM-11	8
高圧酸素用ボンベ（予備）	川崎防災工業　SB-1.7　128F	8

品　名	型　式	保有数
発　電　機	HONDA　DLI161	1
	HONDA　EU24i	1
	HONDA　EUインバーター16i	5
投光器(コードリール付き)	シールドビーム投光器500W　K-500	1
	HAYATA防災用ハロゲンライト　PHCX-505KS	5
車載照明装置	メタルハライド照明装置　ナイトスキャンチーフ	1
自立型照明装置	エアーライト(発動機ホンダEU16i付き)	3
	バルーン照明器(発動機ホンダEU18i付き)	3
マイクロバス	ニッサン　シビリアン	1
原子力防災車	トヨタ　ハイエース(赤色灯・スタッドレスタイヤ含)	1
	トヨタ　エスティマHV(警告灯・拡声器・スタッドレスタイヤ・衛星電話含)	1
	ニッサン　キャラバン(赤色灯・スタッドレスタイヤ含)	1
	三菱　デリカD:5(赤色灯・スタッドレスタイヤ含)	2
車載無線機	日本無線　JHM-201S10ST	6
可搬型無線機一式	日本無線　JHR-292E	4
携帯無線電話装置一式	日本無線　JHP-298S02、CP-2D10P	50
映像伝送装置(ドコモ携帯)	アクオス　SH-41A	3
特定小電力トランシーバー	ウエッジ　icon　IC-4350	48
	STANDARD　FTH-108	14
トランシーバー中継器	ウエッジ　icon　IC-RP4150W	2
電気メガホン	TOAハンドマイク大一式　ER-81W	2
	TR315S	4
	TOAハンドマイク大一式　ER-3115	2
	TOAハンドマイク防滴メガホン　ER-1115	2
	noboruトランジスタメガホーン　TS-711	2
	TOA ER-115	4
	ユニペックス製　TR-315	5
	(株)ノボル電機製作所　TS-623	15
エアー式テント一式	MQ-562-A	1
	藤倉ゴム工業　F-36	1
除線シャワーテント一式	プライケム　DP-1	1
	伊藤忠商事　除染システム　MC-2	1
	二人用除染シャワーテント　MQ-DTS-1、ランコARZ-23	2
	フレーム式除染シャワーテント　BASE-X-デコン303	1
除染テント用接続資器材	ブレードホース　媒介金具	3
RI除染キット	千代田テクノル　TH-E3301	5
エアーコンプレッサー	バウアーコンプレッサー　MARINER-Ⅱ	2
携帯警報機	GRACE　スーパーパスⅡ	25
レスキューセット	CMC　スタンダード	2
ストレッチャー	スノッグ　ストレッチャーモデル1032	20
	CMC タイタンti一体型	1
全身固定用ボード一式(ストラップ等含む)	日本船舶薬品　ハイテクバックボード2010、ストラップ436-BG、ヘッドイモビライザー445	10

消防資器材の現況

（令和４年12月31日現在）

種別	配置別	合計	浪江消防署	葛尾出張所	富岡消防署	楢葉分署	川内出張所
消火用資器材・放水器具	ホース　65㎜	379	123	48	75	91	42
	ホース　50㎜	248	96	33	61	41	17
	山火事用ホース						
	水幕用ホース	11	3	2	2	2	2
	管鎗　65㎜	14	3	1	4	5	1
	管鎗　50㎜	10	3	1	3	3	
	特殊管鎗(ガンタイプ/無反動/フォグガン/ロータリー)	39	14	4	4	13	4
	エアーホームプロポーショナー	4	1	1	1	1	
	発泡装置（東消式）	1				1	
	ラインプロポーショナー	5	1	1	1	1	1
	小型ポンプ（山火事用）	1			1		
	背負い式ポンプ	70	26	6	20	13	5
	組立水槽	4	2			1	1
	低水位ストレーナー	7	2	1	1	2	1
	フローティングストレーナー	14	4	2	3	3	2
三点セット用資器材	ホース　65㎜×20m（ネジ）						
	ホース　65㎜×35m（町野）	1			1		
	ホース　75㎜×10m（ネジ）						
	ホース　75㎜×10m（町野）	5				5	
	ホース　75㎜×20m（ネジ）	2				2	
	管鎗　65㎜	4			2	2	
	投光器一式	3			3		
	発電機	1				1	
	ドラム吸液用ピックアップ	2			1	1	
	放水銃（ターレット）	2				2	
一般救助用器具	かぎ付きはしご	5	2		2	1	
	三連はしご	6	2		2	2	
	金属製折りたたみはしご						
	ワイヤはしご	1			1		
	空気式救助マット	1			1		
	救命索発射銃	2	1		1		
	サバイバースリング	2	1		1		
	バーティカルストレッチャー	2	1		1		
	救助用縛帯	6	4		2		
	平担架						
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	2			1		1
	油圧スプレッダー	2	1			1	
	可搬ウィンチ	4	1	1	1	1	
	ワイヤロープ	19	9	1	4	4	1
	マンホール救助器具	2	1		1		
	マット型空気ジャッキ一式	2	1		1		
	大型油圧スプレッダー	3	1		1	1	
	チェーンブロック	1			1		
切断用器具	油圧切断機	2	1			1	
	エンジンカッター	2	1		1		
	ガス溶断器	1			1		
	チェーンソー	5	1	1	1	1	1
	鉄線カッター	15	5	2	3	4	1
	空気鋸	1			1		
	大型油圧切断機	3	1		1	1	
	空気切断機	1			1		
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1			1		

種別	配置別	合計	浪江消防署	葛尾出張所	富岡消防署	楢葉分署	川内出張所
破壊用器具	万能斧	12	4	2	3	2	1
	ハンマー	9	3	1	2	2	1
	携帯用コンクリート破壊器具	1			1		
	削岩機	1			1		
	ハンマドリル	1			1		
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	4	1		1	1	1
	放射線測定器						
呼吸保護用器具	空気呼吸器	38	12	3	10	10	3
	予備ボンベ（空気）	65	28	3	25	6	3
	酸素呼吸器						
	予備ボンベ（酸素）						
	防塵マスク	5			5		
	送排風機	1			1		
隊員保護用器具	耐電手袋	20	3	1	13	3	
	安全帯	29	12	3	10	4	
	防塵メガネ						
	携帯警報器	5			5		
	防毒マスク	5			5		
	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）						
	陽圧式化学防護服						
	耐熱服						
	放射線防護服						
	耐電衣	5	3		2		
	耐電ズボン	5	3		2		
	耐電長靴	5	3		2		
	クーリングベスト	281	119	6	2	144	10
水難救助用器具	救命胴衣	44	16	3	8	9	8
	水中投光器	1		1			
	救命浮環	20	7		7	3	3
	胴付き長靴	8	4		4		
	ドライスーツ	10	10				
	水難救助用ヘルメット	5	5				
	救命ボート	3	2			1	
	船外機	1	1				
山岳救助用器具	登山器具一式	1			1		
	バスケット担架	5	1	1	1	2	
その他の救助用器具	投光器一式	9	3	1	2	2	1
	携帯投光器	19			13	4	2
	携帯拡声器	11	6		4	1	
	携帯無線機	12			6	4	2
	応急処置用セット	5			2	2	1
	その他の携帯救助器具	1			1		
	緩降器	1			1		
	ロープ登降器	1			1		
	発電機	14	5	2	3	3	1
調査・検査器具	張力計	2	1		1		
	自動火災報知器用試験器						
	水圧試験器						
	ピトーゲージ	5	1		1	3	
	絶縁測定器	5	2	1	1	1	
その他	火災原因調査器具一式	8	1	1	2	3	1
	119番通報訓練装置	1			1		
	移動式訓練補助設備	1			1		
	ゼッケンベスト	40	14	6	20		
	コンプレッサー	2	1			1	
	カーナビゲーション	18	6	1	4	6	1

町村別救助活動状況

（令和４年12月31日現在）

町村別 ＼ 事故種別			火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
広野町	出動件数				3			1	2	1			7
	活動件数				2			1	2				5
	救助人員				3			1	2				6
	うち高速	出動件数											
		活動件数											
		救助人員											
楢葉町	出動件数				4							1	5
	活動件数				4							1	5
	救助人員				4							1	5
	うち高速	出動件数			1								1
		活動件数			1								1
		救助人員			1								1
富岡町	出動件数				3				1			1	5
	活動件数				2							1	3
	救助人員				2							1	3
	うち高速	出動件数											
		活動件数											
		救助人員											
川内村	出動件数				3							2	5
	活動件数				1							2	3
	救助人員				1							2	3
大熊町	出動件数				1							2	3
	活動件数											2	2
	救助人員											2	2
	うち高速	出動件数											
		活動件数											
		救助人員											
双葉町	出動件数							1					1
	活動件数							1					1
	救助人員							1					1
	うち高速	出動件数											
		活動件数											
		救助人員											
浪江町	出動件数				2								2
	活動件数				1								1
	救助人員				1								1
	うち高速	出動件数											
		活動件数											
		救助人員											
葛尾村	出動件数												
	活動件数												
	救助人員												
管轄外	出動件数												
	活動件数												
	救助人員												
	うち高速	出動件数											
		活動件数											
		救助人員											
合　計	出動件数				16			2	3	1		6	28
	活動件数				10			2	2			6	20
	救助人員				11			2	2			6	21
	うち高速	出動件数			1								1
		活動件数			1								1
		救助人員			1								1

過去５年間の救助活動状況

（各年１月～12月）

年別 ＼ 事故種別		火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
平成30年	出動件数			17	1		1		1		5	25
	活動件数			4	1		1		1		3	10
	救助人員			6	1		1		1		4	13
令和元年	出動件数			19	1	4	2				8	34
	活動件数			15	1	3	1				8	28
	救助人員			21	1	4	1				8	35
令和２年	出動件数			16	2	1	2	3			5	29
	活動件数			12	2		1	2			4	21
	救助人員			13	2		1	2			4	22
令和３年	出動件数	1		20	2		2	1	1		3	30
	活動件数	1		10	2		1	1			3	18
	救助人員	1		14	2		1	1			3	22
令和４年	出動件数			16			2	3	1		6	28
	活動件数			10			2	2			6	20
	救助人員			11			2	2			6	21
合計	出動件数	1		88	6	5	9	7	3		27	146
	活動件数	1		51	6	3	6	5	1		24	97
	救助人員	1		65	6	4	6	5	1		25	113

消防車両の活動状況

（令和４年12月31日現在）

区分 / 月別	合　計			火災出動			救急出動		
	回数	延人数	延車両	回数	延人数	延車両	回数	延人数	延車両
１月	472	1,386	502	1（0）	18	6	100	304	100
２月	436	1,251	455	2（1）	10	4	93	281	93
３月	481	1,371	502	1（0）	5	2	102	311	102
４月	453	1,321	470	0（0）	0	0	106	321	106
５月	486	1,378	508	1（1）	6	2	93	278	93
６月	540	1,545	574	2（0）	25	9	106	321	106
７月	571	1,632	614	3（0）	47	19	134	397	134
８月	521	1,458	542	1（1）	5	2	122	368	122
９月	484	1,409	502	0（0）	0	0	98	296	98
10月	563	1,551	580	2（0）	14	5	110	328	110
11月	590	1,651	614	3（1）	33	13	118	352	118
12月	539	1,494	556	0（0）	0	0	113	342	113
合　計	6,136	17,447	6,416	16（4）	163	62	1,295	3,899	1,295

※（　）は事後聞知火災

区分 / 月別	その他の出動			演習・訓練等			広報・指導		
	回数	延人数	延車両	回数	延人数	延車両	回数	延人数	延車両
１月	14	34	14	44	118	46	18	55	20
２月	16	46	18	38	95	38	8	24	8
３月	22	63	24	49	133	52	77	212	80
４月	24	75	29	35	98	35	8	19	8
５月	26	95	38	52	157	55	19	47	20
６月	21	61	23	42	135	51	31	73	32
７月	27	75	29	32	74	32	55	119	57
８月	22	56	23	38	105	42	44	97	46
９月	14	42	16	44	145	48	44	88	47
10月	17	51	19	60	173	64	36	71	37
11月	17	50	20	47	146	47	130	316	133
12月	21	56	23	50	144	55	44	107	45
合　計	241	704	276	531	1,523	565	514	1,228	533

区分 / 月別	救助出動			風水害等の災害出動			捜索出動			誤報等出動		
	回数	延人数	延車両	回数	延人数	延車両	回数	延人数	延車両	回数	延人数	延車両
1月	6	64	22	0	0	0	0	0	0	2	13	5
2月	2	19	7	0	0	0	0	0	0	3	32	12
3月	4	40	12	2	9	4	0	0	0	4	15	6
4月	3	38	12	0	0	0	0	0	0	2	10	4
5月	2	18	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	2	18	6	0	0	0	0	0	0	3	26	10
7月	1	10	3	0	0	0	0	0	0	8	72	29
8月	2	18	7	0	0	0	0	0	0	5	33	13
9月	2	26	9	0	0	0	0	0	0	2	11	4
10月	1	12	4	0	0	0	0	0	0	1	9	4
11月	3	26	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	4
合　計	28	289	96	2	9	4	0	0	0	32	231	91

区分 / 月別	警防調査			火災調査			特別警戒			予防査察		
	回数	延人数	延車両	回数	延人数	延車両	回数	延人数	延車両	回数	延人数	延車両
1月	7	20	7	2	5	2	244	675	246	34	80	34
2月	11	32	12	4	10	4	234	646	234	25	56	25
3月	10	24	10	4	9	4	166	464	166	40	86	40
4月	33	94	33	0	0	0	214	606	214	28	60	29
5月	18	52	18	0	0	0	224	611	225	51	114	51
6月	25	69	25	5	9	5	221	614	222	82	194	82
7月	36	96	36	9	24	9	213	594	213	53	124	53
8月	32	88	32	3	8	3	208	573	208	44	107	44
9月	40	115	40	0	0	0	201	601	201	39	85	39
10月	43	116	44	0	0	0	223	620	223	70	157	70
11月	35	99	36	5	12	5	171	472	171	61	145	63
12月	17	44	17	0	0	0	218	610	223	74	181	76
合　計	307	849	310	32	77	32	2,537	7,086	2,546	601	1,389	606

気象注意報発令状況

（令和４年12月31日現在）

種別＼月別	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	計
大雨特別警報													
大雪特別警報													
暴風特別警報													
暴風雪特別警報													
波浪特別警報													
高潮特別警報													
大雨警報					1	1	1		2				5
洪水警報													
大雪警報													
暴風警報	1		2	1				1	1		2	1	9
暴風雪警報													
波浪警報						1			1				2
高潮警報													
大雨注意報					2	3	2	1	4	2	1		15
洪水注意報							1						1
大雪注意報			2										2
強風注意報	17	14	13	8	8	2	3	4	3	7	8	12	99
風雪注意報	5	3											8
波浪注意報	3	4	4	5	2	4	1	2	3	4	5	1	38
高潮注意報													
濃霧注意報	2	1	3	9	11	7	11	12	8	13	15	7	99
雷注意報			1		6	13	19	16	6	2	1	1	65
乾燥注意報	4	1	3									1	9
なだれ注意報													
着氷注意報													
着雪注意報			2										2
融雪注意報													
霜注意報			10	10	3					10	17		50
低温注意報	4	3				1							8
合計	36	26	40	33	33	32	38	36	28	38	49	23	412

火災気象注意報発令状況

（令和４年12月31日現在）

基準別＼月別	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	計
「乾燥」			1	1								1	3
「強風」	1	2	6	3	3			1	1		4	4	25
「乾燥強風」	5	1	2										8
合計	6	3	9	4	3			1	1		4	5	36

※火災気象通報の発表基準は４月23日から変更されています。

火　　災

令和４年度大規模火災対応訓練　令和４年10月14日実施

火災発生状況

（令和４年12月31日現在）

区分 / 町村別	火災発生件数							焼損面積		損害見積額（千円）							焼失棟数								り災世帯			罹災人員	死傷者	
	計	建物	一般住宅	林野	車両	船舶	その他	建物（㎡）	林野（a）	計	建物 建築物	建物 収容物	林野	車両	船舶	その他	火元棟 全焼	火元棟 半焼	火元棟 部分焼	火元棟 ぼや	延焼棟 全焼	延焼棟 半焼	延焼棟 部分焼	延焼棟 ぼや	全損	半損	小損		負傷者	死者
広野町	1	1								1,300		1,300								1									1	
楢葉町	7	3	2		1		3	18		496	251	126		98		21	1			2				1			1	1	1	
富岡町																														
川内村	1	1	1					95		2,857	2,518	339					1				1				1			3	1	
大熊町	1	1	1					94		1,703	1,393			58		252	1				1				1			1		
富岡消防署	10	6	4		1		3	207		6,356	4,162	1,765		156		273	3			3	2			1	2		1	5	3	
双葉町																														
浪江町	5	1			3		1	1		2,650	27			2,581		42			1											2
葛尾村	1				1					2,840				2,840																
浪江消防署	6	1			4		1	1		5,490	27			5,421		42			1											2
合計	16	7	4		5		4	208		11,846	4,189	1,765		5,577		315	3		1	3	2			1	2		1	5	3	2

＊　焼失面積、損害見積額については、類焼による場合を含む。死者（48時間以内）

＊　「30日死者」、火災によって負傷した者が、負傷後48時間を経過して、30日以内に死亡した者。

町村別・月別火災発生件数

（令和４年12月31日現在）

町村別	月別	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	合計
広野町	件　数		1											1
	損害額（千円）		1,300											1,300
楢葉町	件　数			1		1	1		1		2	1		7
	損害額（千円）			5		61	98		311		21			496
富岡町	件　数													
	損害額（千円）													
川内村	件　数	1												1
	損害額（千円）	2,857												2,857
大熊町	件　数							1						1
	損害額（千円）							1,703						1,703
富　岡 消防署	件　数	1	1	1		1	1	1	1		2	1		10
	損害額（千円）	2,857	1,300	5		61	98	1,703	311		21			6,356
双葉町	件　数													
	損害額（千円）													
浪江町	件　数						1	2				2		5
	損害額（千円）						1,162	1,422				66		2,650
葛尾村	件　数		1											1
	損害額（千円）		2,840											2,840
浪　江 消防署	件　数		1				1	2				2		6
	損害額（千円）		2,840				1,162	1,422				66		5,490
件　数	合　計	1	2	1		1	2	3	1		2	3		16
損害額 （千円）	合　計	2,857	4,140	5		61	1,260	3,125	311		21	66		11,846

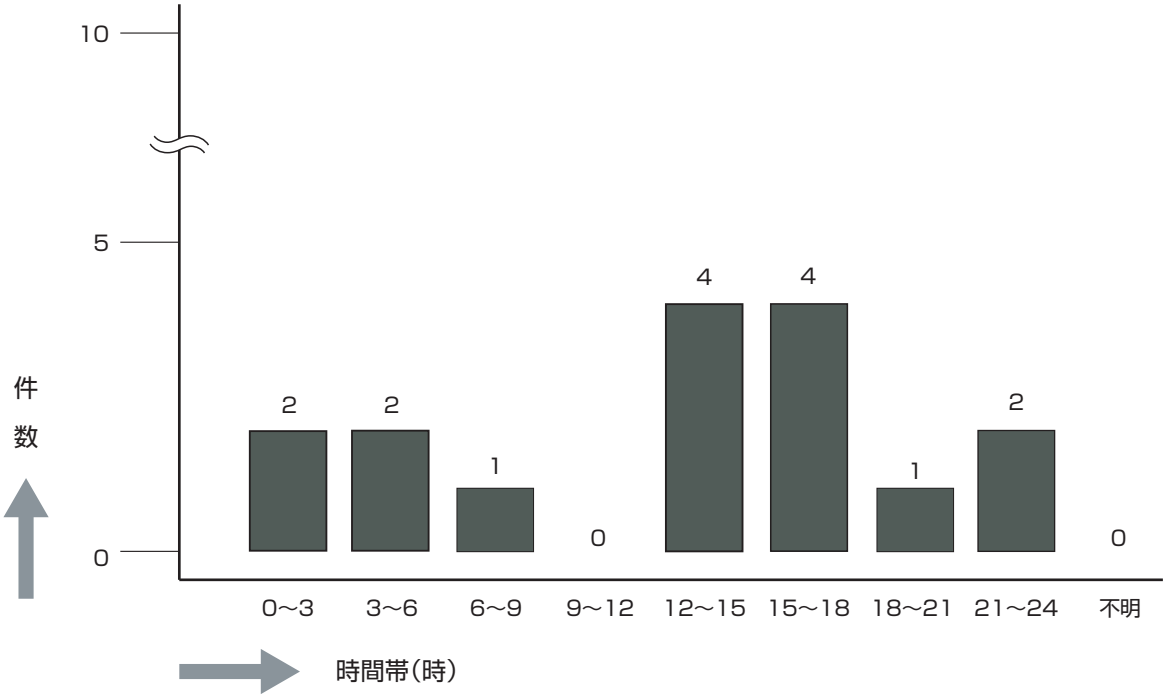
町村別・月別焼損面積

（令和４年12月31日現在）

町村別	種　別	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	合計
広野町	建 物 火 災(㎡)													
	山林原野火災(a)													
楢葉町	建 物 火 災(㎡)					1			17					18
	山林原野火災(a)													
富岡町	建 物 火 災(㎡)													
	山林原野火災(a)													
川内村	建 物 火 災(㎡)	95												95
	山林原野火災(a)													
大熊町	建 物 火 災(㎡)							94						94
	山林原野火災(a)													
富　岡 消防署	建 物 火 災(㎡)	95				1		94	17					207
	山林原野火災(a)													
双葉町	建 物 火 災(㎡)													
	山林原野火災(a)													
浪江町	建 物 火 災(㎡)											1		1
	山林原野火災(a)													
葛尾村	建 物 火 災(㎡)													
	山林原野火災(a)													
浪　江 消防署	建 物 火 災(㎡)											1		1
	山林原野火災(a)													
合　計	建 物 火 災(㎡)	95				1		94	17			1		208
	山林原野火災(a)													

時間帯による火災発生件数

（令和４年12月31日現在）



曜日別火災発生件数

（令和４年12月31日現在）

月別＼曜日	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
１月				1					1
２月			1		1				2
３月							1		1
４月									
５月			1						1
６月				1		1			2
７月	1				1		1		3
８月					1				1
９月									
10月			1		1				2
11月		2			1				3
12月									
合計	1	2	3	2	5	1	2		16

気象別火災発生件数

湿度別

（令和４年12月31日現在）

湿度／月別	30%未満	30%以上	40%以上	50%以上	60%以上	70%以上	80%以上	90%以上	不　明	合　計
１月				1						1
２月					2					2
３月								1		1
４月										
５月								1		1
６月								2		2
７月								3		3
８月								1		1
９月										
10月					1		1			2
11月			1		1		1			3
12月										
合　計			1	1	4		2	8		16

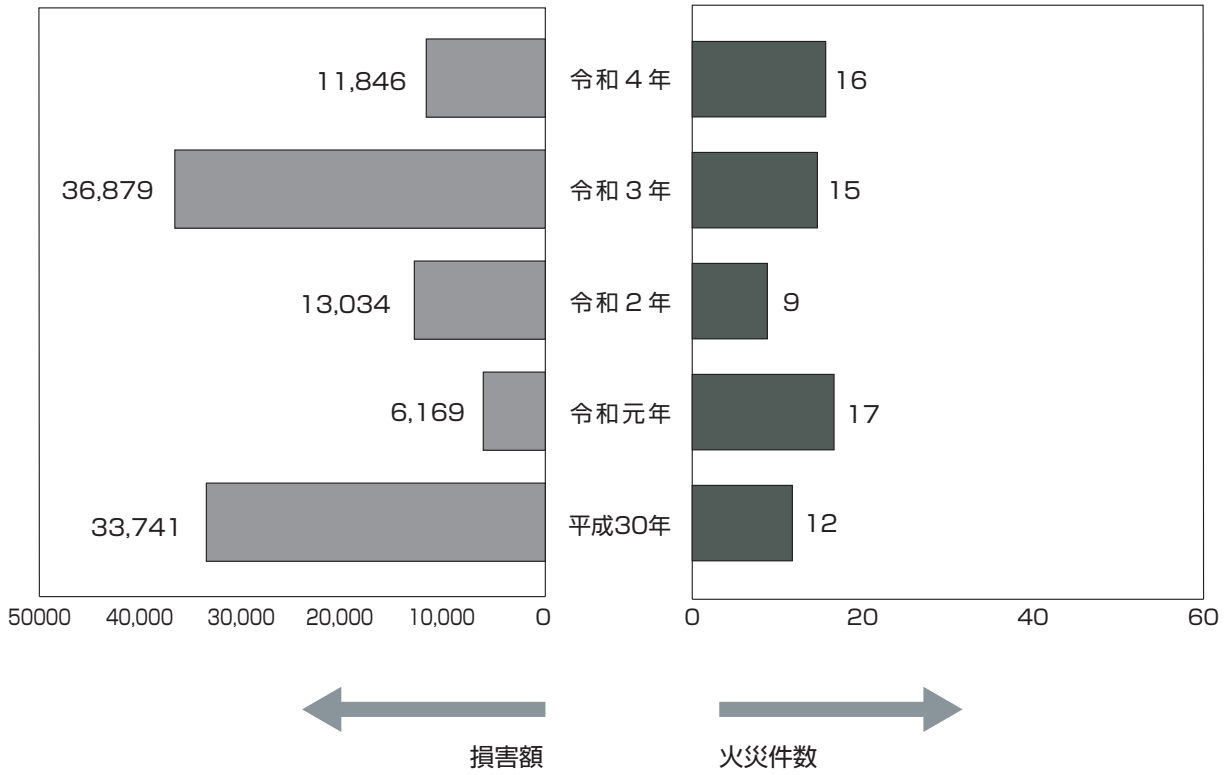
風速別

（令和４年12月31日現在）

風速／月別	1m以下	2m以下	3m以下	4m以下	5m以下	6m以下	7m以下	8m以下	9m以下	10m以下	11m以下	12m以下	13m以下	不明	合計
１月	1														1
２月		2													2
３月					1										1
４月															
５月		1													1
６月	2														2
７月	2	1													3
８月	1														1
９月															
10月	1			1											2
11月		3													3
12月															
合　計	7	7		1	1										16

過去５年間の火災発生状況

過去５年間の火災損額（単位：千円）　　過去５年間の火災件数（単位：件）



（各年１月～12月）

町村別＼年別	平成30年	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年
広　野　町	1	6	2	4	1
楢　葉　町	2	2	1	3	7
富　岡　町	1	1	2	1	0
川　内　村	2	2	0	3	1
大　熊　町	3	1	2	1	1
双　葉　町	1	2	0	2	0
浪　江　町	1	3	1	0	5
葛　尾　村	1	0	1	1	1
合　　計	12	17	9	15	16

原因別火災発生状況

火災種別

（令和４年12月31日現在）

原因／種別	たばこ	こんろ	かまど	風呂・かまど	炉	焼却炉	ストーブ	こたつ	ボイラー	煙突・煙道	排気管	電気機器	電気装置	電灯・電話等の配線	内燃機関	配線器具	火あそび	ライター・マッチ	たき火	溶接機切断機	灯火	衝撃の火花	取灰	火入れ	放火	放火の疑い	その他	調査中・不明	合計
建物		1					1					1															3	1	7
林野																													
車両																									1		4		5
船舶																													
その他											1	1														1		1	4
合計		1					1				1	2													1	1	7	2	16
割合		6%					6%				6%	13%													6%	6%	44%	13%	100%

※小数点第一位を四捨五入の為、合計等が一致しない場合がある。

町 村 別

（令和４年12月31日現在）

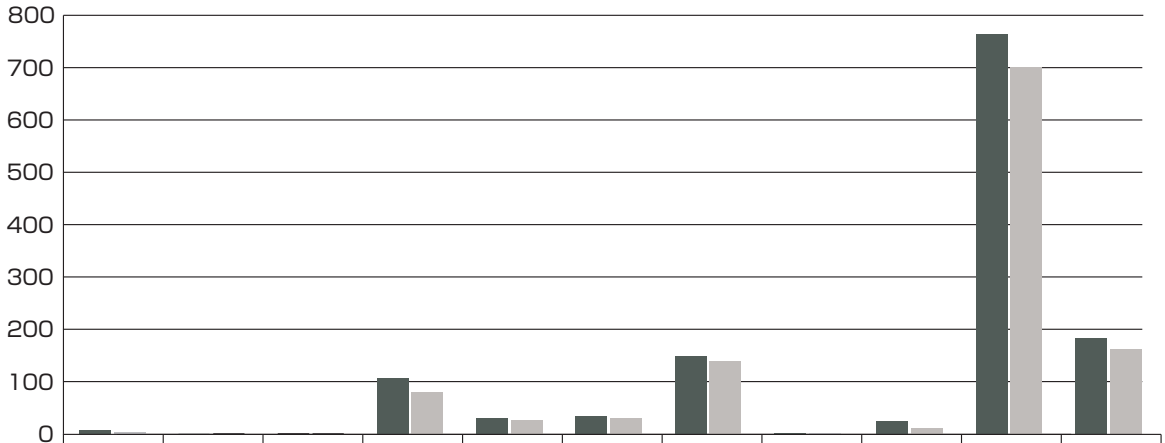
原因／町村別	たばこ	こんろ	かまど	風呂・かまど	炉	焼却炉	ストーブ	こたつ	ボイラー	煙突・煙道	排気管	電気機器	電気装置	電灯・電話等の配線	内燃機関	配線器具	火あそび	ライター・マッチ	たき火	溶接機切断機	灯火	衝撃の火花	取灰	火入れ	放火	放火の疑い	その他	調査中・不明	合計
広野町																											1		1
楢葉町												2														1	2	2	7
富岡町																													
川内村							1																						1
大熊町		1																											1
双葉町																													
浪江町											1														1		3		5
葛尾村																											1		1
合 計		1					1				1	2													1	1	7	2	16

救　　急

楢葉分署高規格救急車配備式　令和４年３月１日実施

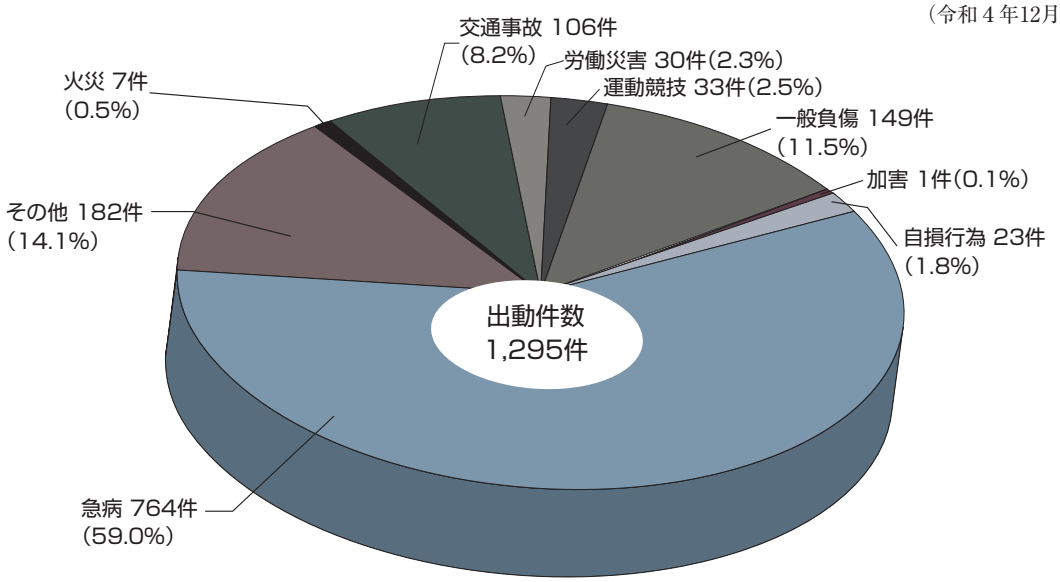
救急活動状況

（令和４年12月31日現在）



	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
件数	7	0	0	106	30	33	149	1	23	764	182
人員	3	0	0	79	26	30	138	1	10	701	162

（令和４年12月31日現在）



過去５年間の救急活動状況

（各年１月～12月）

年	管内人口（A）	救急車台数（B）	救急出動件数（C）	搬送人員（D）	搬送割合（A／D）
平成30年	62,882人	7台	985件	873人	72.0人に1人の割合
令和元年	61,734人	7台	1,187件	1,057人	58.4人に1人の割合
令和２年	60,510人	7台	1,113件	1,011人	59.9人に1人の割合
令和３年	59,197人	7台	1,100件	975人	60.7人に1人の割合
令和４年	57,846人	7台	1,295件	1,150人	50.3人に1人の割合

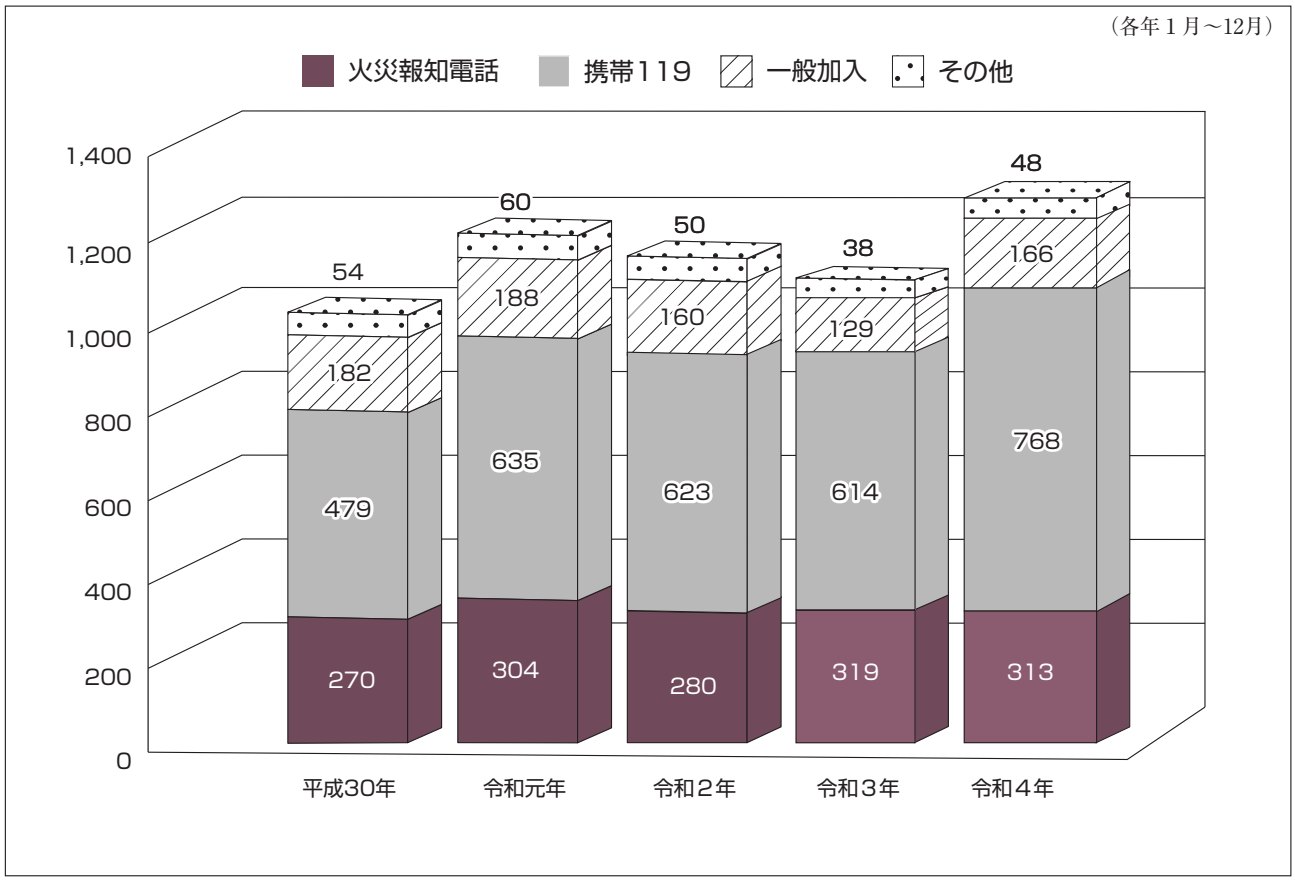
月別活動状況

（令和４年12月31日現在）

月	事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計	不搬送	管内搬送	管外搬送
													転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他				
1月	出動件数		1			9	4		9			65	12				100	13	55	32
	搬送人員		1			6	4		8			57	12				88		56	32
	うち高速	出動件数																		
		搬送人員																		
2月	出動件数					6	1		13		4	55	13			1	93	17	43	33
	搬送人員					2	1		13			48	12				76		43	33
	うち高速	出動件数																		
		搬送人員																		
3月	出動件数					13	1	5	11		2	56	11			3	102	14	56	32
	搬送人員					8	1	5	11			52	11				88		56	32
	うち高速	出動件数				1											1		1	
		搬送人員				1											1		1	
4月	出動件数					6	6	9	14		2	55	13			1	106	13	55	38
	搬送人員					3	6	6	12		2	51	13				93		55	38
	うち高速	出動件数																		
		搬送人員																		
5月	出動件数		1			13	1	3	8		2	51	9			5	93	8	47	38
	搬送人員		1			14	1	3	8		2	50	9				88		50	38
	うち高速	出動件数																		
		搬送人員																		
6月	出動件数		1			11	4	3	7		3	58	17			2	106	12	59	35
	搬送人員					6	4	4	7		2	54	17			1	95		60	35
	うち高速	出動件数	1									1					2	2		
		搬送人員																		
7月	出動件数		3			9	6	4	18		1	79	12			2	134	21	82	31
	搬送人員		1			9	2	4	15			70	12				113		82	31
	うち高速	出動件数																		
		搬送人員																		
8月	出動件数					11	1		10	1	2	79	17			1	122	12	70	40
	搬送人員					11	1		9	1	1	71	17				111		71	40
	うち高速	出動件数										1					1	1		
		搬送人員																		
9月	出動件数					7		1	14		3	61	10	1		1	98	6	59	33
	搬送人員					6		1	14		2	59	10				92		59	33
	うち高速	出動件数										1					1	1		
		搬送人員																		
10月	出動件数					13	3	4	17		1	52	18			2	110	14	52	44
	搬送人員					8	3	4	15		1	47	18				96		52	44
	うち高速	出動件数																		
		搬送人員																		
11月	出動件数		1			6	2	3	14		1	74	16			1	118	11	68	39
	搬送人員					4	2	2	13			70	16				107		68	39
	うち高速	出動件数																		
		搬送人員																		
12月	出動件数					2	1	1	14		2	79	14				113	10	66	37
	搬送人員					2	1	1	13			72	14				103		66	37
	うち高速	出動件数										1					1			1
		搬送人員										1					1			1
合計	出動件数		7			106	30	33	149	1	23	764	162	1		19	1,295	151	712	432
	搬送人員		3			79	26	30	138	1	10	701	161			1	1,150		718	432
	うち高速	出動件数	1			1						4					6	4	1	1
		搬送人員				1						1					2		1	1

過去５年間の覚知状況

（各年１月～12月）



医療機関搬送人員

（令和４年12月31日現在）

地域別 ＼ 町村別		合計	うち高速	広野	うち高速	楢葉	うち高速	富岡	うち高速	川内	大熊	うち高速	双葉	うち高速	浪江	うち高速	葛尾	圏外	うち高速いわき市	うち高速南相馬市
広域圏内	広域圏内	718	1	132		218	1	119		121	36		17		71		3	1		
	医療機関外																			
	小計	718	1	132		218	1	119		121	36		17		71		3	1		
広域圏外	いわき地区	235	1	72		55		92		4	5		2		4			1	1	
	相馬地区	126		5		10		25		4	4		3		75					
	その他	70						6		43	1				1		19			
	県外	1													1					
	小計	432	1	77		65		123		51	10		5		81		19	1	1	
合計		1,150	2	209		283	1	242		172	46		22		152		22	2	1	

過去５年間の署所別活動状況

（各年１月～12月）

年別	事故種別／署所別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
													転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
平成30年	浪江消防署	出動件数				23	10		13			46	6			9	107
		搬送人員				18	9		12			40	6				85
	葛尾出張所	出動件数				6	1		9			19	2				37
		搬送人員				5	1		7			17	2				32
	富岡消防署	出動件数	2		1	38	14		9	1	2	77	57			4	205
		搬送人員	1			31	12		6	1	2	72	57				182
	楢葉分署	出動件数	1			48	7	9	56	2	4	267	43	14		3	454
		搬送人員				42	7	9	53	2	3	253	43				412
	川内出張所	出動件数				14	1		20		1	128	17			1	182
		搬送人員				12	1		20		1	113	15				162
令和元年	浪江消防署	出動件数			1	28	12		16	1	2	94	7			4	165
		搬送人員				14	12		13	1	1	85	7				133
	葛尾出張所	出動件数				10	1	1	11		1	28	1				53
		搬送人員				6	1		11			26	1				45
	富岡消防署	出動件数	2	1		39	15	3	19		1	104	78			19	281
		搬送人員				41	15	2	17			96	78				249
	楢葉分署	出動件数	1	2		49	11	20	54	1	5	322	49	1		4	519
		搬送人員		1		35	11	20	50	1	4	302	48			1	473
	川内出張所	出動件数	1	1		9	2		15	1	1	121	18				169
		搬送人員		1		11	1		15		1	110	18				157
令和2年	浪江消防署	出動件数				27	14		15	1	2	82	11			4	156
		搬送人員				24	12		14			74	11				135
	葛尾出張所	出動件数				5	2		7		1	14					29
		搬送人員				6	2		7			11					26
	富岡消防署	出動件数	2			38	14	2	14	1	4	114	92			5	286
		搬送人員				28	13	2	12		3	100	92			1	251
	楢葉分署	出動件数		1		42	18	10	61	1	4	308	44			2	491
		搬送人員				39	17	9	58	1	3	288	44				459
	川内出張所	出動件数			2	7	4	1	22		3	106	4			2	151
		搬送人員				6	4	1	20		3	101	4			1	140
令和3年	浪江消防署	出動件数				18	7		15	1	1	121	8			4	175
		搬送人員				10	9		13		1	100	8				141
	葛尾出張所	出動件数				7	1		6		2	14				4	34
		搬送人員				5	1		4		1	11					22
	富岡消防署	出動件数	2			38	14	1	19		3	109	100			5	291
		搬送人員	1			40	14	1	19		2	88	99			1	265
	楢葉分署	出動件数	3		1	53	5	13	68	2	6	266	41			2	460
		搬送人員	1			48	5	13	64	1		243	41			1	417
	川内出張所	出動件数				9	4		13		1	109	4				140
		搬送人員				7	4		12		1	102	4				130
令和4年	浪江消防署	出動件数	2			16	11	3	31		3	130	11			4	211
		搬送人員				11	9	2	28		1	117	11				179
	葛尾出張所	出動件数	1			1	2	1	6		3	23				1	38
		搬送人員	1			1	1		4			22					29
	富岡消防署	出動件数	2			27	6	5	22		8	143	102	1		6	322
		搬送人員	2			21	5	5	20		3	126	102			1	285
	楢葉分署	出動件数	1			54	6	24	68	1	8	336	43			8	549
		搬送人員				37	6	23	65	1	5	314	42				493
	川内出張所	出動件数	1			8	5		22		1	132	6				175
		搬送人員				9	5		21		1	122	6				164

町村別出動件数

（令和４年12月31日現在）

種別 ＼ 町村別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
広野町				22	5	5	25		4	145	19	1		4	230
楢葉町	2			27	3	22	43	1	4	194	17			2	315
富岡町				25	1	3	17		7	106	110			5	274
川内村	1			8	5		22		1	141	6				184
大熊町	1			7	4		5		1	35	1			3	57
双葉町				8	5					11				2	26
浪江町	3			8	6	2	31		3	111	9			3	176
葛尾村					1	1	6		3	18					29
圏域外				1						3					4
合　計	7			106	30	33	149	1	23	764	162	1		19	1,295

曜日別出動件数

（令和４年12月31日現在）

種別 ＼ 曜日別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
日	1			9	1	10	19		1	93	12			4	150
月	1			16	6	1	21		8	141	28				222
火	1			19	6	2	22		5	107	30			4	196
水	2			17	8	2	18	1	1	105	31			6	191
木	1			26	2	2	16		1	104	19			2	173
金				8	3	6	27		3	110	30	1			188
土	1			11	4	10	26		4	104	12			3	175
合　計	7			106	30	33	149	1	23	764	162	1		19	1,295

現場到着所要時間別出動件数（町村別）

（令和４年12月31日現在）

現場到着 町村別	３分未満	３分以上 ５分未満	５分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
広 野 町			93	126	11	230
楢 葉 町	5	3	127	169	11	315
富 岡 町	4	19	190	54	7	274
川 内 村	11	4	75	77	17	184
大 熊 町				49	8	57
双 葉 町			1	23	2	26
浪 江 町	4	12	106	45	9	176
葛 尾 村	2	4	10	10	3	29
圏 域 外				1	3	4
合　　計	26	42	602	554	71	1,295

※119番通報から現場に到着するまでに要した時間

収容所要時間別搬送人員（町村別）

（令和４年12月31日現在）

収容時間 町村別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計
広 野 町			1	106	93	9	209
楢 葉 町			2	203	70	8	283
富 岡 町		1	19	106	107	9	242
川 内 村			1	40	118	13	172
大 熊 町				28	14	4	46
双 葉 町				14	6	2	22
浪 江 町			1	101	47	3	152
葛 尾 村				2	18	2	22
圏 域 外				1	1		2
合　　計		1	24	601	474	50	1,150

※119番通報から病院に収容するまでに要した時間

時刻別発生状況

（令和４年12月31日現在）

事故種別 / 時刻別		火災	人員	自然災害	人員	水難	人員	交通	人員	労働災害	人員	運動競技	人員	一般負傷	人員	加害	人員	自損行為	人員	急病	人員	その他								合計	人員
																						転院搬送	人員	医師搬送	人員	資器材等輸送	人員	その他	人員		
時刻別内訳	0～1							1		1	1			4	3	1	1			19	18	3	3					1		30	26
	1～2									2	2			2	2					19	18									23	22
	2～3													2	2			1		8	8	1	1							12	11
	3～4	1						1	1					1	1					20	20							1		24	22
	4～5	1	1					2	2					1	1					13	12	2	2					1		20	18
	5～6									1	1			3	3			1	1	23	20	1	1					1		30	26
	6～7							6	6					4	3			4	4	28	26	2	2							44	41
	7～8							13	11					6	6					44	38	5	5					1	1	69	61
	8～9							7	7	4	4			14	14			1	1	46	40	5	5							77	71
	9～10							4	1	6	5	2	1	8	8					60	51	12	12					2		94	78
	10～11							17	10	2	2	2	2	9	7			2		54	49	17	16							103	86
	11～12							4	3	4	3	8	8	7	7			3		45	42	17	17					3		91	80
	12～13							12	10	2	2	3	3	10	10			2	2	40	38	15	15							84	80
	13～14							8	4	1	1	1	1	9	9			3	1	43	41	9	9							74	66
	14～15							7	5	4	3	4	5	7	7			1		27	26	17	17					1		68	63
	15～16	1	1					2	2	1		5	5	6	6			1		42	36	15	15					2		75	65
	16～17							8	8	1	1	3	3	9	7					35	35	9	9					1		66	63
	17～18	2	1					8	6			4	1	13	11					34	32	4	4	1						66	55
	18～19							3	3					4	4					31	29	10	10					1		49	46
	19～20	1						2		1	1	1	1	9	9			1	1	24	22	3	3					1		43	37
	20～21													8	7			1		33	30	7	7							49	44
	21～22	1						1						6	6			1		34	31	4	4					2		49	41
	22～23													4	3			1		26	24	2	2							33	29
	23～24													3	2					16	15	2	2					1		22	19
計		7	3					106	79	30	26	33	30	149	138	1	1	23	10	764	701	162	161	1				19	1	1,295	1,150

救急隊員の行った応急処置件数

（令和４年12月31日現在）

応急処置／種別	応急処置対象人員	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ	うち自動	心肺蘇生	うち自動	酸素吸入	気道確保	※1	※2	※3	※4	保温	被覆	在宅療法継続	※A	※B	※C	ショックパンツによる血圧の保持	除細動	静脈路確保「輸液」	薬剤投与	その他の応急処置	血圧測定	聴診器による心音・呼吸音の聴取	血中酸素飽和度の測定	心電図	静脈路確保（成功事例のみ）			血糖測定	エピペン投与	ブドウ糖投与	計
																														うちブドウ糖投与	うちCPA前	うちCPA後				
急病	701	4	4	1			22	6	172	33	2	1	13	(1)	532	8	3			3		7	30	11	528	676	246	672	662	8	10	12	35		8	3,654
交通事故	79	8	36						7						47	15							1		61	78	43	77	66	1			1		1	441
一般負傷	138	27	18	1			6	1	16	8			1		97	23							4	4	100	131	28	130	128			4				721
その他	232	13	18	1			2		51	3					183	15									186	229	52	227	220				2			1,202
合計	1,150	52	76	3			30	7	246	44	2	1	14	1	859	61	3			3		7	35	15	875	1,114	369	1,106	1,076	9	10	16	38		9	6,018

気道確保の※１には、経鼻エアウェイを使用した気道確保を行った件数。
※２には、喉頭鏡・鉗子等により異物除去を行った件数。
※３には、救急救命士がラリンゲアルマスク等を使用して気道確保を行った件数。
※４には、救急救命士法に基づき重症傷病者に対して気管チューブを用いて行った件数。

在宅療法継続の※Ａには、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対し応急処置等を行った件数。
※Ｂには、気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数。
※Ｃには、※Ａ・※Ｂ以外の在宅療法継続中の傷病者に対して応急処置等を行った件数。

事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員

（令和４年12月31日現在）

年齢区分	事故種別／傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児	死亡												
	重症												
	中等症												
	軽症												
	その他												
	計												
乳幼児	死亡												
	重症												
	中等症							1			3	2	6
	軽症				1			2			10		13
	その他												
	計				1			3			13	2	19
少年	死亡									1			1
	重症												
	中等症						3				5	1	9
	軽症				1		18	2			9	1	31
	その他												
	計				1		21	2		1	14	2	41
成人	死亡							1		1	1		3
	重症				2	4		4		1	20	15	46
	中等症				3	10	2	5		2	62	25	109
	軽症	2			52	8	6	23	1	2	162	4	260
	その他											1	1
	計	2			57	22	8	33	1	6	245	45	419
高齢者	死亡							4			17		21
	重症				2	2		14			48	28	94
	中等症	1			1	2		36		2	191	71	304
	軽症				17		1	46		1	173	14	252
	その他												
	計	1			20	4	1	100		3	429	113	671
合計	死亡							5		2	18		25
	重症				4	6		18		1	68	43	140
	中等症	1			4	12	5	42		4	261	99	428
	軽症	2			71	8	25	73	1	3	354	19	556
	その他											1	1
	計	3			79	26	30	138	1	10	701	162	1,150

（注１）年齢区分
(a)新生児とは、生後28日未満の者。
(b)乳幼児とは、生後28日以上満７歳未満の者。
(c)少年とは、満７歳以上満18歳未満の者。
(d)成人とは、満18歳以上満65歳未満の者。
(e)高齢者とは、満65歳以上の者。

（注２）傷病程度とは、初診時における医師の診断に基づき分類する。
（１）死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。
（２）重症とは、傷病の程度が３週間以上の入院加療を必要とするものをいう。
（３）中等症とは、傷病の程度が重症又は軽症以外のものをいう。
（４）軽症とは、傷病の程度が入院加療を必要としないものをいう。
（５）その他とは、医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの。

応急処置普及指導状況

応急手当指導員養成講習

（令和４年12月31日現在）

区分＼対象者	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	医師・救急救命士等の医療従事者等	その他	計	登録を抹消した者	講習回数
応急手当指導員講習Ⅰ（修了者）								
応急手当指導員講習Ⅱ（修了者）								
応急手当指導員講習Ⅲ（修了者）								
消防長が認めた者								
応急手当指導員講習Ⅰ免除者								
合計								

応急手当普及員養成講習

区分＼対象者	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	医師・救急救命士等の医療従事者等	その他	計	登録を抹消した者	講習回数
応急手当普及員講習Ⅰ（修了者）					37	37		5
応急手当普及員講習Ⅱ（修了者）								
消防長が認めた者								
応急手当普及員講習Ⅱ免除者								
合計					37	37		5

住民に対する応急手当普及啓発活動

応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱に基づく普及講習									
普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅱ		普通救命講習Ⅲ		上級救命講習		合計	
受講人数	回数	受講人数	回数	受講人数	回数	受講人数	回数	受講人数	回数
418	55							418	55

その他の講習			
その他		救命入門コース	
受講人数	回数	受講人数	回数
687	41	12	1

救急資器材の現況

（令和４年12月31日現在）

分類	品名＼配置別	計	浪江消防署	葛尾出張所	富岡消防署	楢葉分署	川内出張所
観察用資器材	血圧計	31	8	4	5	9	5
	血中酸素飽和度測定器	25	4	3	4	11	3
	検眼ライト	29	6	2	5	12	4
	心電計	8	2	1	1	3	1
	体温計	53	8	4	8	13	20
	聴診器	21	6	3	3	5	4
	血糖値測定器	8	2	1	2	2	1
呼吸・循環管理用資器材	吸引器一式	18	4	2	3	5	4
	喉頭鏡	20	6	2	3	5	4
	酸素吸入器一式	5	2	1	1		1
	酸素ボンベ300L	36	11	4	7	9	5
	酸素ボンベ1500L	52	19	3	11	13	6
	自動式人工呼吸器一式	7	2	1	1	2	1
	自動体外式除細動器	14	3	2	3	4	2
	マギール鉗子	29	8	4	3	8	6
	呼気二酸化炭素測定器具	8	4	2		1	1
	自動式心マッサージ器	8	2	1	2	2	1
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡	7	2	1	2	1	1
保温・搬送用資器材	雨おおい	10	2	1	1	4	2
	スクープストレッチャー	14	4	2	2	3	3
	担架	25	4	3	6	10	2
	バックボード	21	4	2	4	8	3
通信用資器材	無線装置	7	2	1	1	2	1
	携帯電話	7	2	1	1	2	1
	衛星電話	7	2	1	1	2	1
	情報通信端末	1			1		
救出用資器材	救命浮環	8	2	1	1	2	2
	万能斧	7	2	1	1	2	1
その他の資器材	懐中電灯	26	8	4	3	7	4
	救急バッグ	15	7	3	1	3	1
	トリアージタッグ	1,261	578	74	152	381	76
	膿盆	44	4	5	7	21	7
	はさみ	38	10	3	10	8	7
	分娩用資器材	9	2	1	1	4	1
普及啓発・訓練用資器材	蘇生訓練用人形	31	13	4	10	2	2
	成人	23	10	4	5	2	2
	乳幼児用	8	3		5		
	外傷模型セット	2	2				
	ＡＥＤトレーナー	29	8	5	9	4	3
	気管挿管訓練人形(ACLS人形含む)	9	2	1	3	2	1

双葉地方広域市町村圏組合消防本部（仮庁舎）
〒979-0513
福島県双葉郡楢葉町大字山田岡字仲丸1-110
TEL　0240(25)8523
FAX　0240(25)8524
E-mail　honbu_soumu@futabashobohonbu.jp
HP　http://www.futabashobohonbu.jp